

一般社団法人せとうち観光推進機構様 御中

外国人動態調査事業 最終報告書

地域創生Coデザイン研究所

2026年1月30日

地域創生Coデザイン研究所



調査の目的と概要	<ul style="list-style-type: none">インバウンド旅行者の位置情報データやエリア特性等を適切に組み合わせることで、せとうち7県を訪問・周遊するインバウンド旅行者の動態を分析し、各県の地域別（欧米豪／アジア）概況や地方空港からの入国と県内宿泊の相関、大型イベントによる動態への影響等を推定することで、効果的な観光振興施策の実現に寄与する。
調査に用いるデータについて	<ul style="list-style-type: none">ナビタイムジャパンが提供するアプリ「Japan Travel byNAVITIME」で取得したインバウンドGPSデータを用いた分析を実施。
動態把握① -基礎調査-	<ul style="list-style-type: none">7県ごと全インバウンド動態（入国前訪問地 → 対象地域内の訪問 → 出国空港）欧米豪/アジアゲートウェイ別（7県の地方空港起点）の動態、宿泊効果の調査高単価宿泊エリアに絞ったインバウンド動態調査（大阪市北区・京都市東山区・福岡市博多区）欧米豪
動態把握② -応用調査-	<ul style="list-style-type: none">大規模イベント（大阪万博・瀬戸内国際芸術祭）による動態変化分析調査 ↳時系列における比較分析（2024年度 vs 2025年度）
まとめ	<ul style="list-style-type: none">せとうちエリアでの周遊を促進するための広域連携の観点本調査のまとめ

調査の目的と概要について

調査の目的と概要について

本調査の目的と概要を以下に示す。

目的と実施内容

- 本調査では、せとうちエリアに滞在するインバウンド旅行者の動きをGPSの位置情報を基に把握し、課題点や問題点を洗い出した。

調査は以下の内容に分解し実施をした。

- ✓ インバウンド旅行者の動向を把握するため、7県ごとにインバウンド旅行者の訪問傾向を把握する基礎調査を行った。
- ✓ 地方空港を利用したインバウンド旅行者の動態、ならびに高単価宿泊エリア（高付加価値旅行者の利用を想定）に着目した詳細分析を実施した。
- ✓ 大規模イベント（大阪万博・瀬戸内国際芸術祭）による訪問傾向の変化について、2024年度と2025年度の比較を行い、広域周遊に与える影響を整理した。

調査に用いるデータについて

調査に用いるデータについて

データソース

- 株式会社データワイズ社が提供するAreaMarketerインバウンド版※データを利用
- ※ナビタイムジャパンが提供するアプリ「Japan Travel byNAVITIME」で取得したインバウンドGPSデータ
- Japan Travel by NAVITIME のGPSデータのうち、日本国内で利用され、かつデータ利用に同意したユーザーを対象。このデータをさらに外国人旅行者のみにスクリーニングしたデータを用いる（訪日客全体の1～2%に相当）

留意点

- 国籍別の利用状況には、中国をはじめ一部の国・地域でアプリ利用が少ない傾向があり、この偏りを補正するため、国籍別の拡大推計を実施している。
 - 拡大推計方法
 - JNTOが公表する月別・国籍別の訪日外客数から各国の個人旅行客数を全数として設定、全数に対するアプリ取得サンプル数の比率から拡大係数を算出し、データに適用
- 用いているデータソースである「Japan Travel byNAVITIME」は、自ら訪問先や移動手段を検索しながら行動する個人旅行者の利用が中心である。そのため、団体旅行客やハイヤー移動を主とする旅行者の取得データは相対的に少なく、母集団に一定の偏りが生じている可能性がある点に留意が必要。

1. せとうち7県インバウンド動態

分析条件

人流分析の調査設計、推計条件は以下の通り。

分析期間	2025年1月1日～2025年6月30日																
分析対象	せとうち7県へのインバウンド訪問者（全国籍）を分析する。																
分析条件 および定義	<ul style="list-style-type: none"> 3:00-27:00の時間帯に30分以上滞在した場合「滞在1日」とカウント 国籍毎の訪問者数が100名に満たない場合、当該国籍の訪問者数が安定して検出できない傾向にある 指定したエリアに0分以上の滞在を「通過」、30分以上の滞在を「滞在」、23:00-翌3:00の時間帯に最後に滞在した地点を「宿泊」と定義 																
データソース	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社データワイズ社が提供するAreaMarketerインバウンド版※データを利用 ※ナビタイムジャパンが提供するアプリ「Japan Travel byNAVITIME」で取得したインバウンドGPSデータ 																
分析対象	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">エリア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">※データ抽出：2025年12月</td> </tr> <tr> <td>兵庫県</td> <td>徳島県</td> </tr> <tr> <td>岡山県</td> <td>香川県</td> </tr> <tr> <td>広島県</td> <td>愛媛県</td> </tr> <tr> <td>山口県</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	エリア		※データ抽出：2025年12月		兵庫県	徳島県	岡山県	香川県	広島県	愛媛県	山口県		<table border="1"> <thead> <tr> <th>国籍</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国籍</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> アジア 韓国,中国,台湾,香港,タイ,シンガポール,マレーシア,インドネシア,フィリピン,ベトナム,インド 欧米豪 豪州,米国,カナダ,英国,フランス,ドイツ その他国籍 イタリア,スペイン,ロシア,その他 </td> </tr> </tbody> </table>	国籍	全国籍	<ul style="list-style-type: none"> アジア 韓国,中国,台湾,香港,タイ,シンガポール,マレーシア,インドネシア,フィリピン,ベトナム,インド 欧米豪 豪州,米国,カナダ,英国,フランス,ドイツ その他国籍 イタリア,スペイン,ロシア,その他
エリア																	
※データ抽出：2025年12月																	
兵庫県	徳島県																
岡山県	香川県																
広島県	愛媛県																
山口県																	
国籍																	
全国籍																	
<ul style="list-style-type: none"> アジア 韓国,中国,台湾,香港,タイ,シンガポール,マレーシア,インドネシア,フィリピン,ベトナム,インド 欧米豪 豪州,米国,カナダ,英国,フランス,ドイツ その他国籍 イタリア,スペイン,ロシア,その他 																	

1.1.1 兵庫県インバウンド動向サマリ

※すべてのグラフはユニークカウントで集計

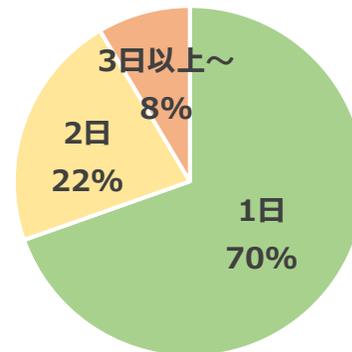
国籍別来訪者数TOP5

来訪者数（合計）682,294人

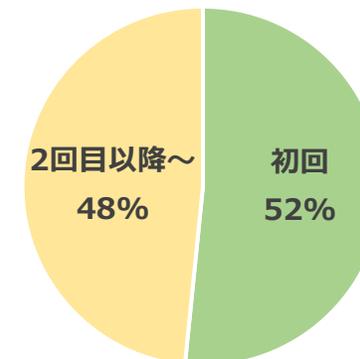
	国籍	来訪者数	割合
1	中国	187,565人	27.49%
2	韓国	114,574人	16.79%
3	台湾	74,994人	10.99%
4	米国	49,410人	7.24%
5	香港	33,957人	4.98%

1~6月の間に複数回来訪した場合、1回の来訪のみをカウントする

滞在日数割合

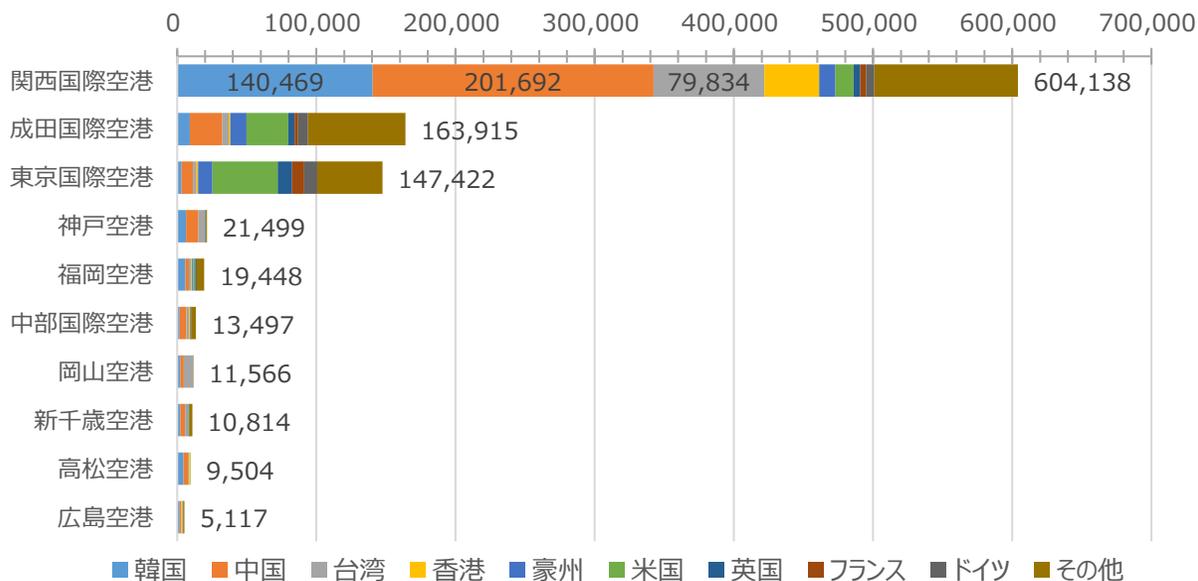


訪日回数割合



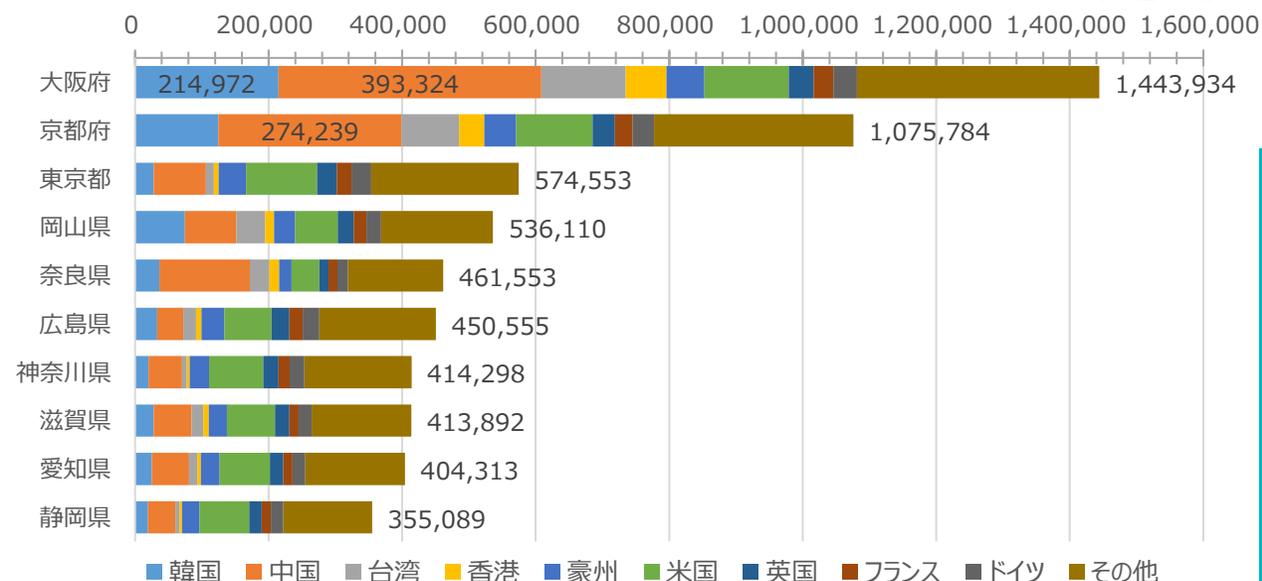
入出国空港TOP10

[単位：人]



前後動態TOP10

[単位：人]



入国空港と出国空港をそれぞれユニークにカウントし、合算した値を表示

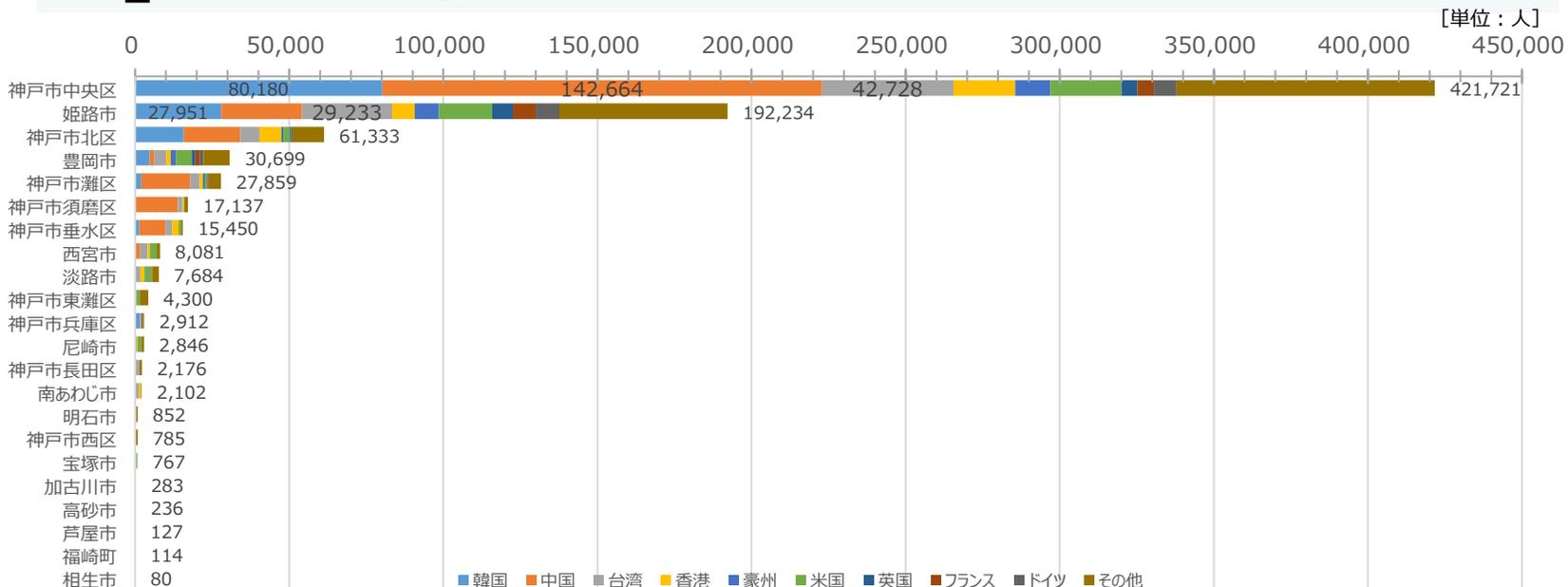
一つ前後の訪問先だけでなく、前後に訪れたすべての都道府県を集計するため、来訪者数合計と差が生じる

1.1.2 兵庫県滞在・宿泊動向

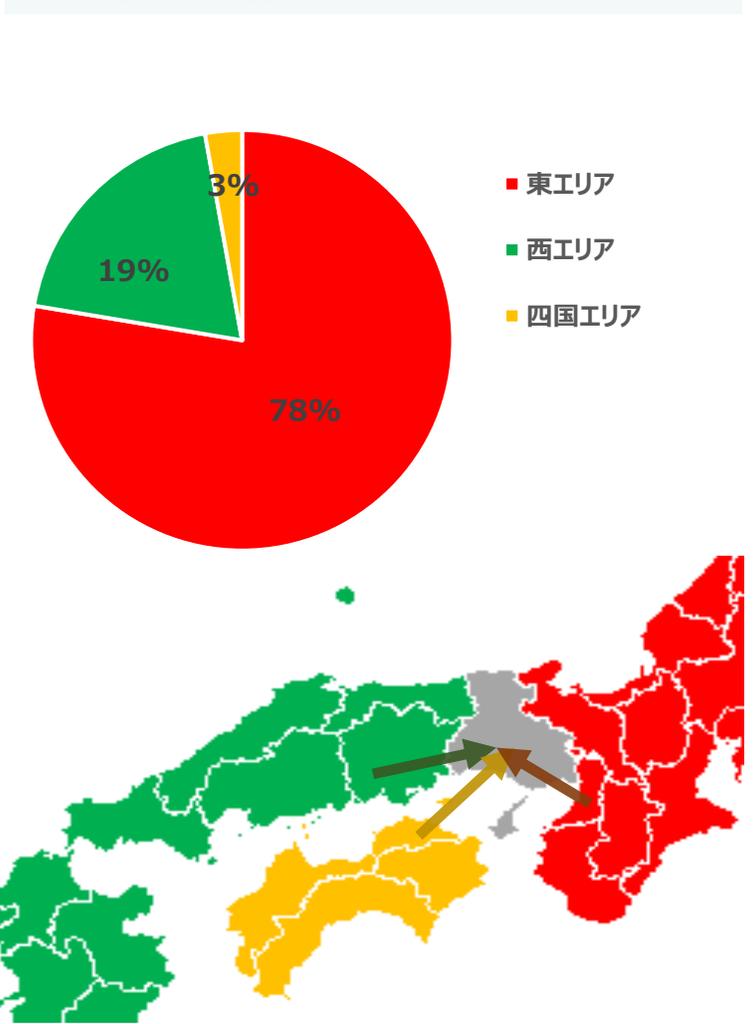
※すべてのグラフはユニークカウントで集計

» 滞在・宿泊は神戸市中央区に集中しているが、宿泊者数が少なく短期滞在傾向。流入は大阪や京都などの関西や関東が多く、78%を東エリアが占める。

滞在_スポット（市町村ごと）



流入前エリア割合



宿泊_スポット（市町村ごと）



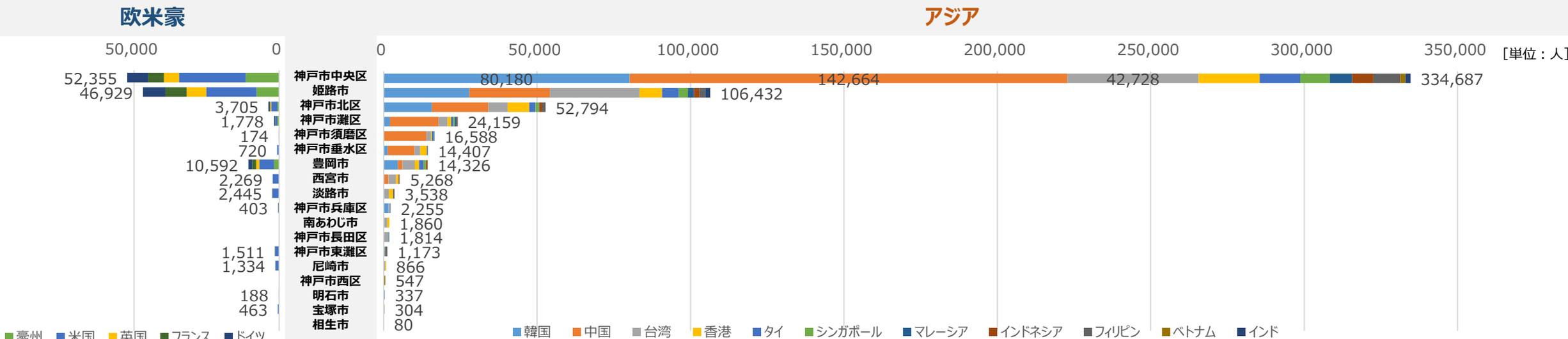
対象訪問地の滞前に、30分以上滞在のあった都道府県を表示

1.1.3 欧米豪・アジア滞在・宿泊動向

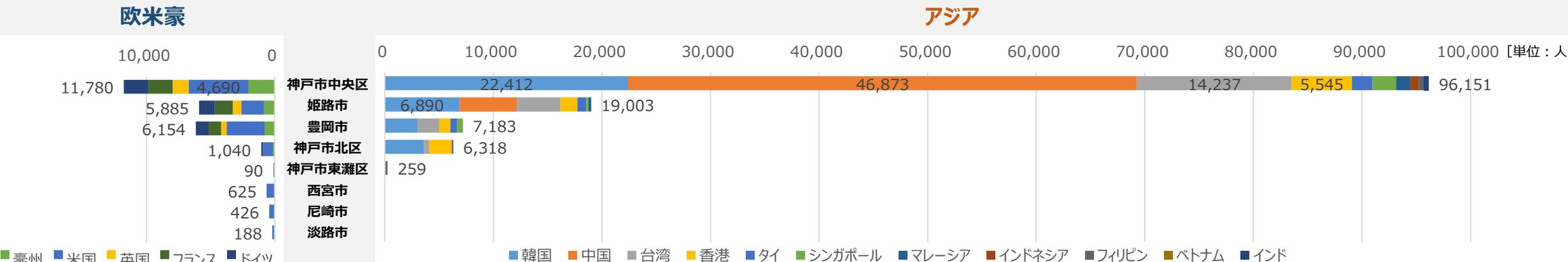
※すべてのグラフはユニークカウントで集計

- » 欧米豪は、滞在は中央区と姫路市が中心だが、宿泊は中央区に次いで豊岡市が多く、姫路市が続く。
- » アジアは神戸市中央区に滞在・宿泊ともに集中し、次点で姫路市。欧米豪に比べ規模が大きい。

滞在_スポット（市町村ごと）



宿泊_スポット（市町村ごと）



1.2.1 岡山県インバウンド動向サマリ

※すべてのグラフはユニークカウントで集計

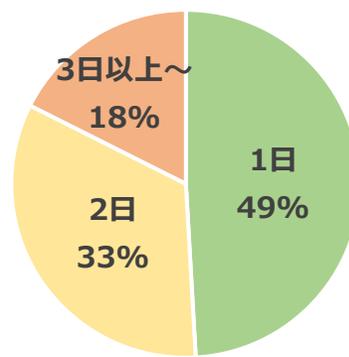
国籍別来訪者数TOP5

来訪者数（合計）230,166人

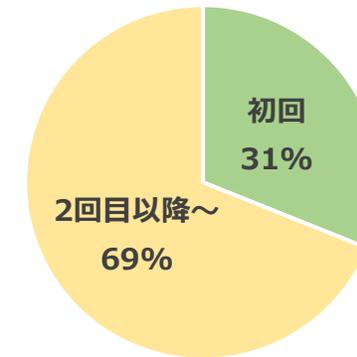
	国籍	来訪者数	割合
1	台湾	60,628人	26.34%
2	中国	45,266人	19.67%
3	韓国	45,006人	19.55%
4	香港	9,217人	4.00%
5	米国	8,225人	3.57%

1~6月の間に複数回来訪した場合、1回の来訪のみをカウントする

滞在日数割合

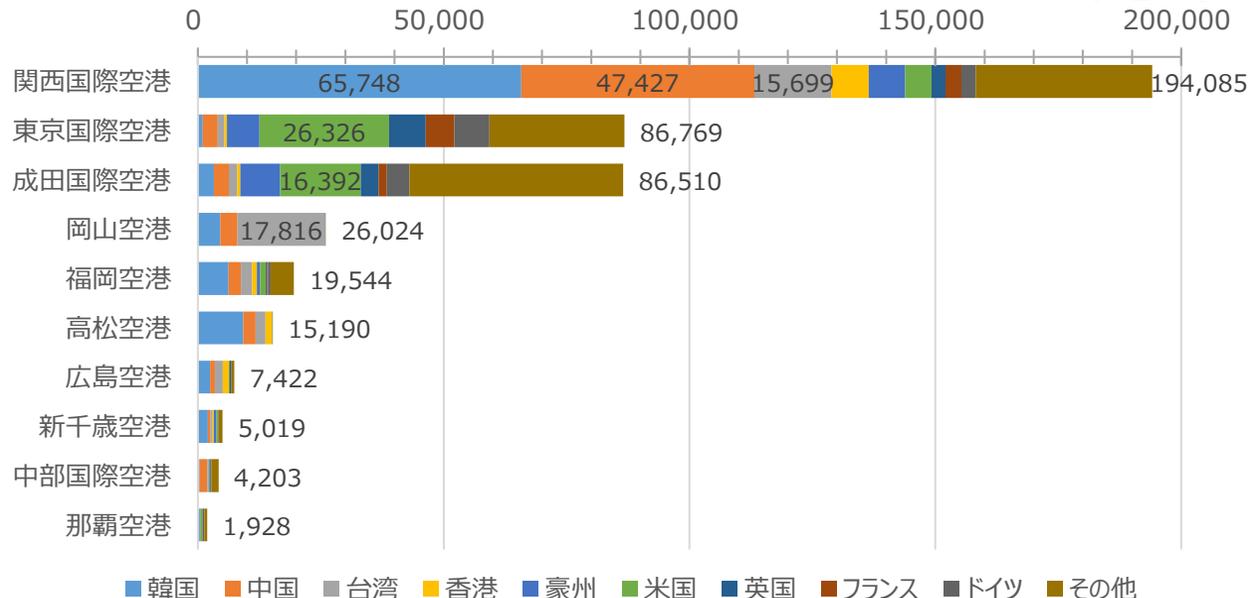


訪日回数割合



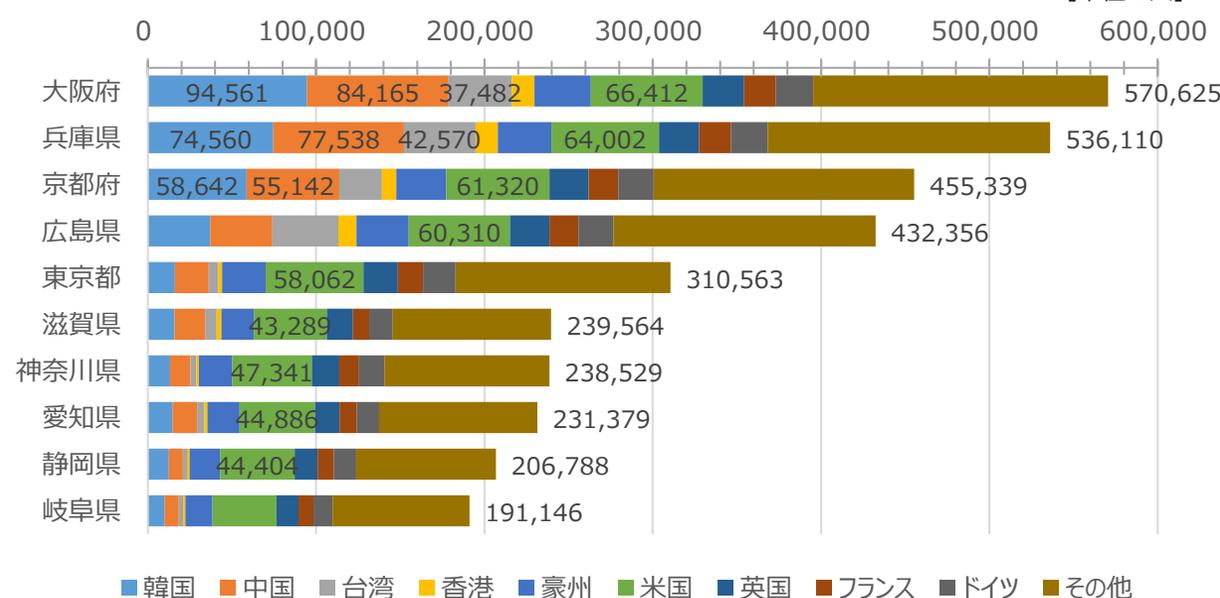
入出国空港TOP10

[単位：人]



前後動態TOP10

[単位：人]



入国空港と出国空港をそれぞれユニークにカウントし、合算した値を表示

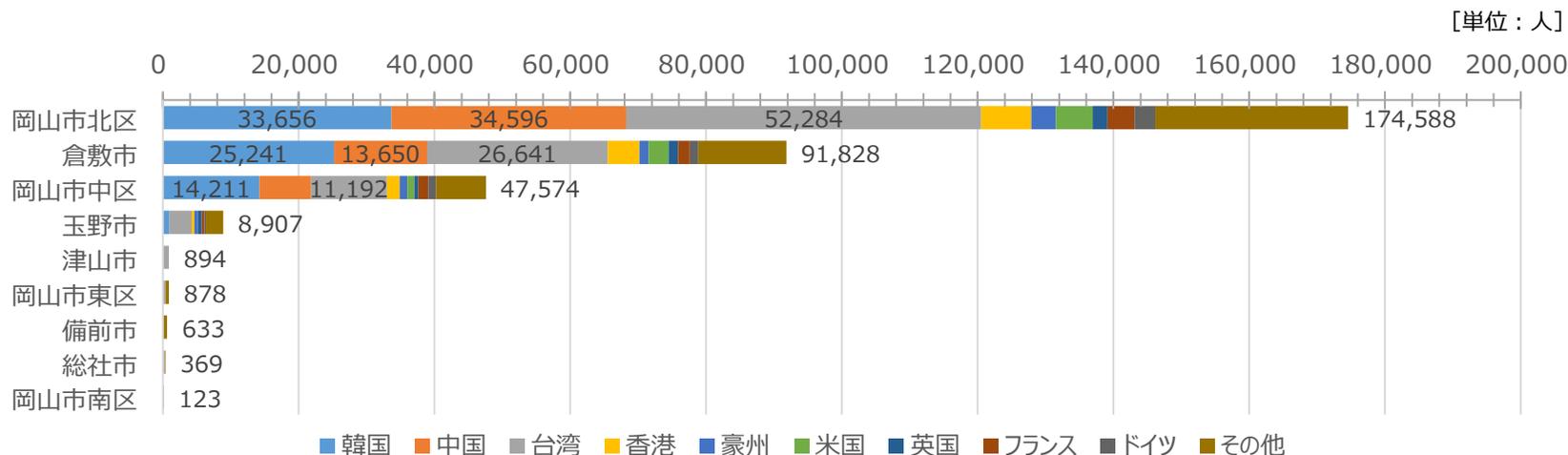
一つ前後の訪問先だけでなく、前後に訪れたすべての都道府県を集計するため、来訪者数合計と差が生じる

1.2.2 岡山県滞在・宿泊動向

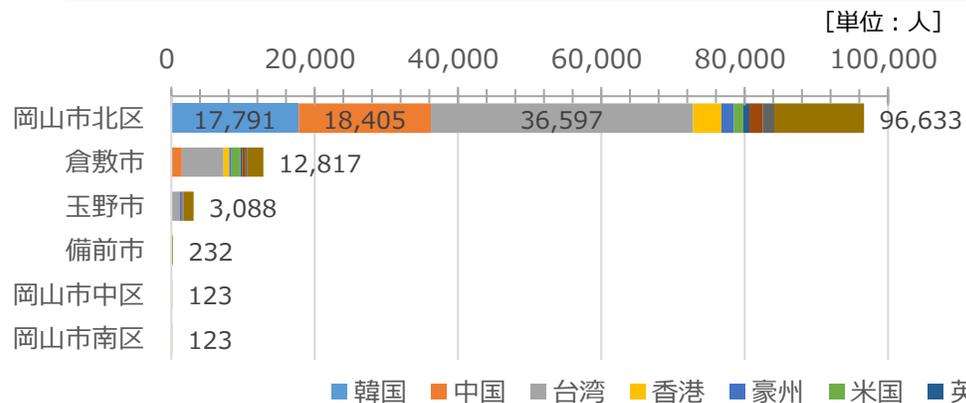
※すべてのグラフはユニークカウントで集計

- » 宿泊は岡山市北区に集中しているが、滞在は北区に加え倉敷市や中区も一定規模を形成している。
- » 来訪者は台湾・中国・韓国とアジア圏が大半を占める。岡山県への流入は東エリアが75%と大半を占め、四国からは5%と少ない。

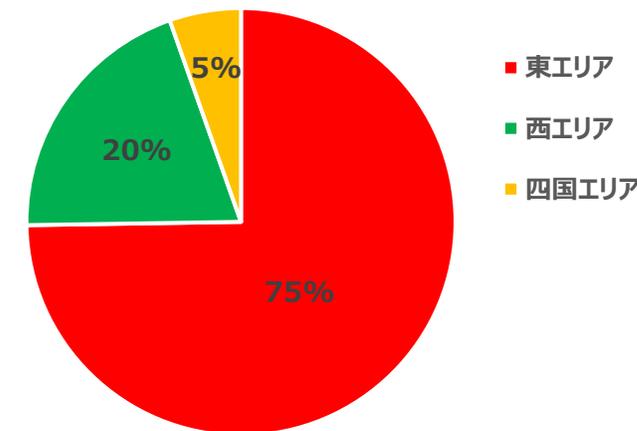
滞在_スポット（市町村ごと）



宿泊_スポット（市町村ごと）



流入前エリア割合



対象訪問地の滞前に、30分以上滞在のあった都道府県を表示

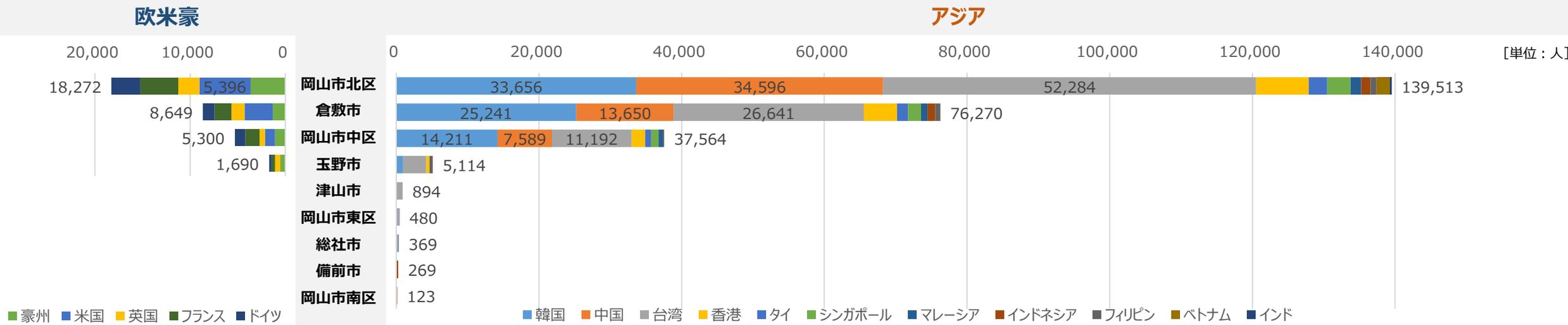
訪れたすべての市町村を集計するため、来訪者数合計と差が生じる

1.2.3 欧米豪・アジア滞在・宿泊動向

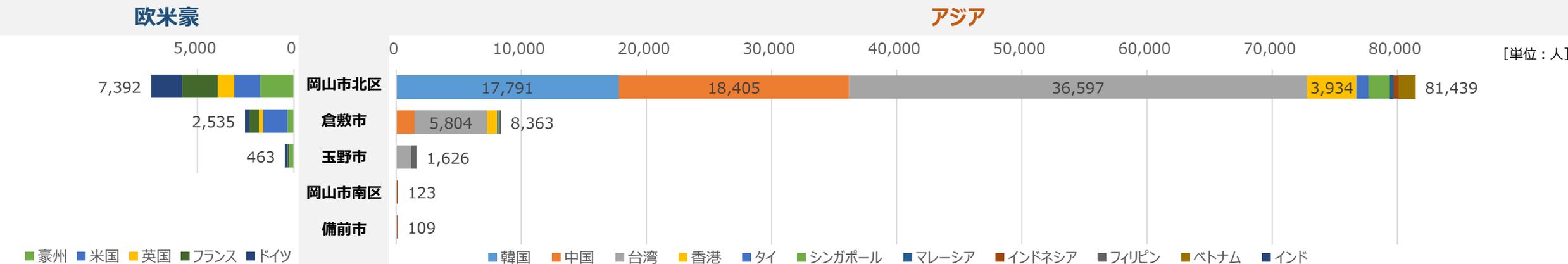
※すべてのグラフはユニークカウントで集計

- » 欧米豪・アジアとも岡山市北区と倉敷が主要拠点で、アジアは規模が大きい傾向。
- » 倉敷は滞在に比べ宿泊が少なく、日帰り傾向が強い。

滞在_スポット（市町村ごと）



宿泊_スポット（市町村ごと）



1.3.1 広島県インバウンド動向サマリ

※すべてのグラフはユニークカウントで集計

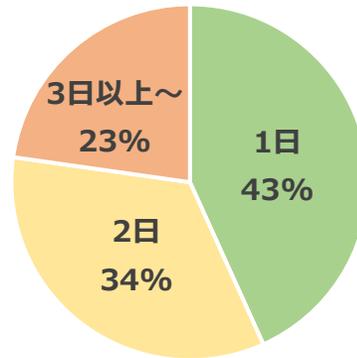
国籍別来訪者数TOP5

来訪者数（合計）450,736人

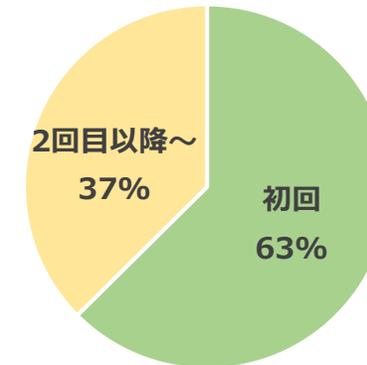
	国籍	来訪者数	割合
1	米国	60,113人	13.34%
2	韓国	40,787人	9.05%
3	豪州	35,002人	7.77%
4	中国	34,583人	7.67%
5	台湾	32,417人	7.19%

1~6月の間に複数回来訪した場合、1回の来訪のみをカウントする

滞在日数割合

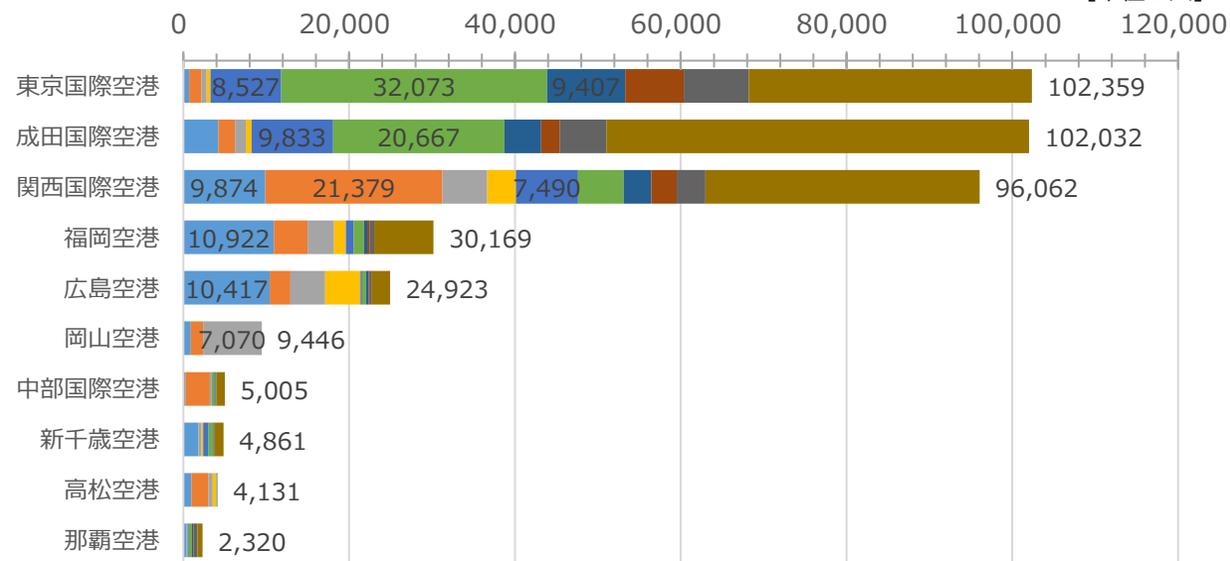


訪日回数割合



入出国空港TOP10

[単位：人]

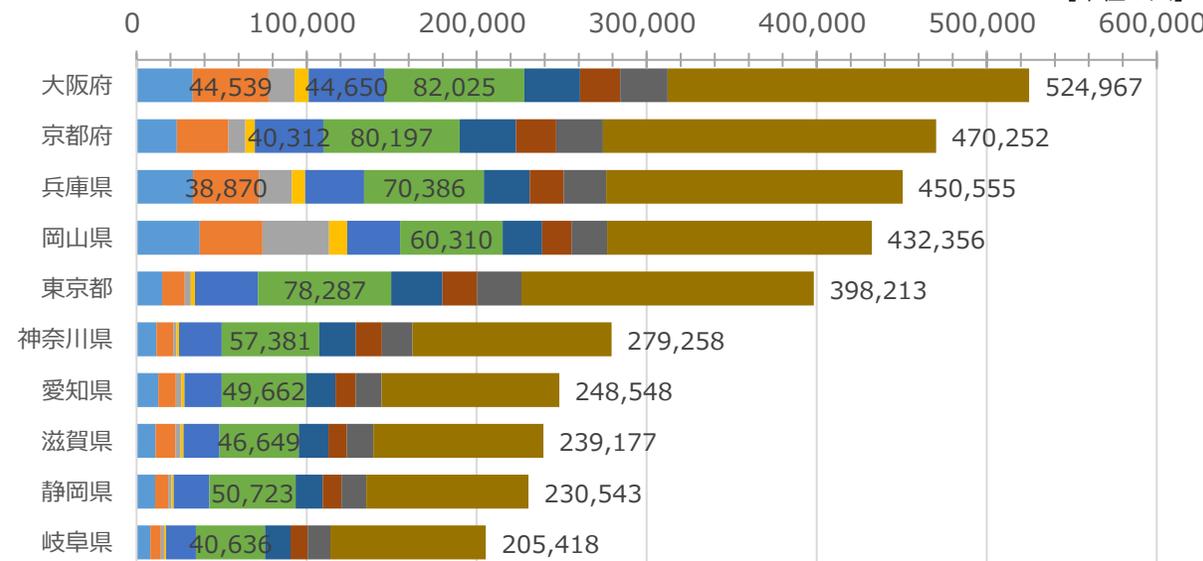


■韓国 ■中国 ■台湾 ■香港 ■豪州 ■米国 ■英国 ■フランス ■ドイツ ■その他

入国空港と出国空港をそれぞれユニークにカウントし、合算した値を表示

前後動態TOP10

[単位：人]



■韓国 ■中国 ■台湾 ■香港 ■豪州 ■米国 ■英国 ■フランス ■ドイツ ■その他

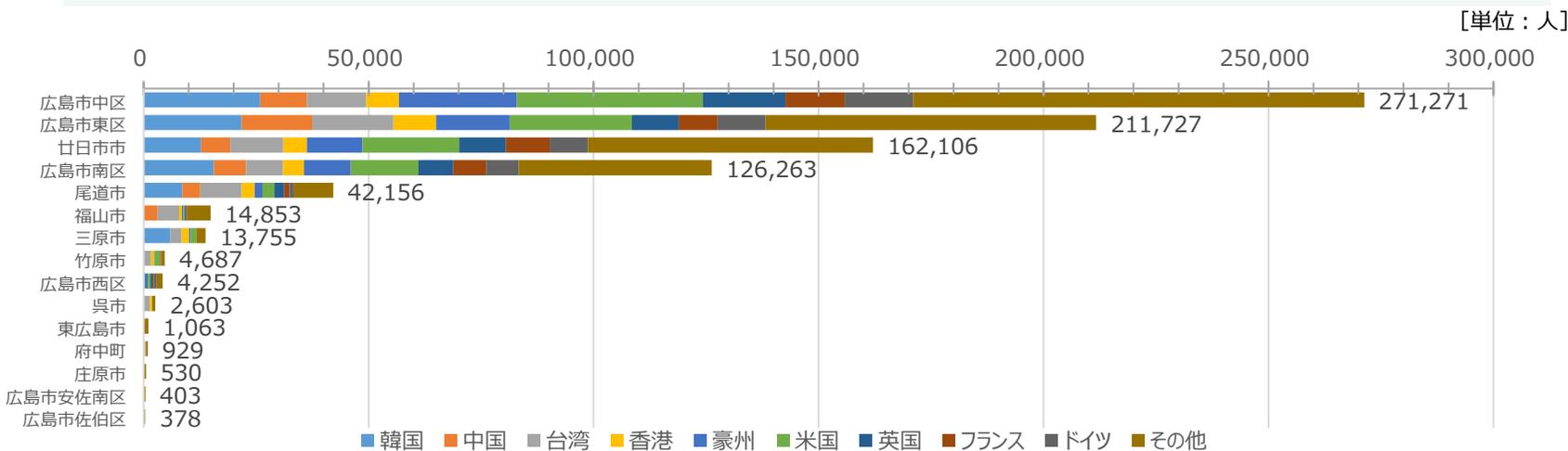
一つ前後の訪問先だけでなく、前後に訪れたすべての都道府県を集計するため、来訪者数合計と差が生じる

1.3.2 広島県滞在・宿泊動向

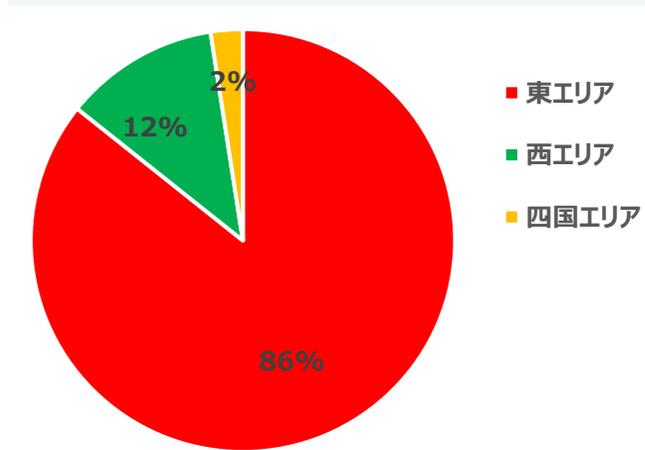
※すべてのグラフはユニークカウントで集計

- 滞在・宿泊ともに広島市中区・東区に集中し、廿日市市や南区が続く。廿日市市の滞在者は多いが宿泊者数は少ない。
- 来訪者はアジア圏だけでなく米国や豪州など多様。流入は東エリアが86%で、関西・関東が中心。

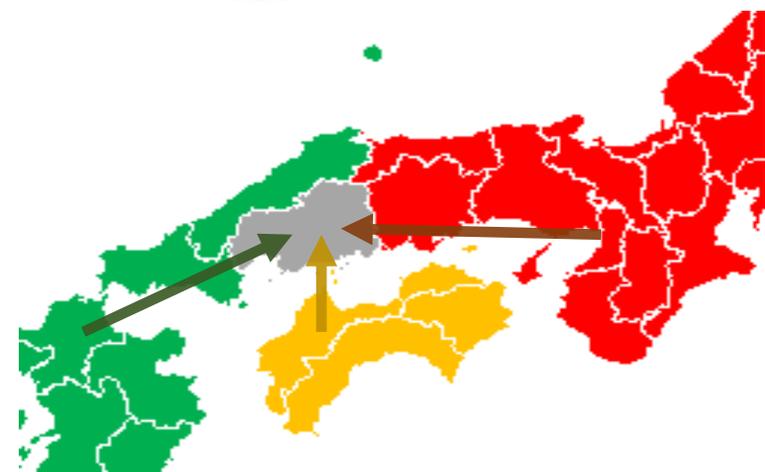
滞在_スポット（市町村ごと）



流入前エリア割合



宿泊_スポット（市町村ごと）



対象訪問地の滞在前に、30分以上滞在のあった都道府県を表示

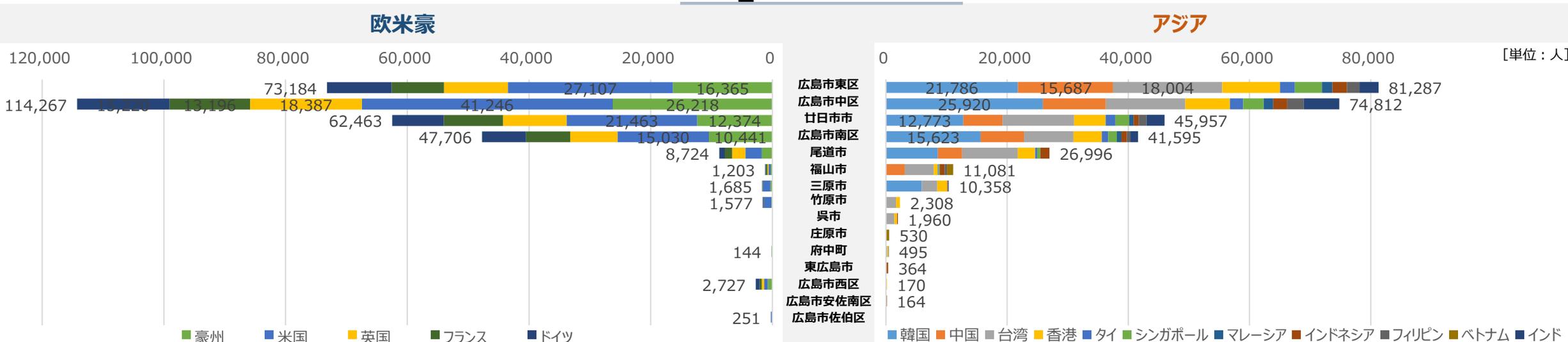
訪れたすべての市町村を集計するため、来訪者数合計と差が生じる

1.3.3 欧米豪・アジア滞在・宿泊動向

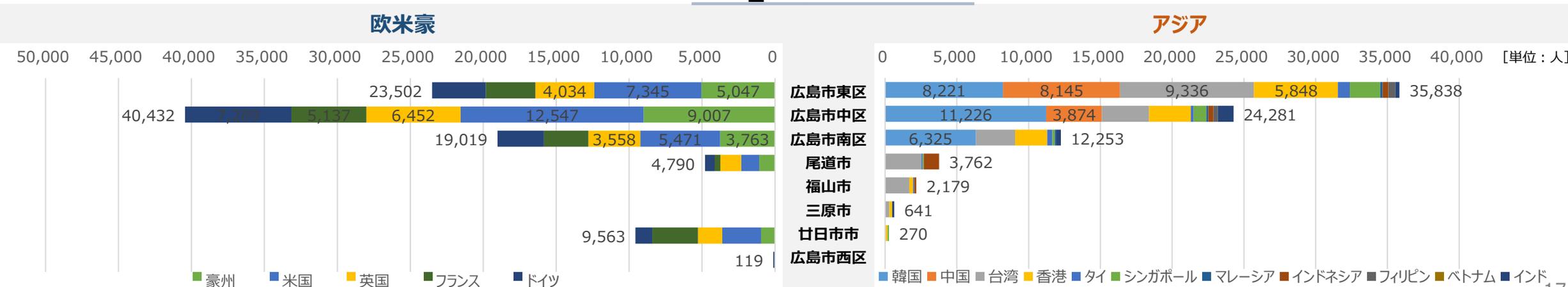
※すべてのグラフはユニークカウントで集計

- » 欧米豪は市中心部の広島市中区で滞在・宿泊が最多、アジアは広島駅周辺の広島市東区で滞在・宿泊が最多で中区が続く。
- » 廿日市市は欧米豪とアジアの両方で滞在が多いが、宿泊は少なく日帰り傾向が強い。

滞在_スポット（市町村ごと）



宿泊_スポット（市町村ごと）



1.4.1 山口県インバウンド動向サマリ

※すべてのグラフはユニークカウントで集計

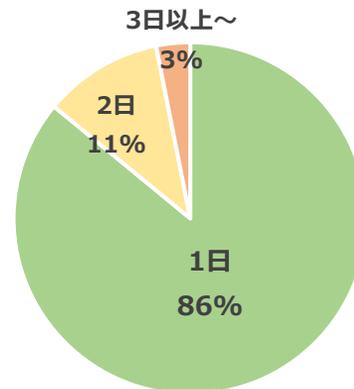
国籍別来訪者数TOP5

来訪者数（合計）65,718人

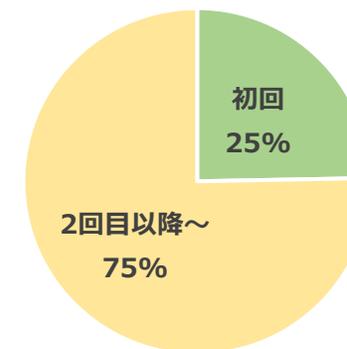
	国籍	来訪者数	割合
1	韓国	20,540人	31.25%
2	台湾	11,774人	17.92%
3	中国	8,824人	13.43%
4	香港	6,174人	9.39%
5	米国	6,163人	9.38%

1~6月の間に複数回来訪した場合、1回の来訪のみをカウントする

滞在日数割合

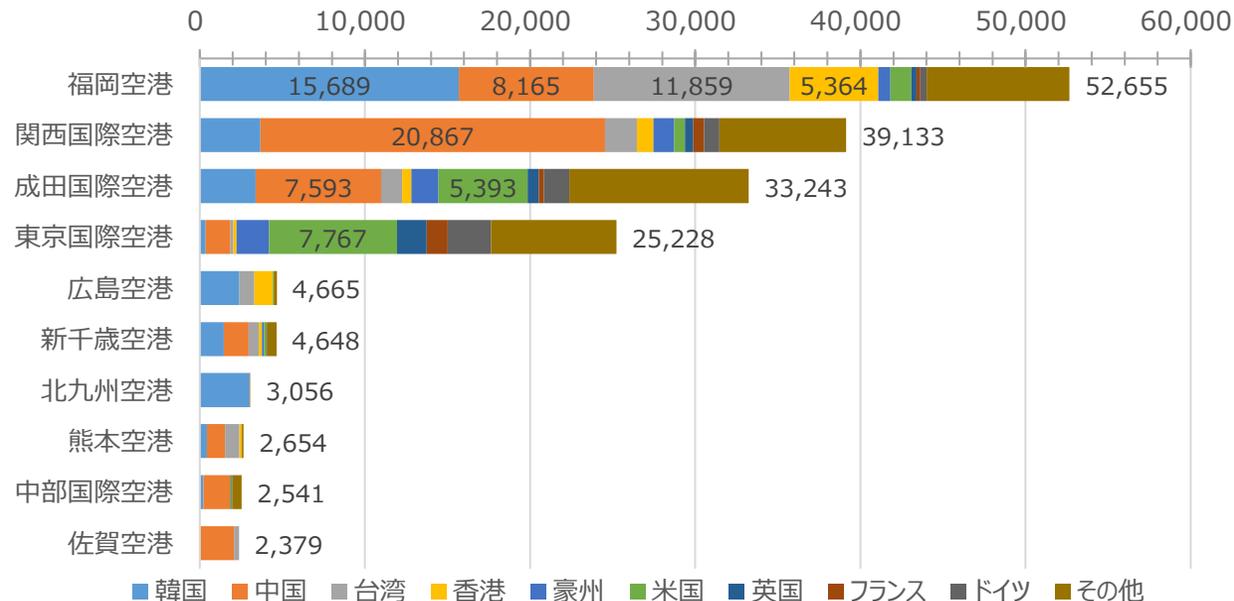


訪日回数割合



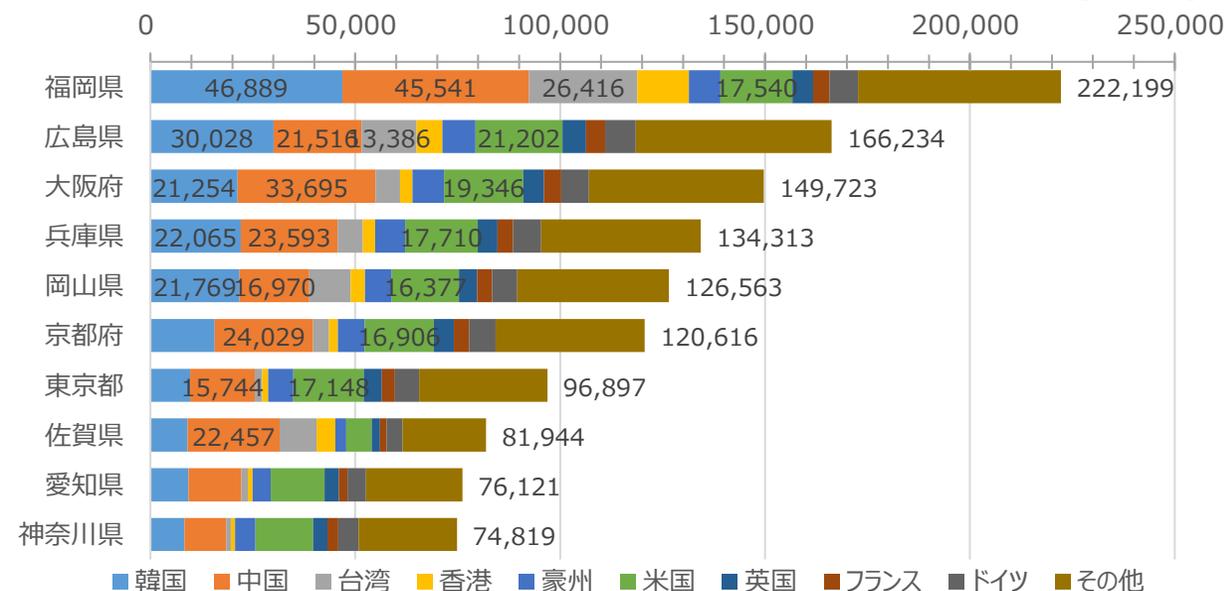
入出国空港TOP10

[単位：人]



前後動態TOP10

[単位：人]

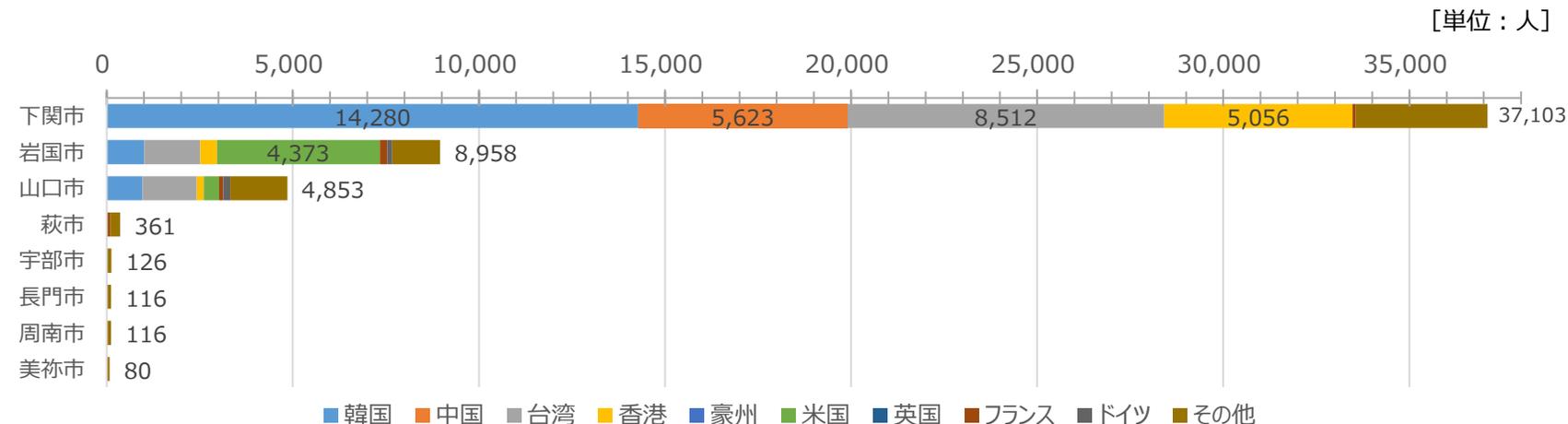


1.4.2 山口県滞在・宿泊動向

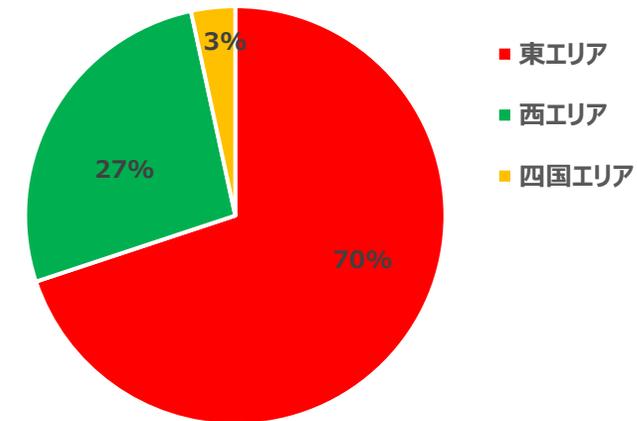
※すべてのグラフはユニークカウントで集計

- 滞在は下関市に集中し、岩国市や山口市が次点。これに対して、宿泊は岩国市が中心であるが、全体の宿泊者数は少ない。
- 来訪者の国籍は、下関市ではアジア圏が大半を占める一方、岩国市では米国が約半数を占める。流入は東エリアが70%、西エリアは福岡を中心に27%。

滞在_スポット（市町村ごと）



流入前エリア割合



宿泊_スポット（市町村ごと）



対象訪問地の滞在前に、30分以上滞在のあった都道府県を表示

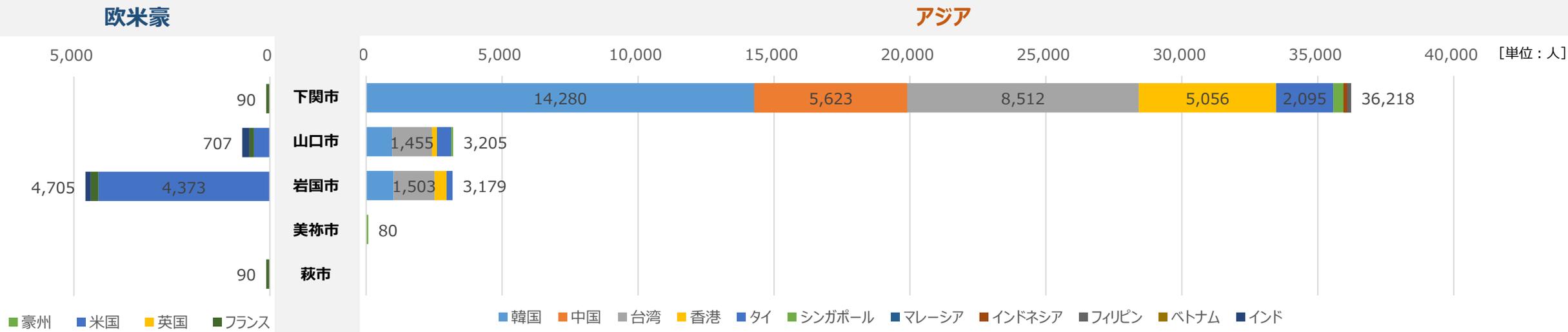
訪れたすべての市町村を集計するため、来訪者数合計と差が生じる

1.4.3 欧米豪・アジア滞在・宿泊動向

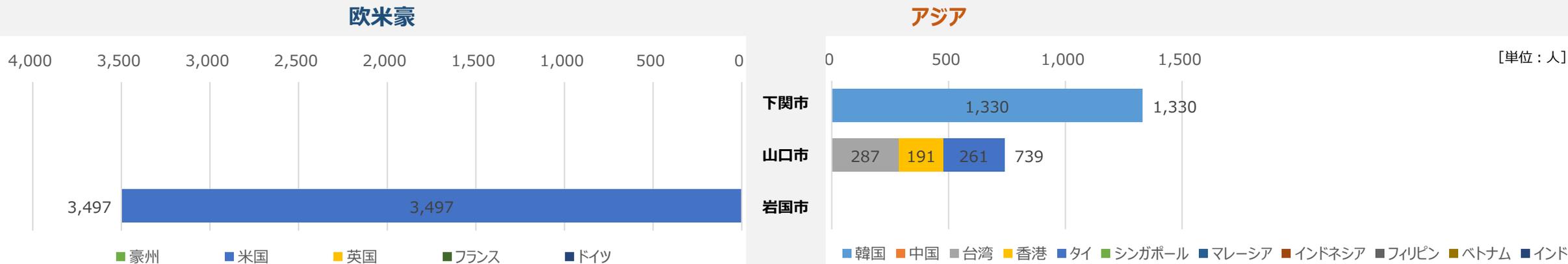
※すべてのグラフはユニークカウントで集計

- » 欧米豪は岩国市で滞在が最多、次いで山口市。滞在はアジアが多いが、宿泊は欧米豪が多く逆転し岩国市に集中、米国に限定される。
- » アジアは下関市に滞在が集中するが、宿泊は少なく日帰り傾向が強い。

滞在_スポット（市町村ごと）



宿泊_スポット（市町村ごと）



1.5.1 徳島県インバウンド動向サマリ

※すべてのグラフはユニークカウントで集計

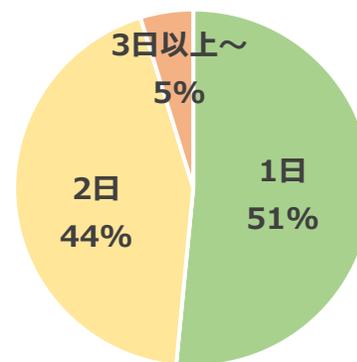
国籍別来訪者数TOP5

来訪者数（合計）24,113人

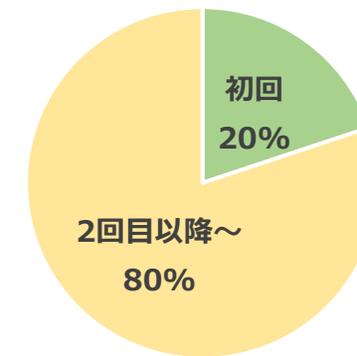
	国籍	来訪者数	割合
1		台湾 6,300人	26.13%
2		香港 4,239人	17.58%
3		韓国 3,352人	13.90%
4		米国 1,773人	7.35%
5		豪州 1,191人	4.94%

1~6月の間に複数回来訪した場合、1回の来訪のみをカウントする

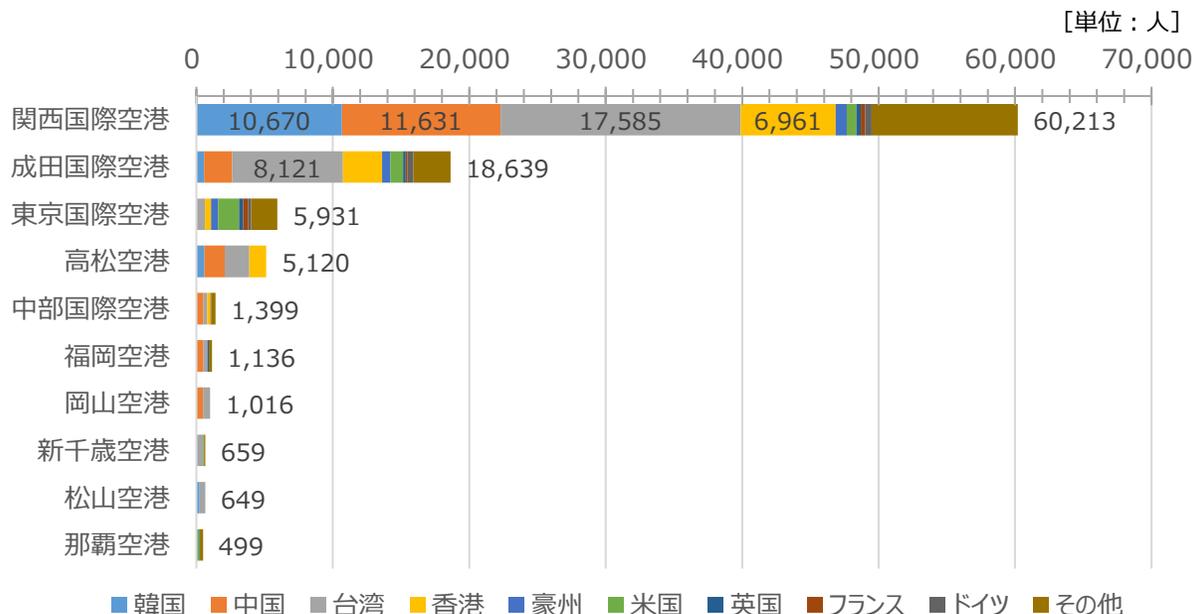
滞在日数割合



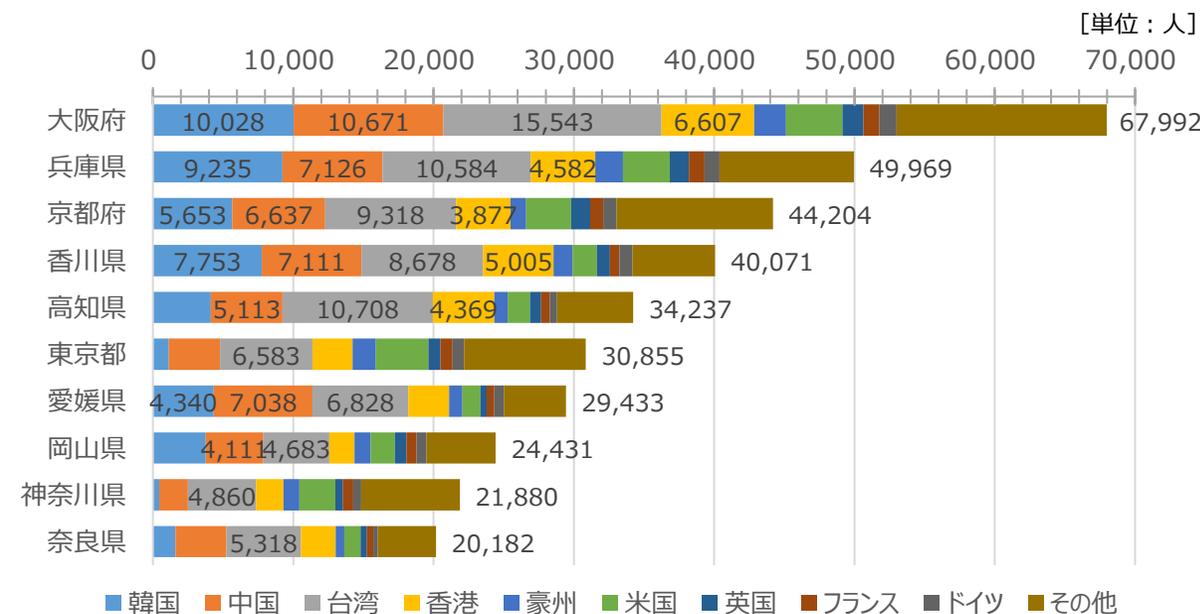
訪日回数割合



入出国空港TOP10



前後動態TOP10



入国空港と出国空港をそれぞれユニークにカウントし、合算した値を表示

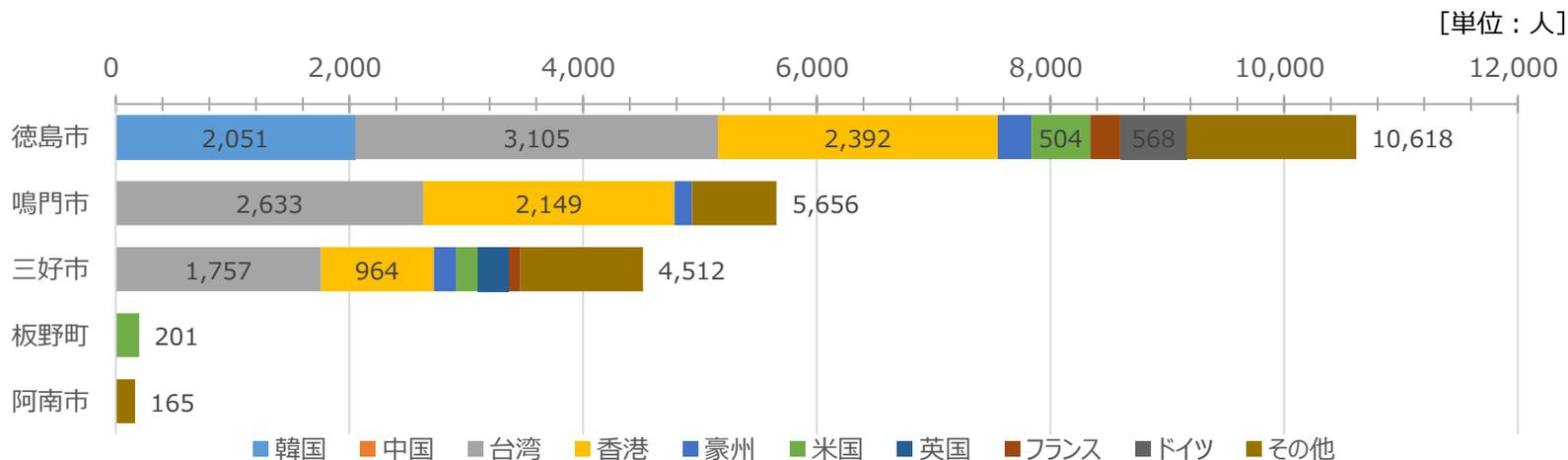
一つ前後の訪問先だけでなく、前後に訪れたすべての都道府県を集計するため、来訪者数合計と差が生じる 21

1.5.2 徳島県滞在・宿泊動向

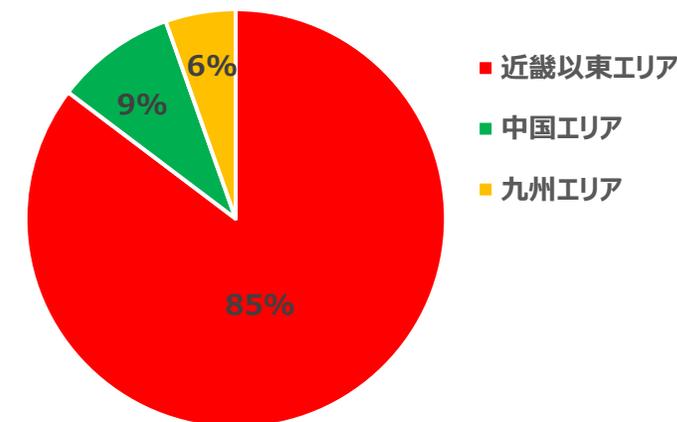
※すべてのグラフはユニークカウントで集計

- » 滞在・宿泊は徳島市に集中し、鳴門市は滞在規模が大きい一方で宿泊は見られず日帰り訪問が中心と考えられる。
- » 流入は近畿・東エリアが85%と大半を占め、中国エリア9%、九州エリア6%とわずかである。

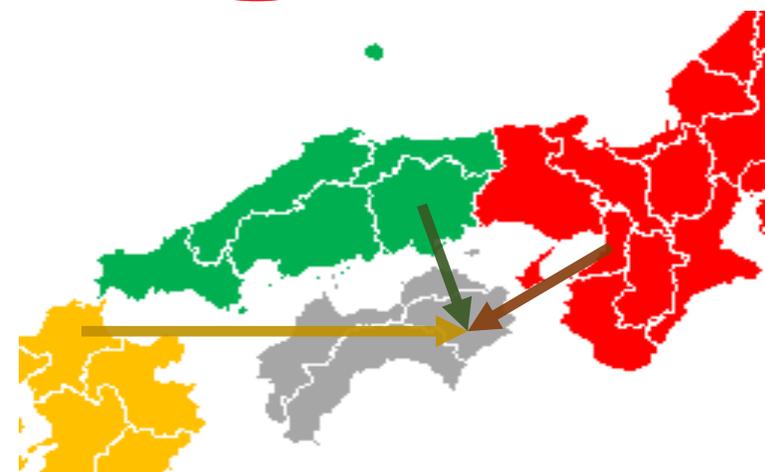
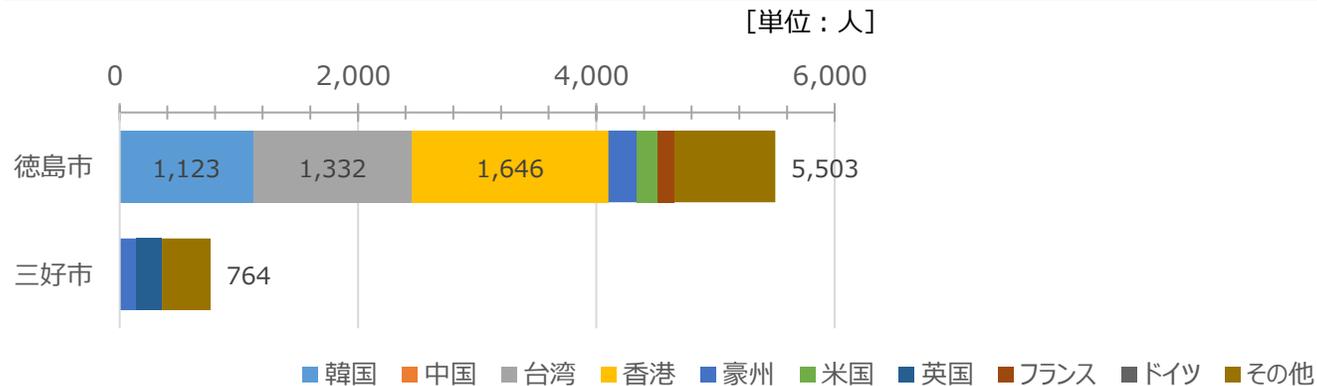
滞在_スポット（市町村ごと）



流入前エリア割合



宿泊_スポット（市町村ごと）



対象訪問地の滞前に、30分以上滞在のあった都道府県を表示

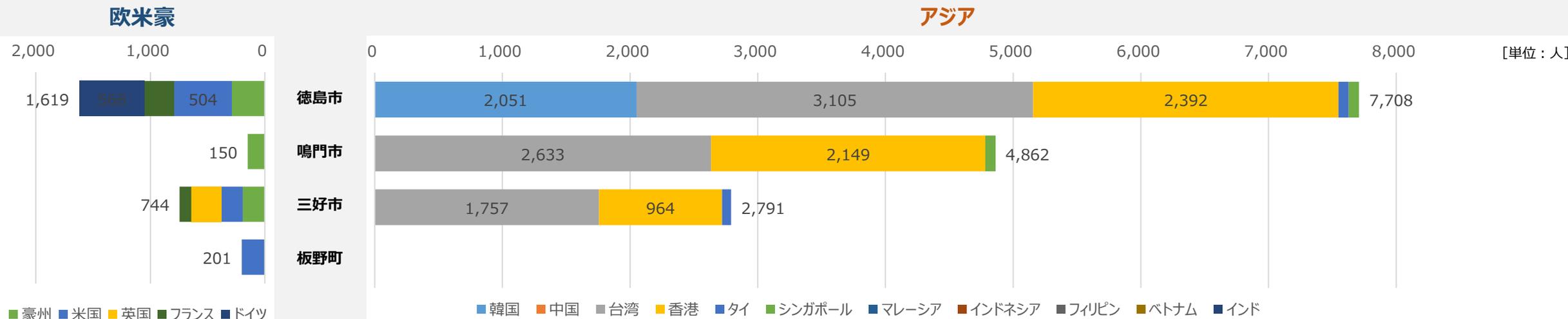
訪れたすべての市町村を集計するため、来訪者数合計と差が生じる

1.5.3 欧米豪・アジア滞在・宿泊動向

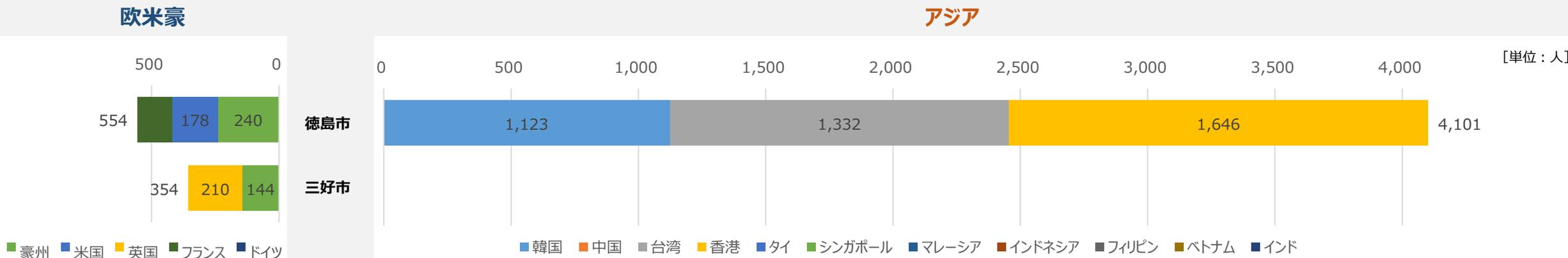
※すべてのグラフはユニークカウントで集計

- » 欧米豪は滞在・宿泊ともに、徳島市と三好市に集中し、全体の規模はアジアのほうが大きい。
- » アジアは徳島市を中心に鳴門市や三好市にも滞在が広がる一方で、宿泊は徳島市に集中している。

滞在_スポット（市町村ごと）



宿泊_スポット（市町村ごと）



1.6.1 香川県インバウンド動向サマリ

※すべてのグラフはユニークカウントで集計

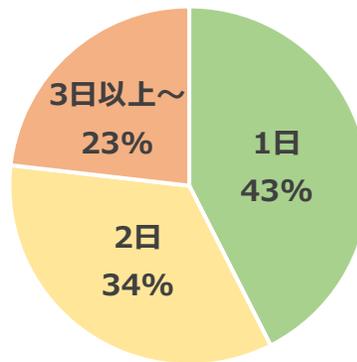
国籍別来訪者数TOP5

来訪者数（合計）135,736人

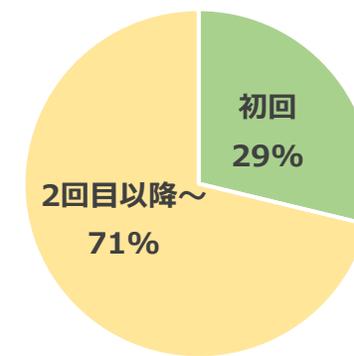
	国籍	来訪者数	割合
1	韓国	42,429人	31.26%
2	中国	28,096人	20.70%
3	台湾	23,992人	17.68%
4	香港	9,737人	7.17%
5	米国	4,162人	3.07%

1~6月の間に複数回来訪した場合、1回の来訪のみをカウントする

滞在日数割合

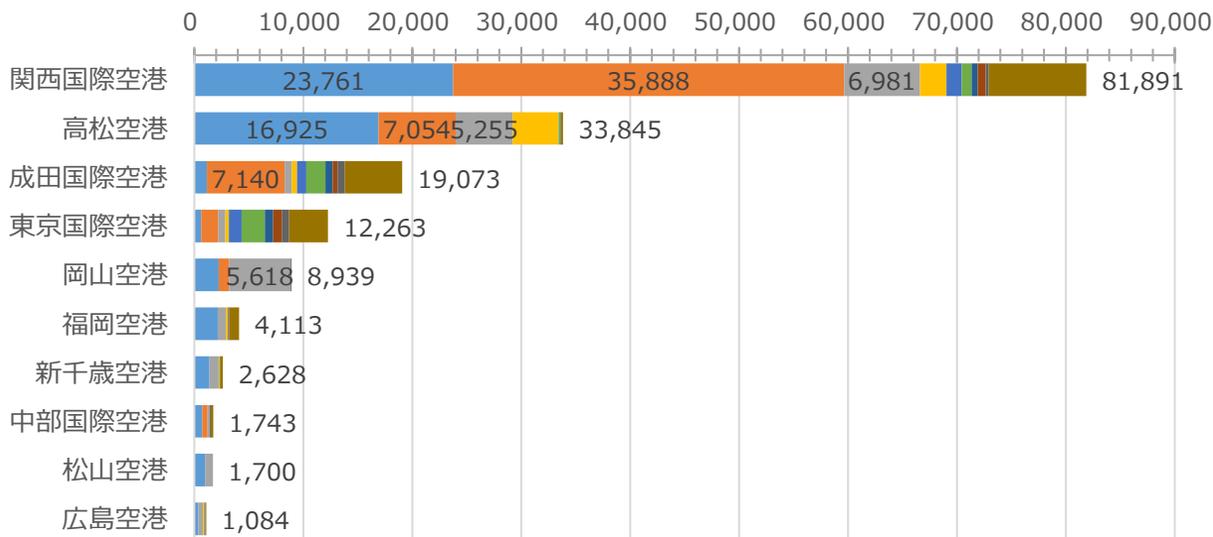


訪日回数割合



入出国空港TOP10

[単位：人]

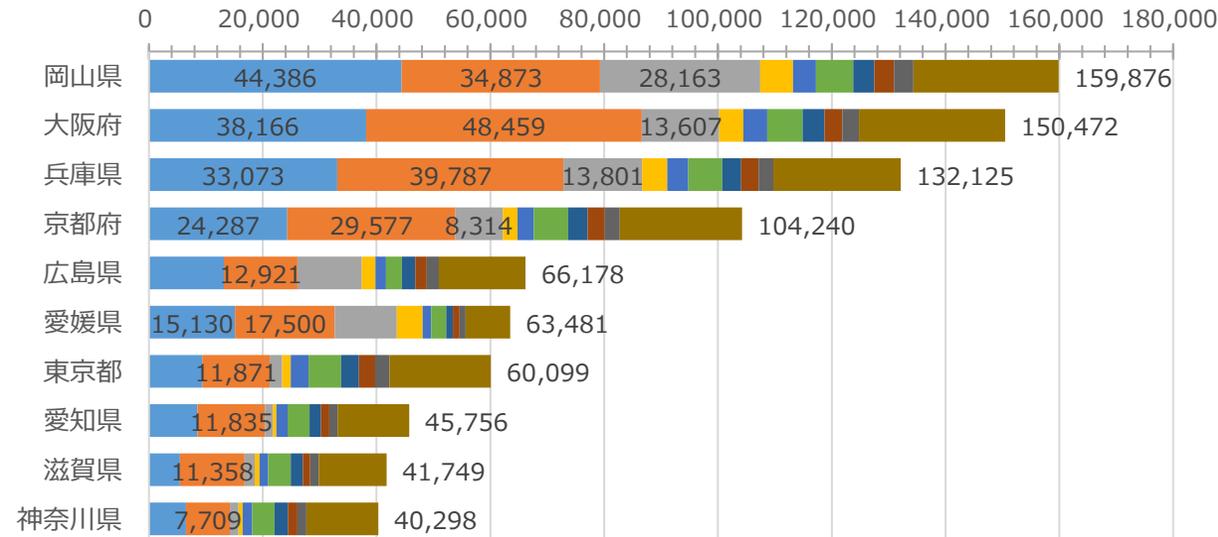


■韓国 ■中国 ■台湾 ■香港 ■豪州 ■米国 ■英国 ■フランス ■ドイツ ■その他

入国空港と出国空港をそれぞれユニークにカウントし、合算した値を表示

前後動態TOP10

[単位：人]



■韓国 ■中国 ■台湾 ■香港 ■豪州 ■米国 ■英国 ■フランス ■ドイツ ■その他

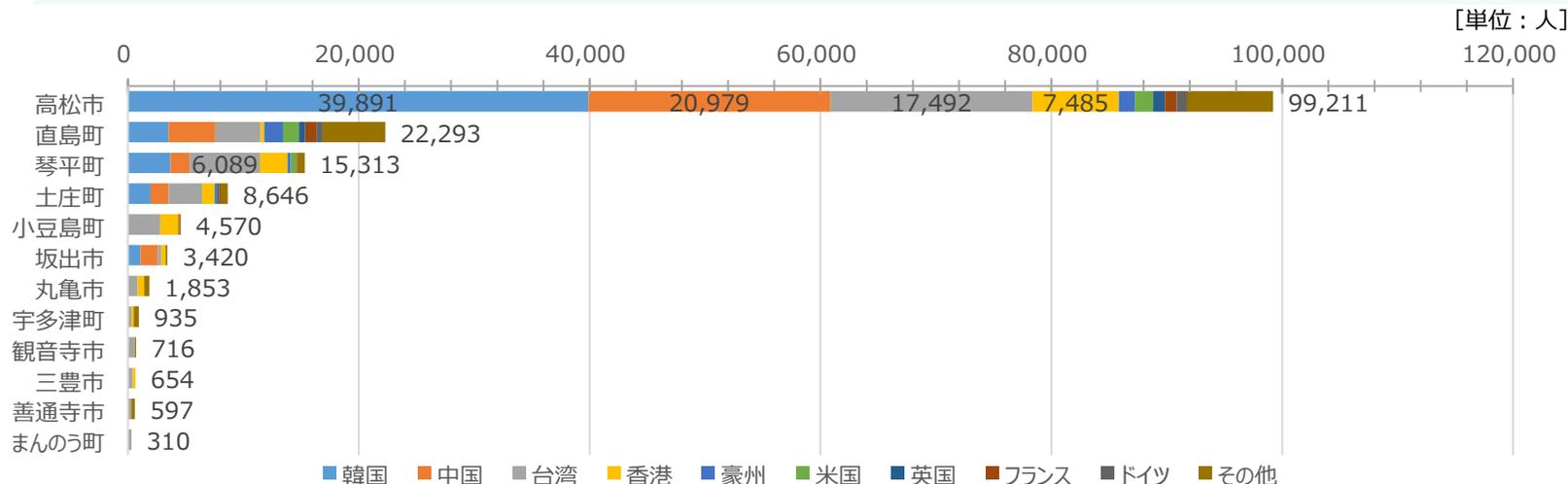
一つ前後の訪問先だけでなく、前後に訪れたすべての都道府県を集計するため、来訪者数合計と差が生じる 24

1.6.2 香川県滞在・宿泊動向

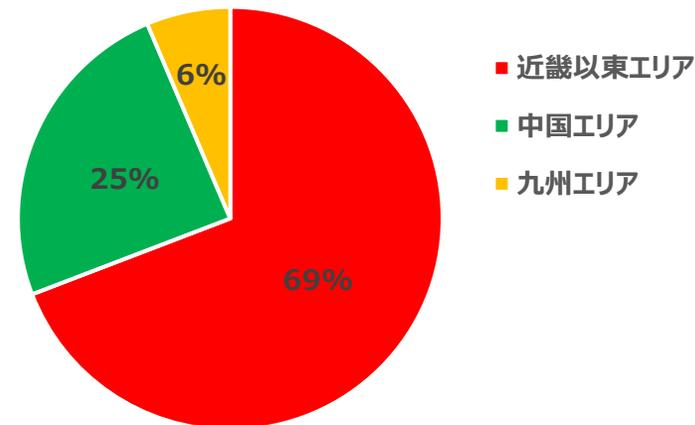
※すべてのグラフはユニークカウントで集計

- » 滞在・宿泊ともに高松市に集中し、直島町と琴平町が次点。韓国と中国の来訪者が半数を占めている。
- » 香川への流入は近畿以东エリアが69%で、中国エリアが岡山・広島を中心に25%を占めている。

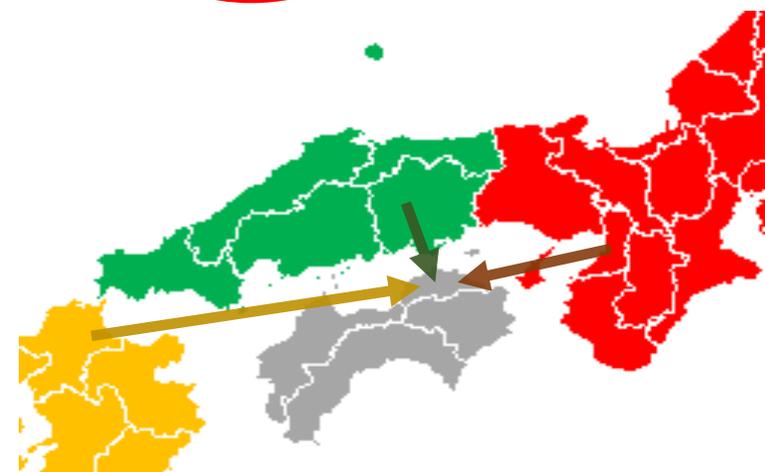
滞在_スポット（市町村ごと）



流入前エリア割合



宿泊_スポット（市町村ごと）



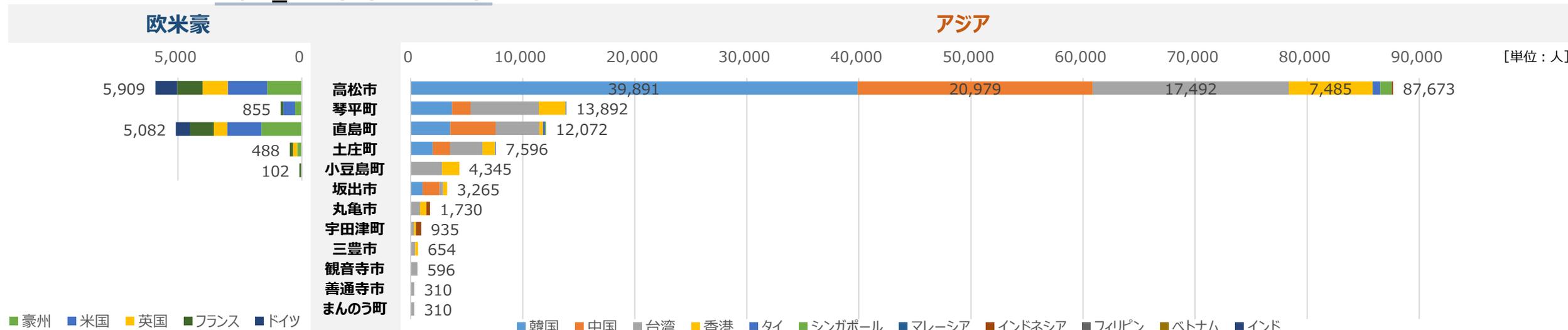
対象訪問地の滞在前に、30分以上滞在のあった都道府県を表示

1.6.3 欧米豪・アジア滞在・宿泊動向

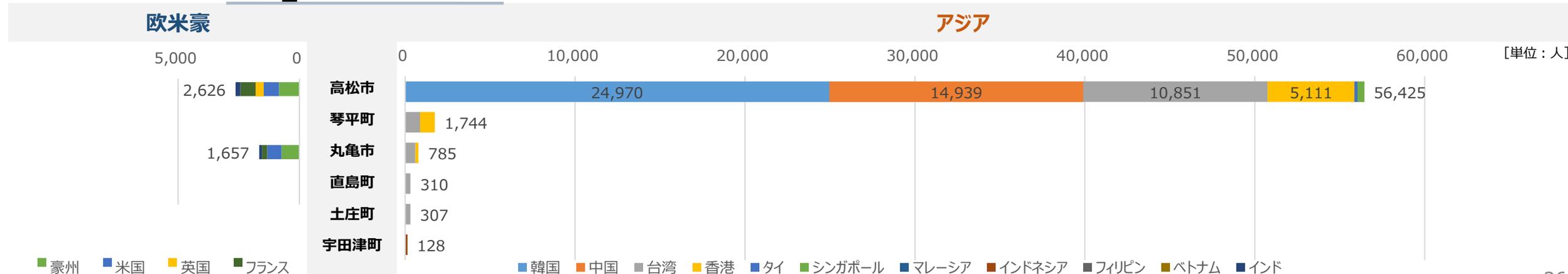
※すべてのグラフはユニークカウントで集計

- 滞在・宿泊ともに高松市に集中し、アジアが大半を占める。
- 琴平町や直島町は滞在に比べ宿泊する人が少なく、欧米豪ではほぼ見られない。

滞在_スポット（市町村ごと）



宿泊_スポット（市町村ごと）



1.7.1 愛媛県インバウンド動向サマリ

※すべてのグラフはユニークカウントで集計

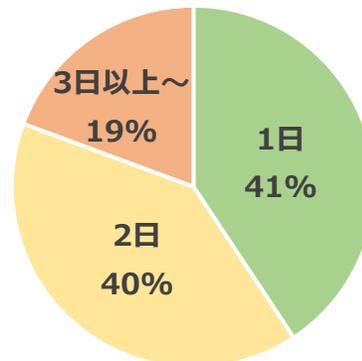
国籍別来訪者数TOP5

来訪者数（合計）88,172人

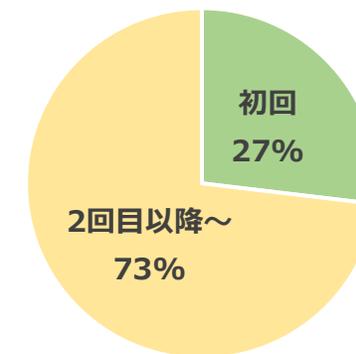
	国籍	来訪者数	割合
1	韓国	43,274人	49.08%
2	台湾	11,078人	12.56%
3	中国	10,180人	11.55%
4	米国	3,831人	4.34%
5	香港	3,125人	3.54%

1~6月の間に複数回来訪した場合、1回の来訪のみをカウントする

滞在日数割合

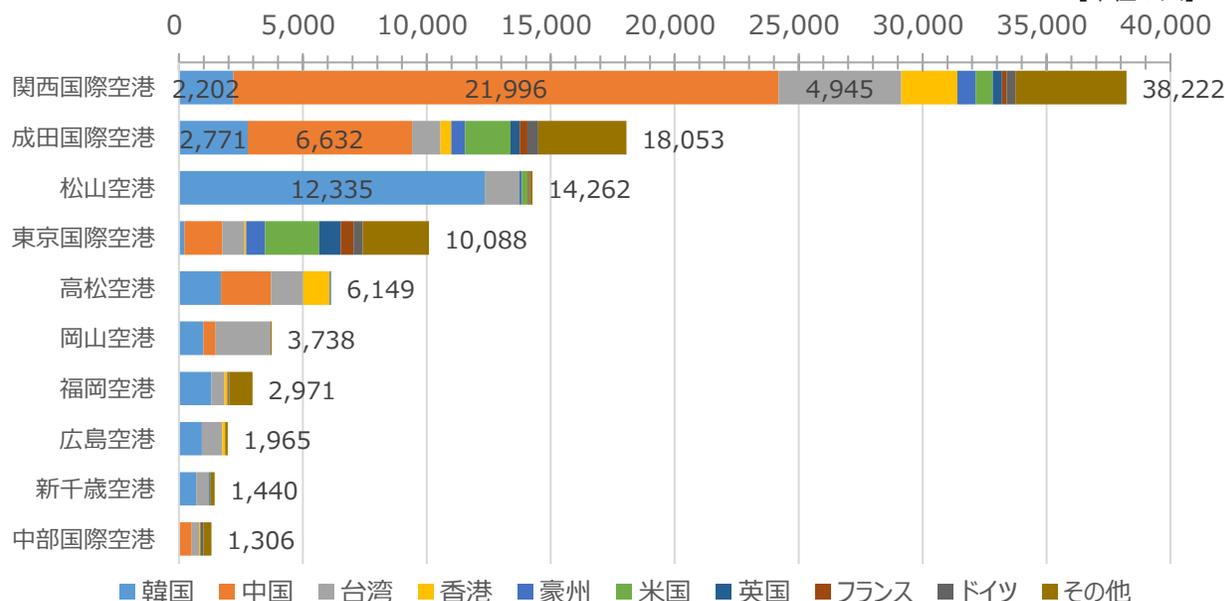


訪日回数割合



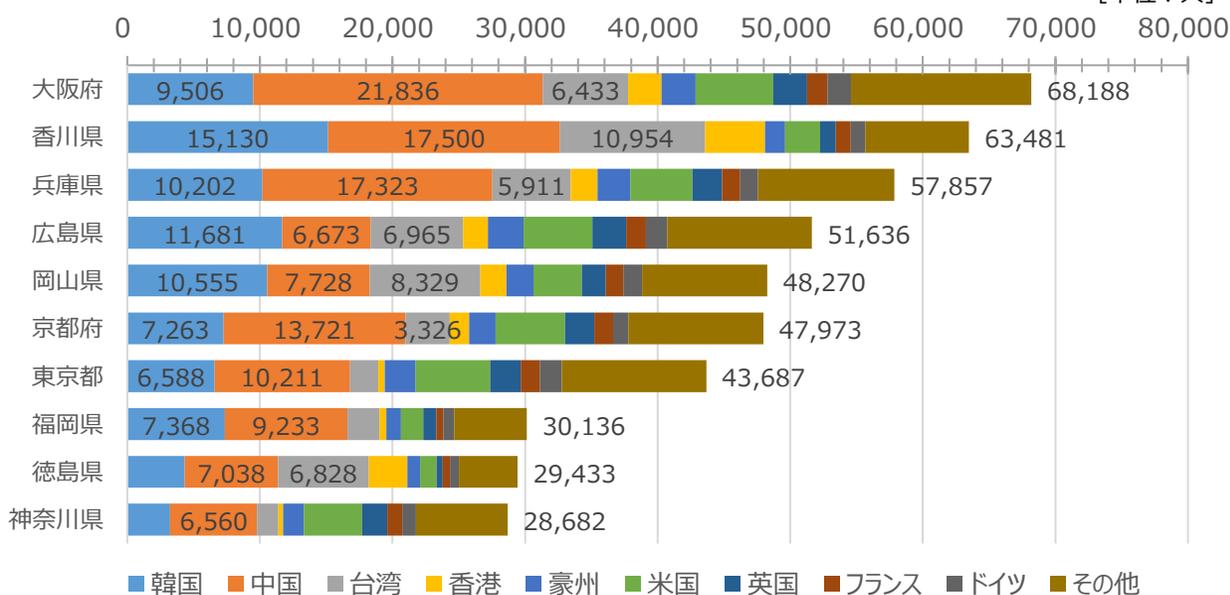
入出国空港TOP10

[単位：人]



前後動態TOP10

[単位：人]



入国空港と出国空港をそれぞれユニークにカウントし、合算した値を表示

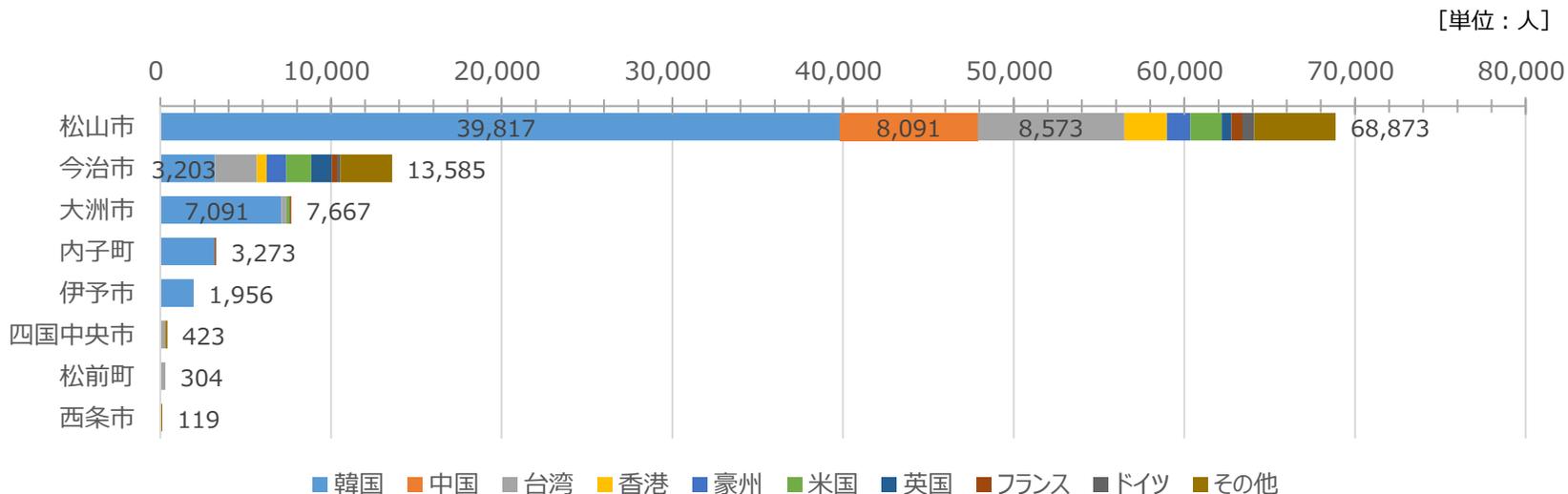
一つ前後の訪問先だけでなく、前後に訪れたすべての都道府県を集計するため、来訪者数合計と差が生じる 27

1.7.2 愛媛県滞在・宿泊動向

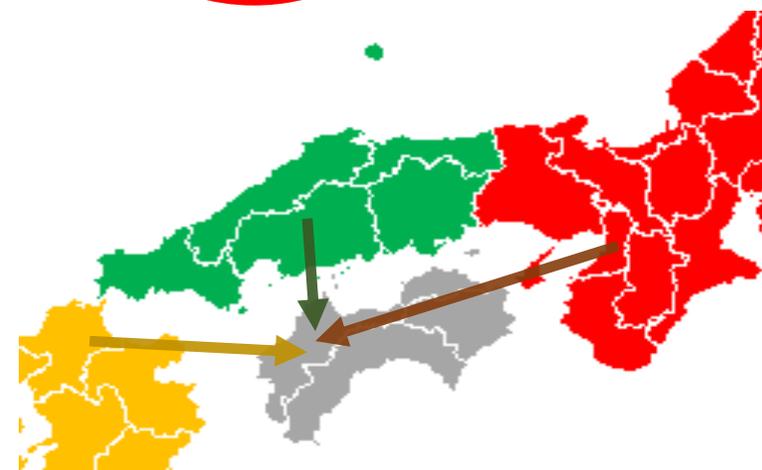
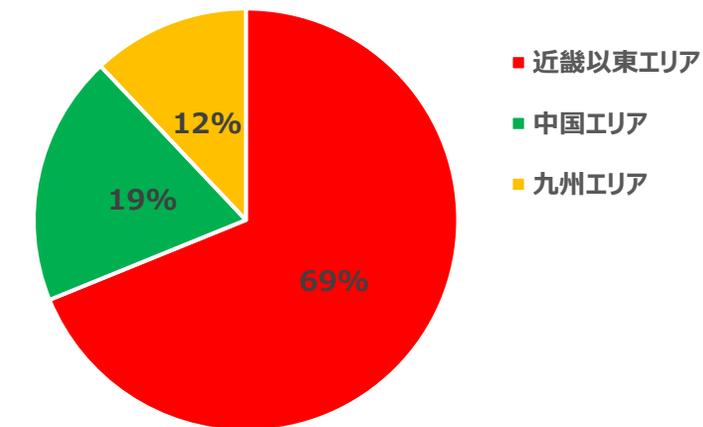
※すべてのグラフはユニークカウントで集計

- » 滞在・宿泊は松山市に集中し、韓国からの来訪が約半数を占める。
- » 流入は近畿・東エリアが約7割、中国エリアが約2割、九州エリアも1割強と広域からの来訪が見られる。

滞在_スポット（市町村ごと）

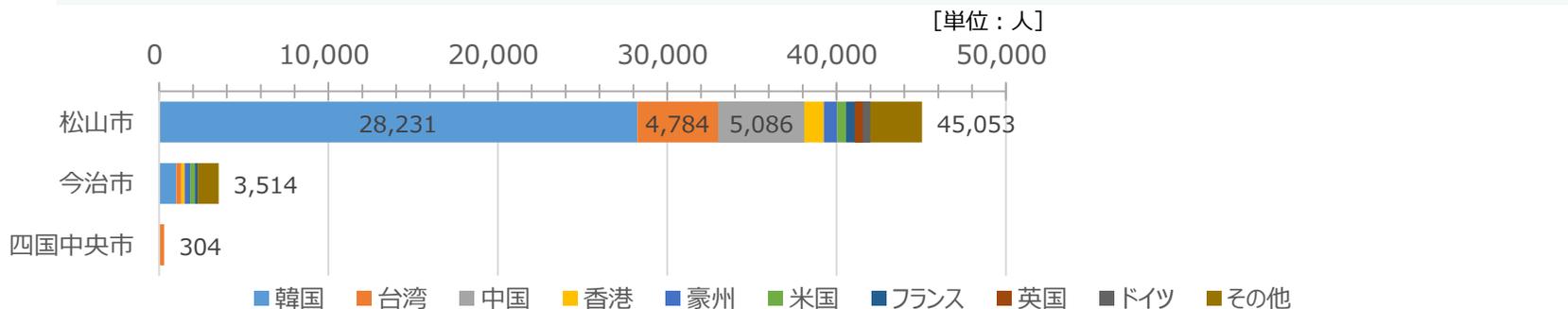


流入前エリア割合



対象訪問地の滞前に、30分以上滞在のあった都道府県を表示

宿泊_スポット（市町村ごと）



訪れたすべての市町村を集計するため、来訪者数合計と差が生じる

1.7.3 欧米豪・アジア滞在・宿泊動向

※すべてのグラフはユニークカウントで集計

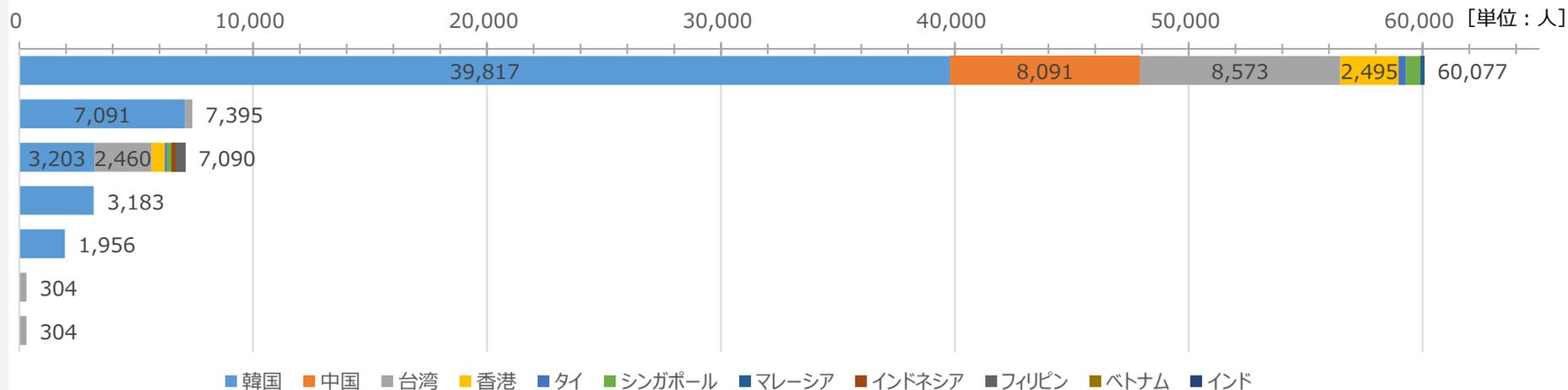
- 滞在・宿泊ともに松山市に集中し、アジアが大半を占める。一方、欧米豪は規模が小さく松山市と今治に滞在が分散するが宿泊は松山市中心。
- アジアは大洲市にも滞在が広がるが、欧米豪ではほぼ見られず、今治では滞在に比べ宿泊が少なく日帰り傾向が強い。

滞在_スポット（市町村ごと）

欧米豪

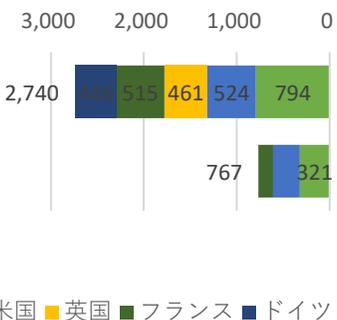


アジア

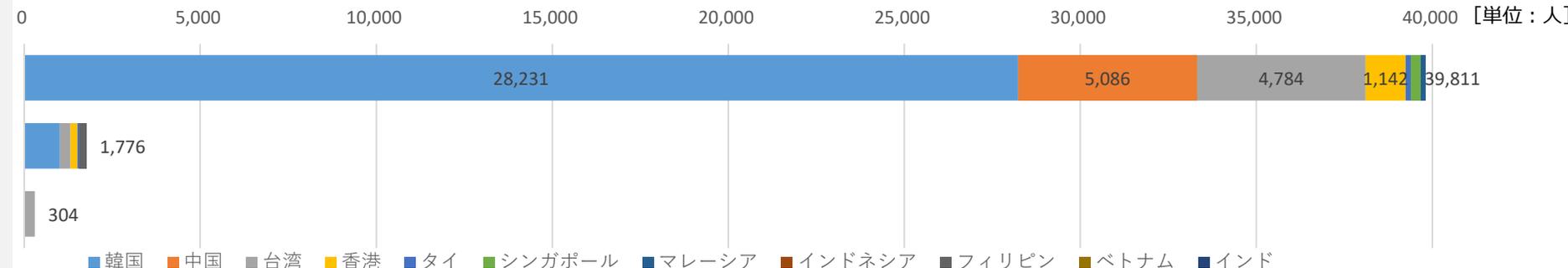


宿泊_スポット（市町村ごと）

欧米豪



アジア



2. 主要ゲートウェイ 動態分析

分析条件

人流分析の調査設計、推計条件は以下の通り。

分析期間	2025年1月1日～2025年6月30日
分析対象	せとうち7県の地方空港（ゲートウェイ）から入国したインバウンドが、どの程度せとうちエリアに宿泊したか
分析条件 および定義	<ul style="list-style-type: none"> • 国籍毎の訪問者数が100名に満たない場合、当該国籍の訪問者数が安定して検出できない傾向にある。 • 使用しているデータは宿泊データのみ • 指定したエリアに、23:00-翌3:00の時間帯に最後に滞在した地点を「宿泊」と定義
データソース	<ul style="list-style-type: none"> • 株式会社データワイズ社が提供するAreaMarketerインバウンド版※データを利用 ※ナビタイムジャパンが提供するアプリ「Japan Travel byNAVITIME」で取得したインバウンドGPSデータ

1-2. 主要ゲートウェイ 動態分析 目的と内容

せとうち7県の**地方空港（ゲートウェイ）**から入国したインバウンドが、どの程度せとうちエリアに宿泊したかを推定する。
ここではどの市区町村に宿泊したか把握するために、地方空港をゲートウェイと仮定しせとうちエリアの宿泊有無及び宿泊者数を分析する。

前提

- ✓ 空港のある市町をゲートウェイと設定※（例：広島空港の場合、三原市をゲートウェイに設定）
- ✓ 空港からの直行便がある国に絞った分析（例：広島空港の場合、韓国/中国/台湾/香港/ベトナム/タイ）
- ✓ 空港を利用したインバウンドがその後どこに宿泊したかを分析。（広島空港→広島市宿泊）
- ✓ ゲートウェイ地点の宿泊者は直接算出することが難しいため、1章で算出した宿泊_スポットの数値を利用して按分・推定した。

※特定の空港スポットの分析だと、サンプル数が少ないため、エリアを広げ、ゲートウェイのある市町村からの動態を分析した。

ゲートウェイの選定

※直行便がある国に限定し、その国籍に絞った人数を当該ゲートウェイの入国者数と仮定する。

- 兵庫県：神戸空港（兵庫県神戸市中央区）
- 岡山県：岡山空港（岡山県岡山市北区）
- 広島県：広島空港（広島県三原市）
- 香川県：高松空港（香川県高松市）
- 愛媛県：松山空港（愛媛県松山市）
- 徳島県：徳島空港（徳島県松茂町）※徳島空港利用者のサンプルデータが少なく、分析ができなかったため除外
- 山口県：山口空港（山口県宇部市）※宇部空港利用者のサンプルデータが少なく、分析ができなかったため除外

宿泊者数の算出方法

- ゲートウェイ以外の宿泊者数 = 地方空港入国者数 × 地方空港入国後に宿泊した市区町村の割合 …①
- ゲートウェイ地点の宿泊者数 = ゲートウェイ以外の宿泊者数 × (ゲートウェイの宿泊者割合 ÷ ゲートウェイ以外の宿泊者割合) …②

※②の割合は1章の宿泊_スポットの数値を引用

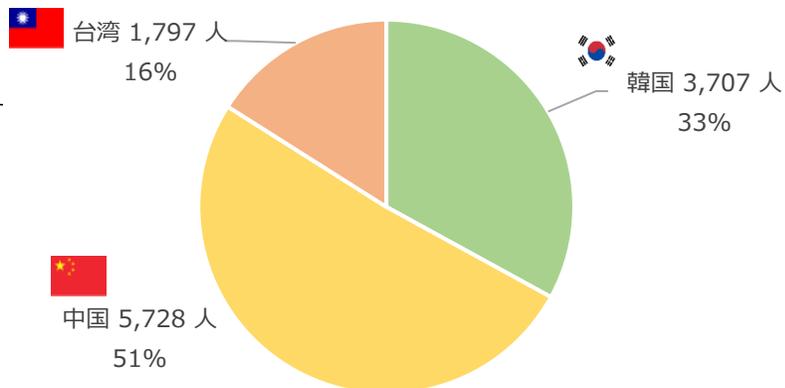
※②の計算は比率換算による比例配分（按分）による算出方法となる。

例) ゲートウェイ地点の宿泊者数（岡山市北区）= 倉敷市（280人）× 岡山市北区の宿泊者割合（85.5%） ÷ 倉敷市の宿泊者割合（11.34%）

2.1 神戸空港利用者の宿泊エリア

» 神戸空港利用者の内、兵庫県宿泊者数は全体の15%を占め、うち神戸市中央区が67%を占める。宿泊の中心は神戸市中央区である。

国籍別来訪者数内訳



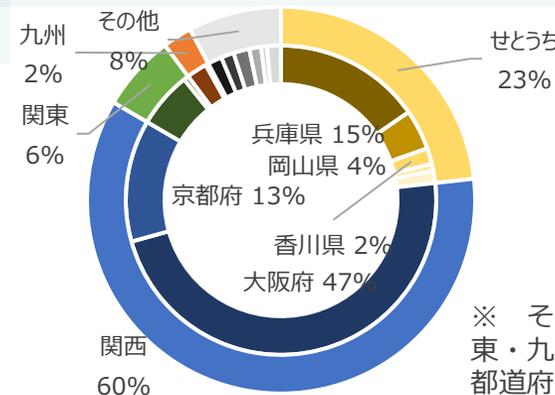
神戸空港来訪者数 (合計)

↳ 11,232人

直行便がある国

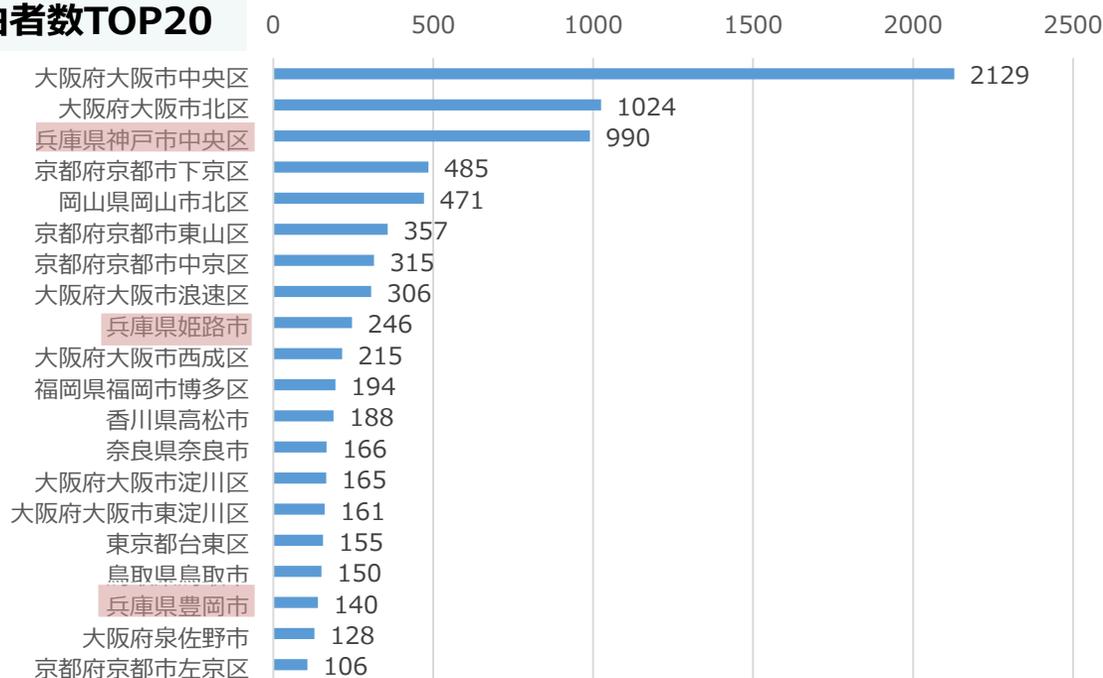
↳ 韓国・中国・台湾

エリア内宿泊先内訳



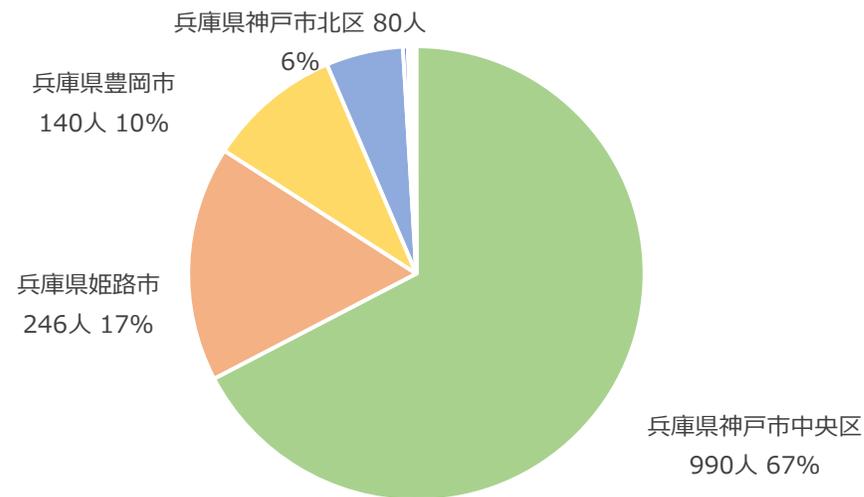
※ その他は3地方（関西・関東・九州）とせとうち7県以外の都道府県以外から構成

総宿泊者数TOP20



※ 拡大係数による計算で、神戸市中央区宿泊者数は高くなっている可能性がある。

兵庫県宿泊者内訳



※ 拡大推計による数値のため誤差を一定程度含む

2.2 岡山空港利用者の宿泊エリア

» 岡山空港利用者の内、岡山県宿泊者数は全体の24%を占め、うち岡山市北区が86%、倉敷市が11%を占める。宿泊の中心は岡山市北区である。

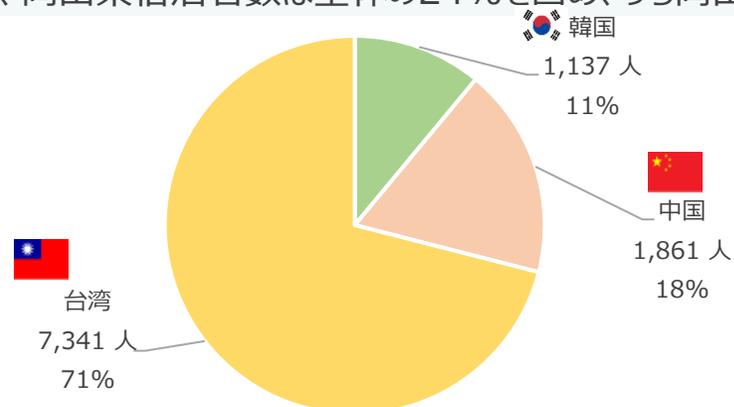
国籍別来訪者内訳

岡山空港来訪者数（合計）

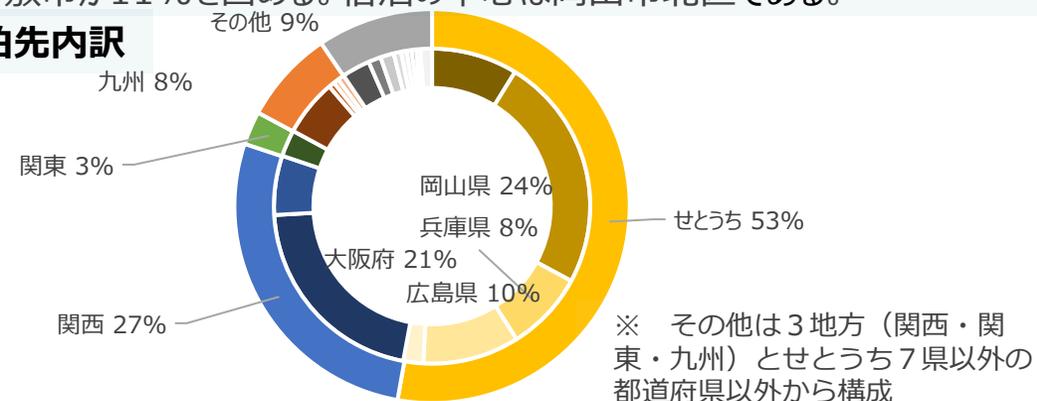
↳ 10,339人

直行便がある国

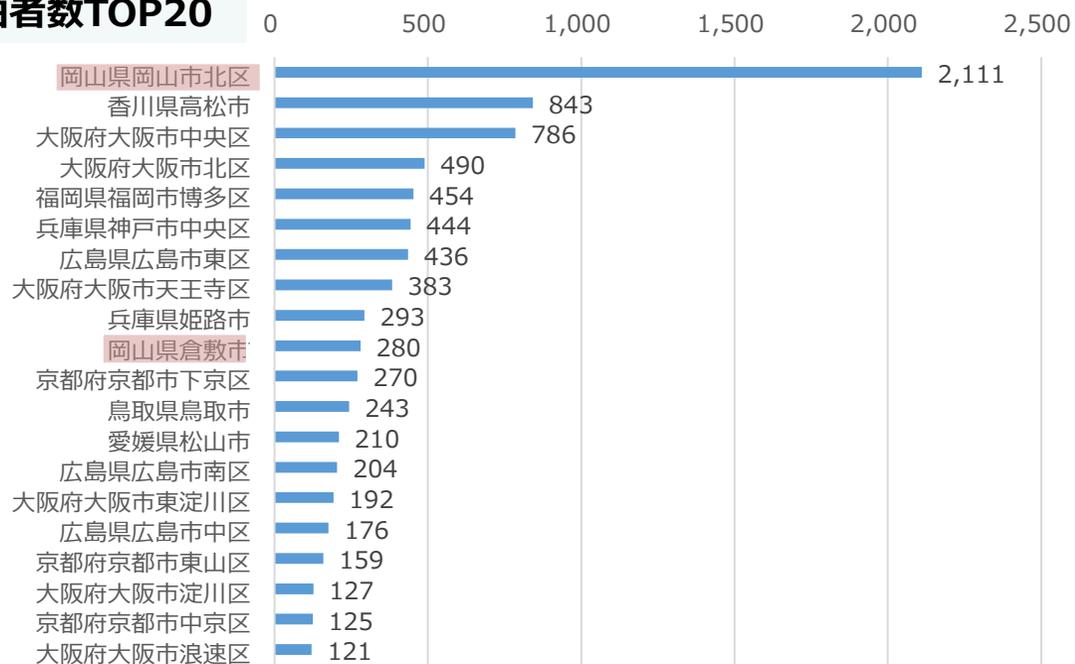
↳ 韓国・中国・台湾・香港



エリア内宿泊先内訳

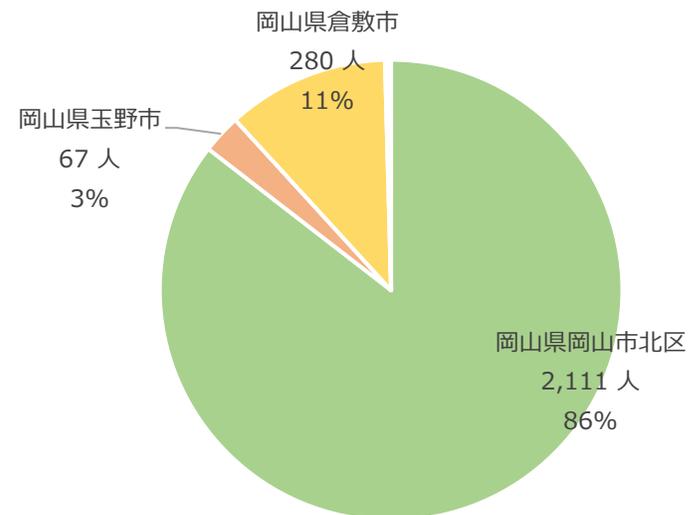


総宿泊者数TOP20



※ 拡大係数による計算で、神戸市中央区宿泊者数は高くなっている可能性がある。

岡山県宿泊者内訳



※ 拡大推計による数値のため誤差を一定程度含む

2.3 広島空港利用者の宿泊エリア

» 広島空港利用者の内、広島県宿泊者数は全体の27%を占め、うち広島市東区が32%を占め、広島市全体で約85%を占める。

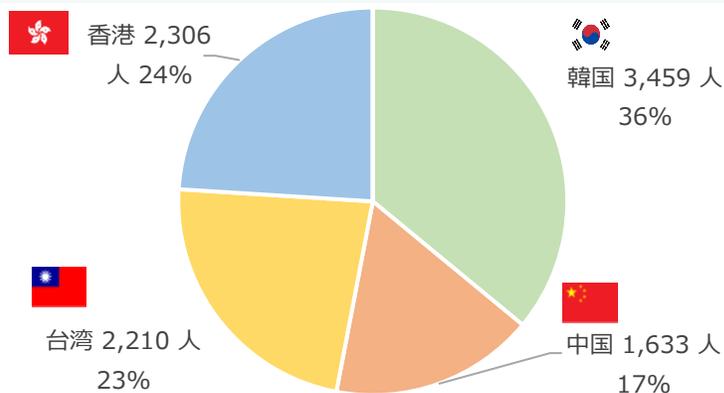
国籍別来訪者内訳

広島空港来訪者数（合計）

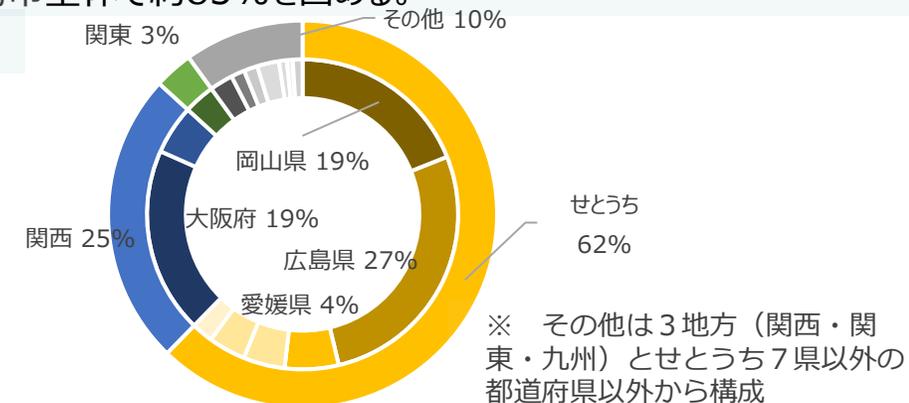
9,608人

直行便がある国

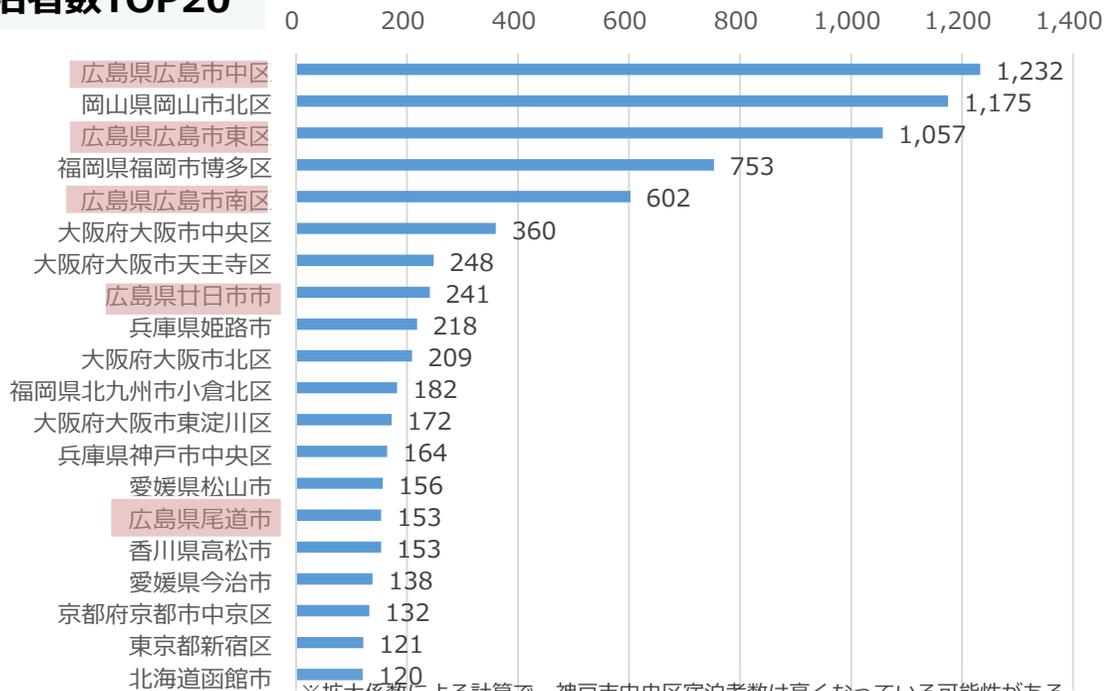
韓国・中国・台湾・香港・タイ・ベトナム



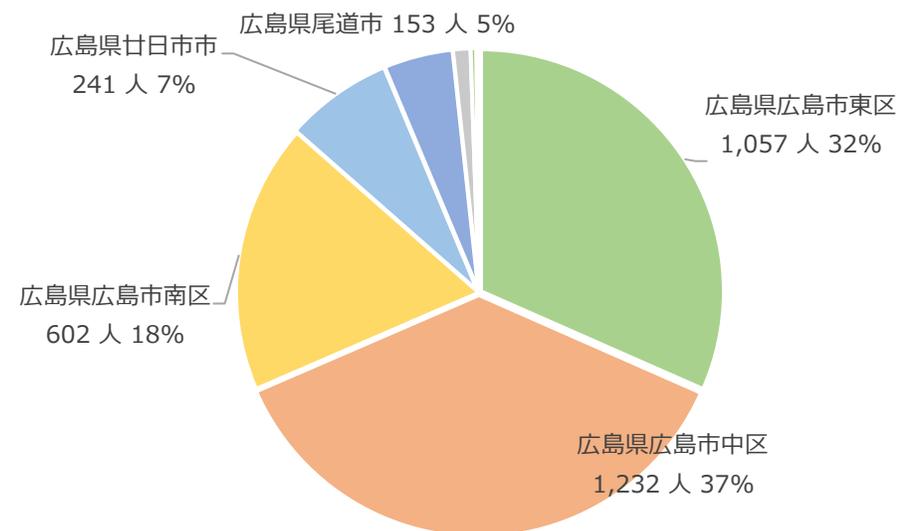
エリア内宿泊先内訳



総宿泊者数TOP20



広島県宿泊者内訳



※拡大推計による数値のため誤差を一定程度含む

2.4 高松空港利用者の宿泊エリア

» 高松空港利用者の内、香川県宿泊者数は全体の57%を占め、うち高松市が全体の90%を占める。宿泊の中心は高松市である。

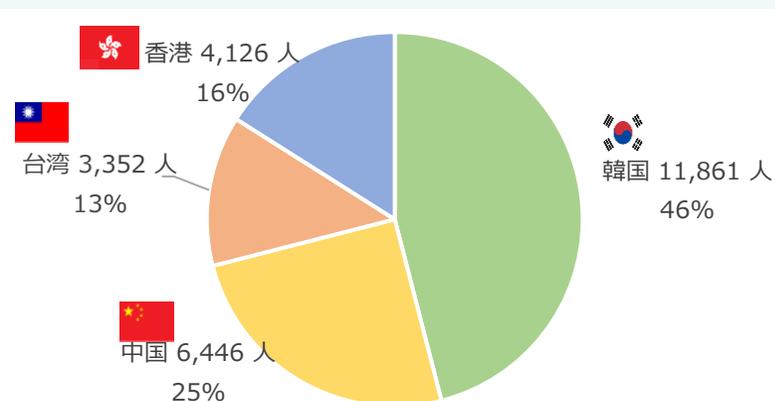
国籍別来訪者数内訳

高松空港来訪者数（合計）

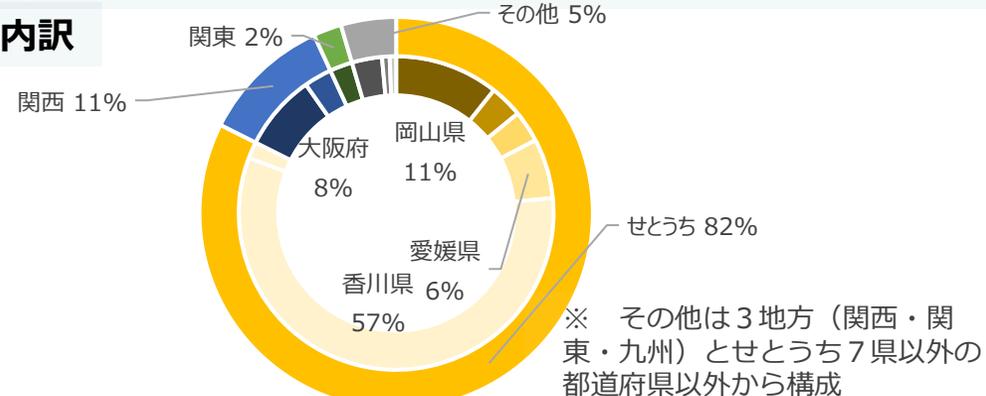
↳ 25,785人

直行便がある国

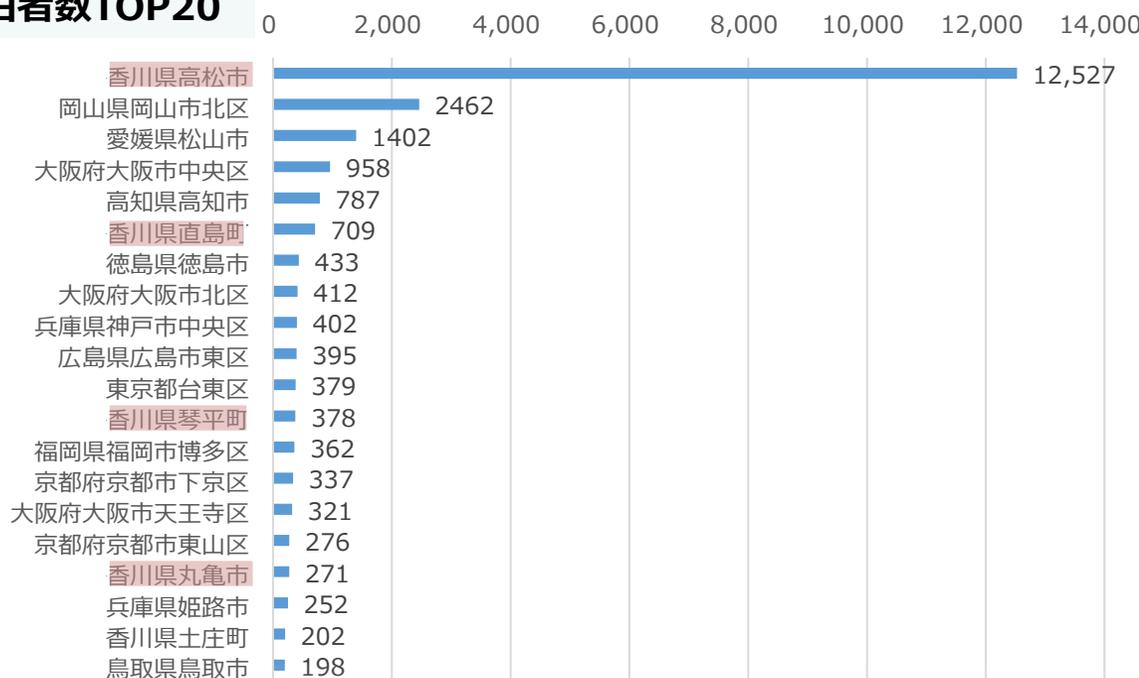
↳ 韓国・中国・台湾・香港



エリア内宿泊先内訳

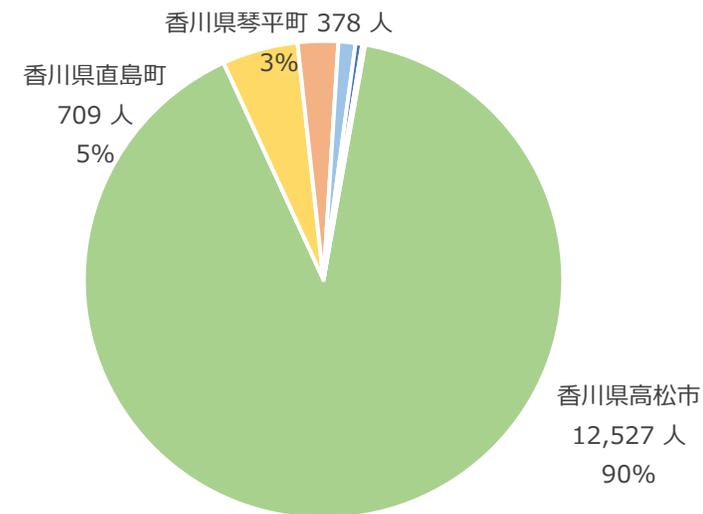


総宿泊者数TOP20



※拡大係数による計算で、高松市宿泊者数は高くなっている可能性がある。

香川県宿泊者内訳



※拡大推計による数値のため誤差を一定程度含む

2.5 松山空港利用者の宿泊エリア

» 松山空港利用者の内、愛媛県宿泊者数は全体の44%を占め、うち松山市が92%を占める。宿泊の中心は松山市である。

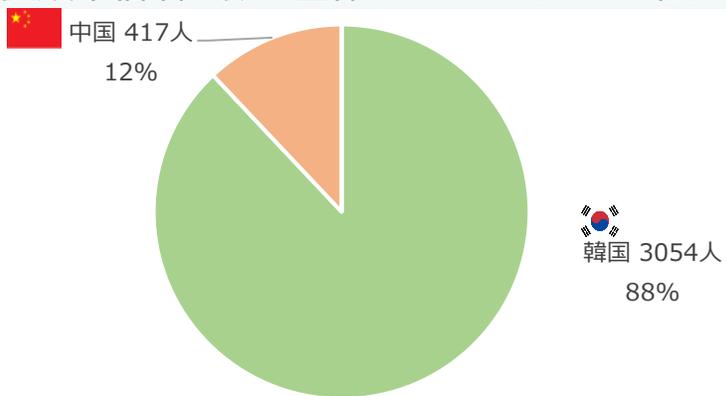
国籍別来訪者数内訳

松山空港来訪者数（合計）

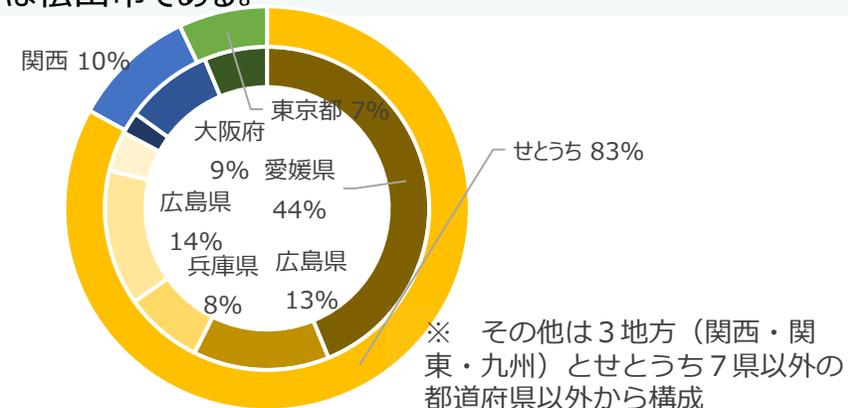
↳ 3,471人

直行便がある国

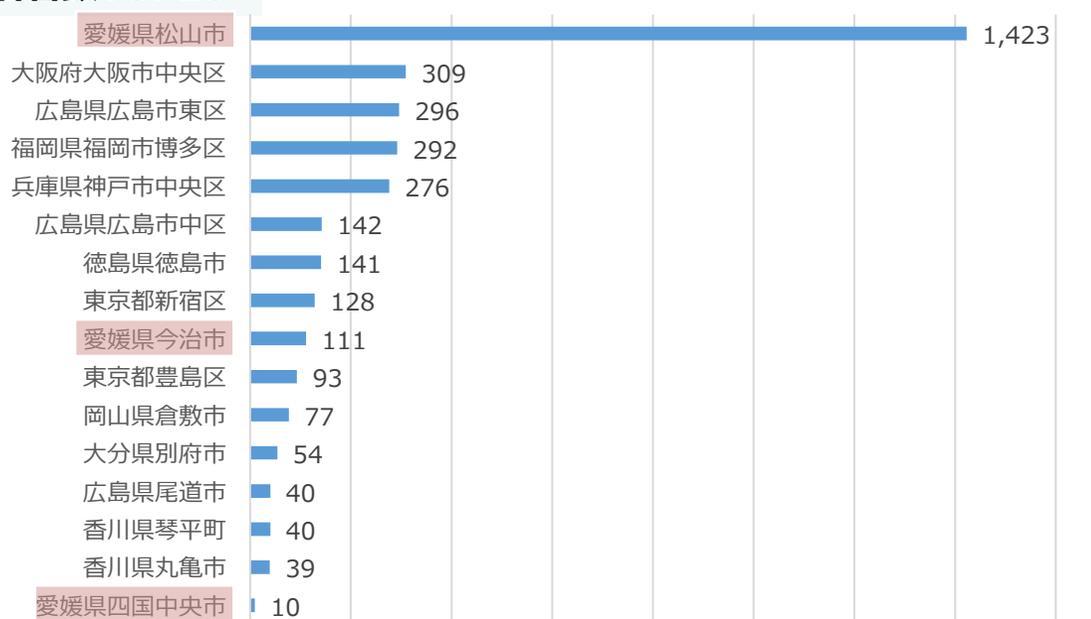
↳ 韓国・中国・台湾



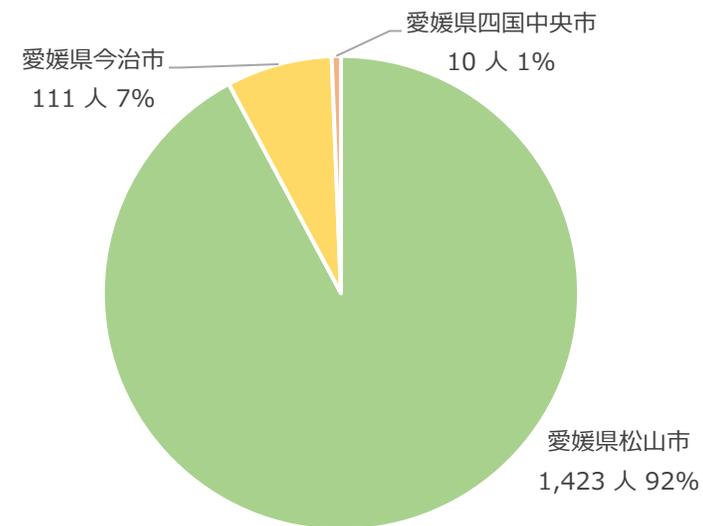
エリア内宿泊先内訳



総宿泊者数TOP20



愛媛県県内宿泊者内訳



※拡大係数による計算で、松山市宿泊者数は高くなっている可能性がある。

※拡大推計による数値のため誤差を一定程度含む

3. 高単価宿泊エリア 動態調査

分析条件

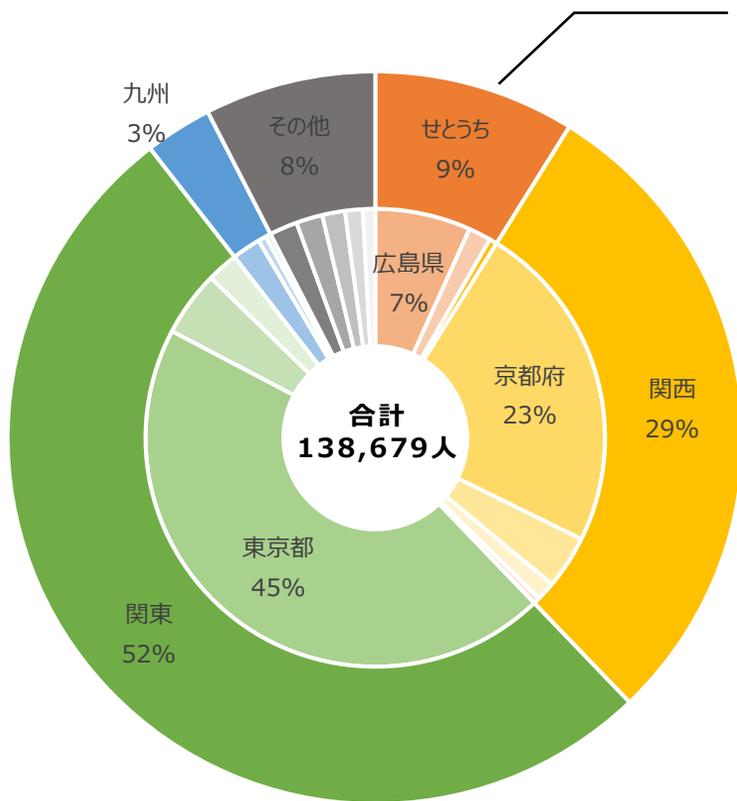
人流分析の調査設計、推計条件は以下の通り。

分析期間	2025年1月1日～2025年6月30日																	
分析対象	高付加価値インバウンドとして、せとうちDMOがターゲットとしている「欧米豪」に絞った分析を行う。高単価の宿が集まるエリアからの動態を確認することで、高付加価値旅行者と推定するインバウンドのせとうちエリアへの動態を分析する。																	
分析条件および定義	<ul style="list-style-type: none"> 滞在時間が0分以上の訪問者数を推計 対象エリアへの訪問者は宿泊者のみをカウントする 対象エリアへの訪問者が前後に周遊したエリアは、宿泊地のみを集計対象とする（23:00-翌3:00の時間帯に最後に滞在した地点を「宿泊」としてカウントする） 国籍毎の訪問者数が100名に満たない場合、当該国籍の訪問者数が安定して検出できない傾向にある。 																	
データソース	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社データワイズ社が提供するAreaMarketerインバウンド版※データを利用 ※ナビタイムジャパンが提供するアプリ「Japan Travel byNAVITIME」で取得したインバウンドGPSデータ 																	
分析対象	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="624 921 963 978">エリア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="624 992 963 1021">※データ抽出：2025年12月</td> </tr> <tr> <td data-bbox="624 1035 963 1071">ハイクラス宿集積エリア</td> </tr> <tr> <td data-bbox="624 1078 963 1113">・大阪市 北区</td> </tr> <tr> <td data-bbox="624 1120 963 1156">・京都市 東山区</td> </tr> <tr> <td data-bbox="624 1163 963 1199">・福岡市 博多区</td> </tr> <tr> <td data-bbox="624 1206 963 1242">参考</td> </tr> <tr> <td data-bbox="624 1249 963 1285">・京都市 下京区（JR京都駅）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="624 1292 963 1328">・大阪市 淀川区（JR新大阪駅）</td> </tr> </tbody> </table>	エリア	※データ抽出：2025年12月	ハイクラス宿集積エリア	・大阪市 北区	・京都市 東山区	・福岡市 博多区	参考	・京都市 下京区（JR京都駅）	・大阪市 淀川区（JR新大阪駅）	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1312 921 1974 978">国籍</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1312 999 1974 1042">高付加価値旅行者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1312 1049 1974 1085">・米国</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1312 1092 1974 1128">・豪州</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1312 1135 1974 1170">・ドイツ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1312 1178 1974 1213">・フランス</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1312 1220 1974 1256">・英国</td> </tr> </tbody> </table>	国籍	高付加価値旅行者	・米国	・豪州	・ドイツ	・フランス	・英国
エリア																		
※データ抽出：2025年12月																		
ハイクラス宿集積エリア																		
・大阪市 北区																		
・京都市 東山区																		
・福岡市 博多区																		
参考																		
・京都市 下京区（JR京都駅）																		
・大阪市 淀川区（JR新大阪駅）																		
国籍																		
高付加価値旅行者																		
・米国																		
・豪州																		
・ドイツ																		
・フランス																		
・英国																		

大阪府大阪市北区からの前後動態①

- » 関西・関東圏への周遊が多い一方で、一定数は宿泊先としてせとうちにも訪れている。（訪問率9%）
- » せとうち7県では広島県への宿泊が最多で、兵庫、岡山県と続く。山口、徳島、香川、愛媛県は母数が少なくデータではインバウンドの訪問は確認はできなかった。

前後に訪れた都道府県（宿泊地のみ）



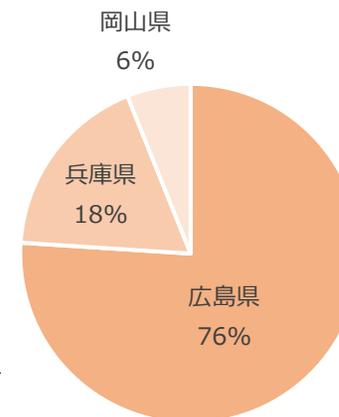
POINT 1

せとうち7県
訪問率 **9%**

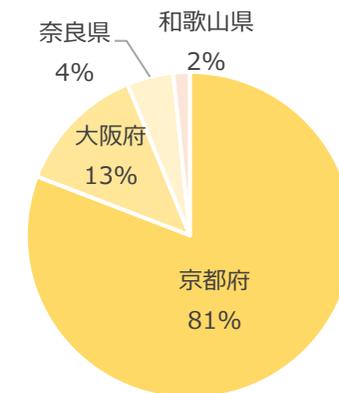
POINT 2

せとうち中では
広島が約7割を占める
次いで兵庫、岡山と続く

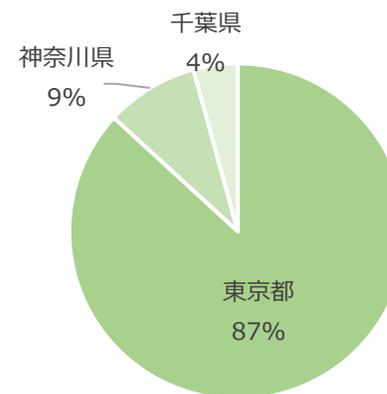
せとうちエリア



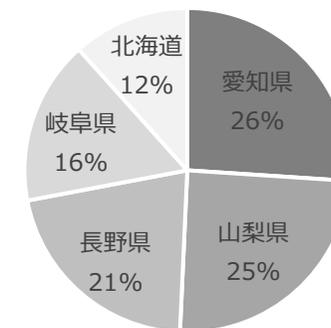
関西エリア



関東エリア



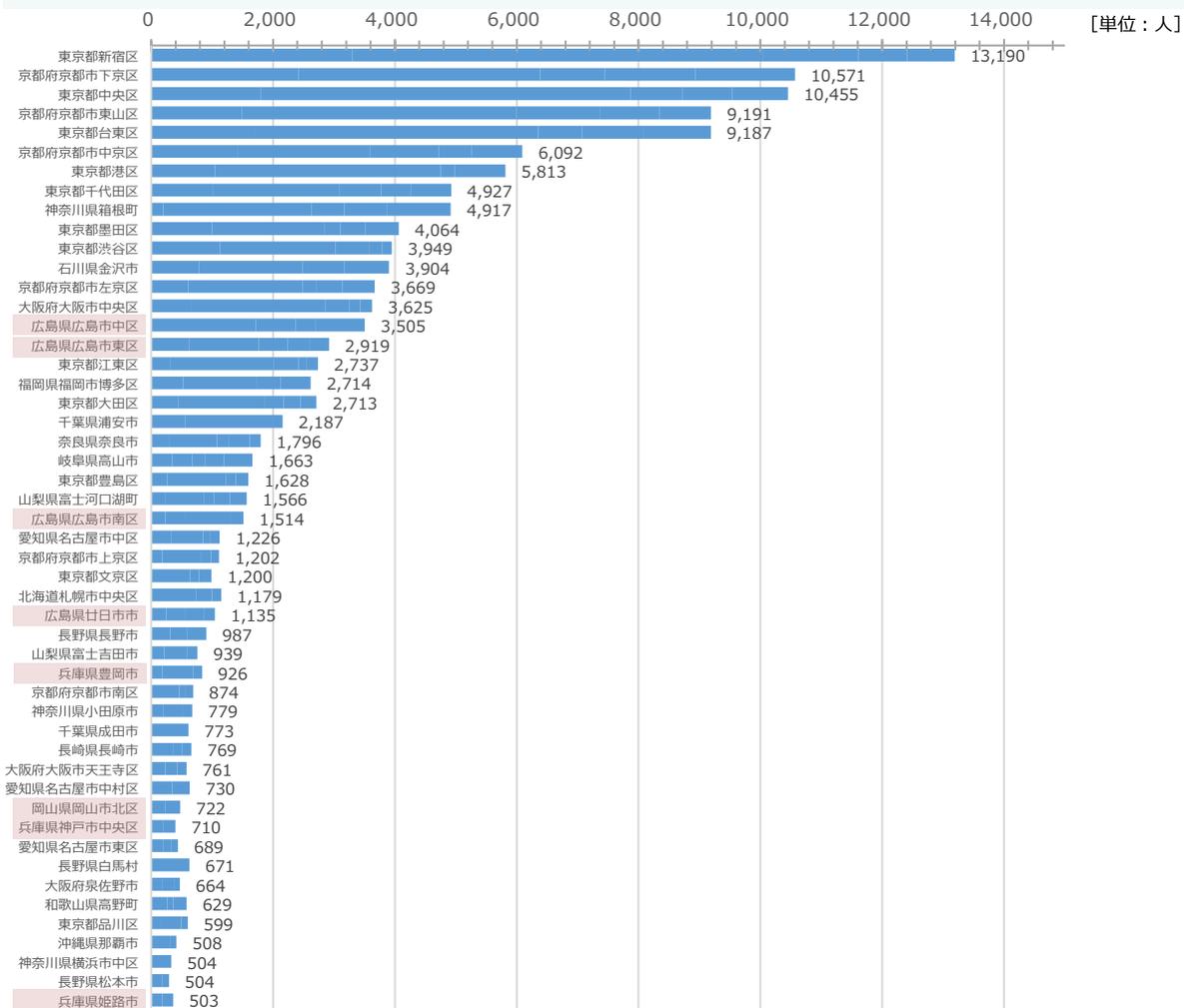
その他



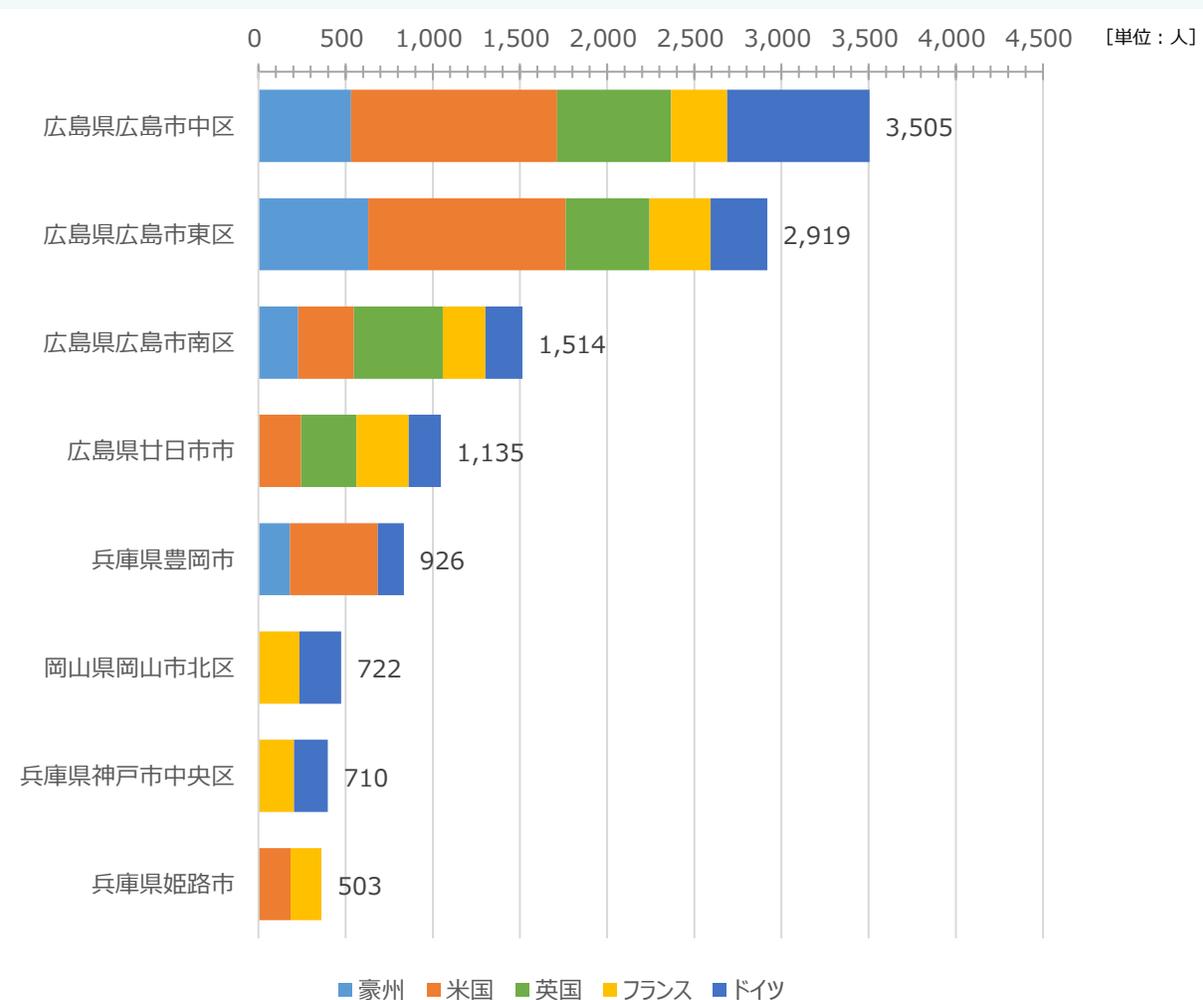
大阪府大阪市北区からの前後動態②

» せとうちエリアでは、広島市への周遊が最も多く、豊岡市や岡山市にも一定の宿泊が見られる。その中で、米国からの訪問者が全体をけん引している。

全国__前後に訪れた市区町村（宿泊地のみ）TOP50



せとうち7県__前後に訪れた市区町村（宿泊地のみ）

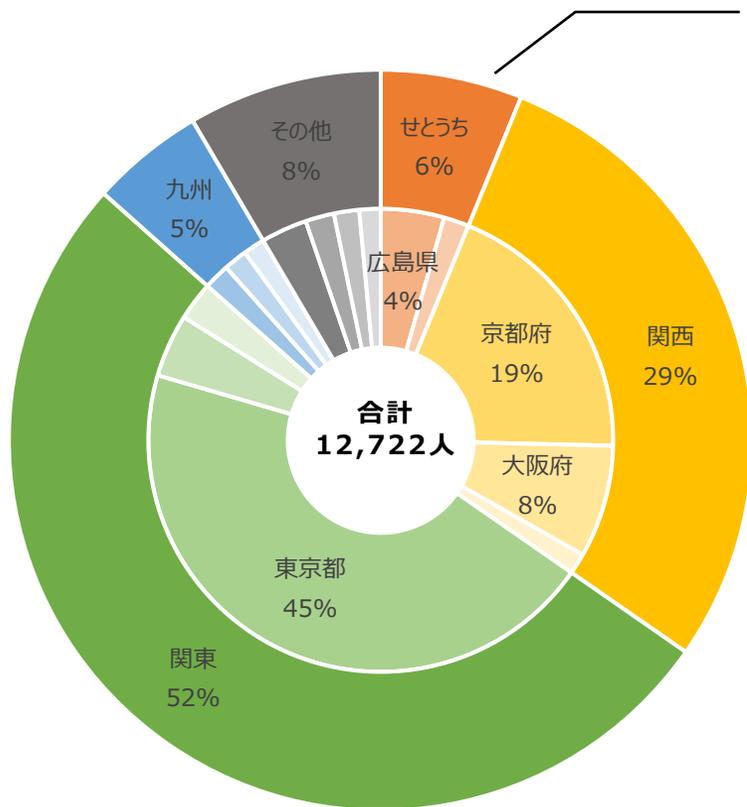


■ 豪州 ■ 米国 ■ 英国 ■ フランス ■ ドイツ

大阪府大阪市淀川区からの前後動態①

- » 関西・関東圏への周遊が中心であるものの、せとうちにも一定の宿泊が見られ、ゲートウェイとして機能している。（訪問率6%）
- » せとうち7県では広島県への宿泊が最多で、兵庫県と続く。岡山、山口、徳島、香川、愛媛県は母数が少なくデータではインバウンドの訪問は確認はできなかった。

前後に訪れた都道府県（宿泊地のみ）



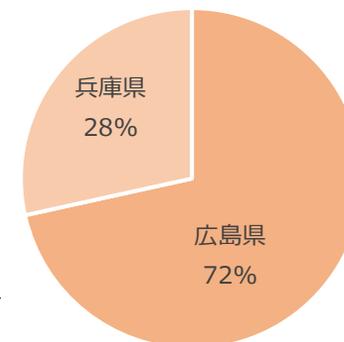
POINT 1

せとうち7県
訪問率 **6%**

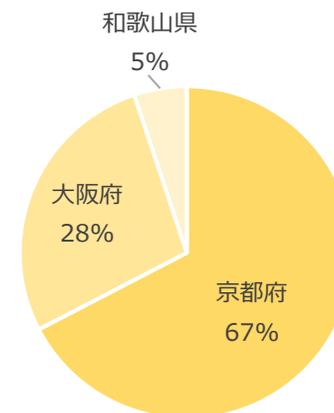
POINT 2

せとうち中では
広島が約7割を占める
次いで兵庫と続く

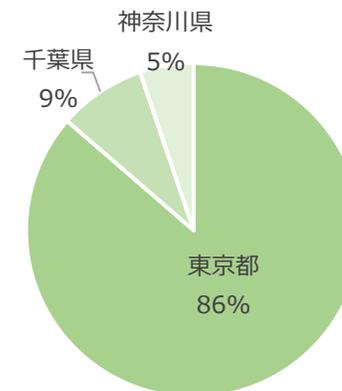
せとうちエリア



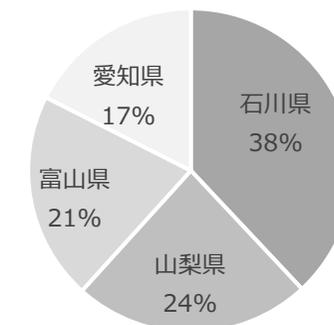
関西エリア



関東エリア



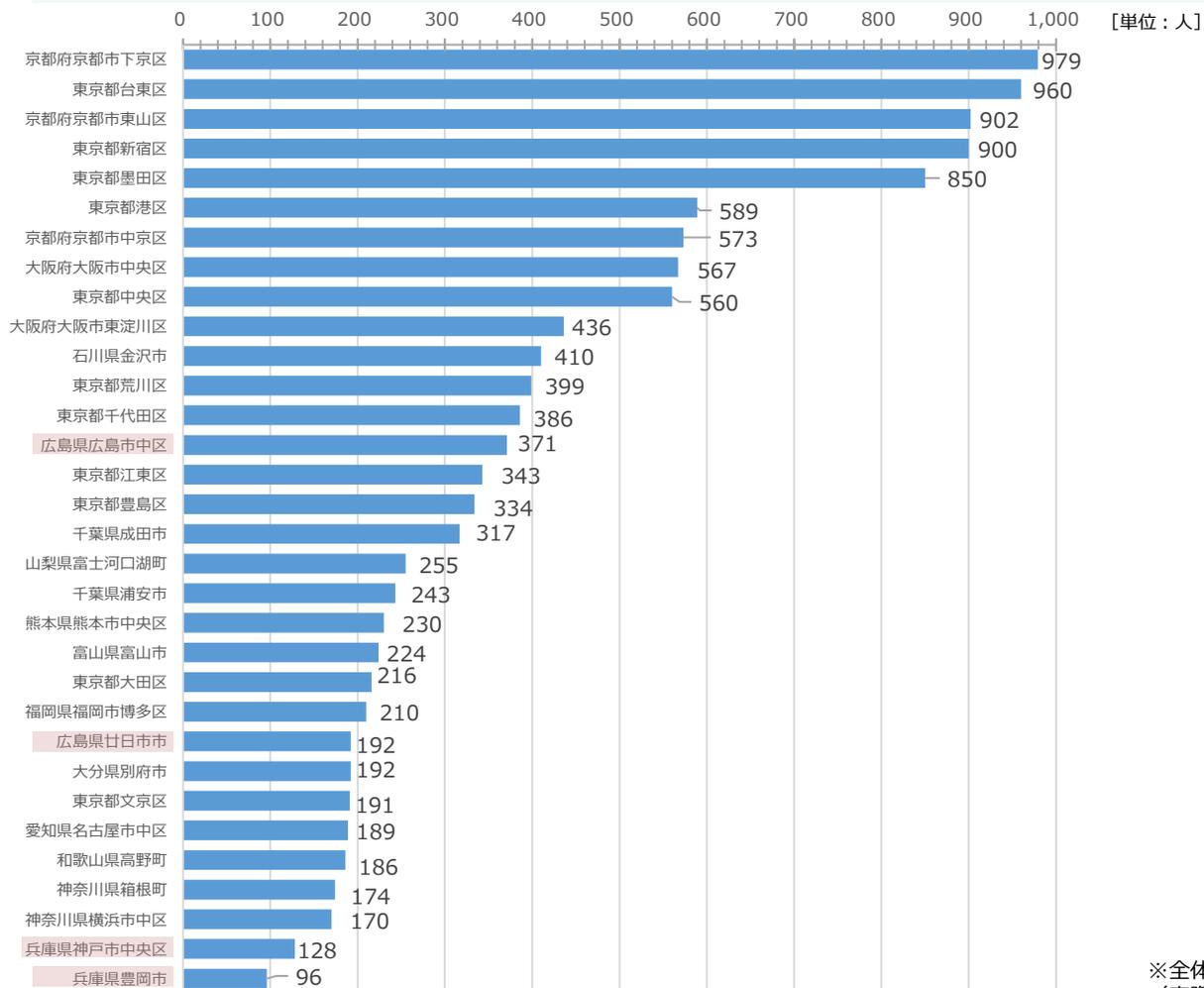
その他



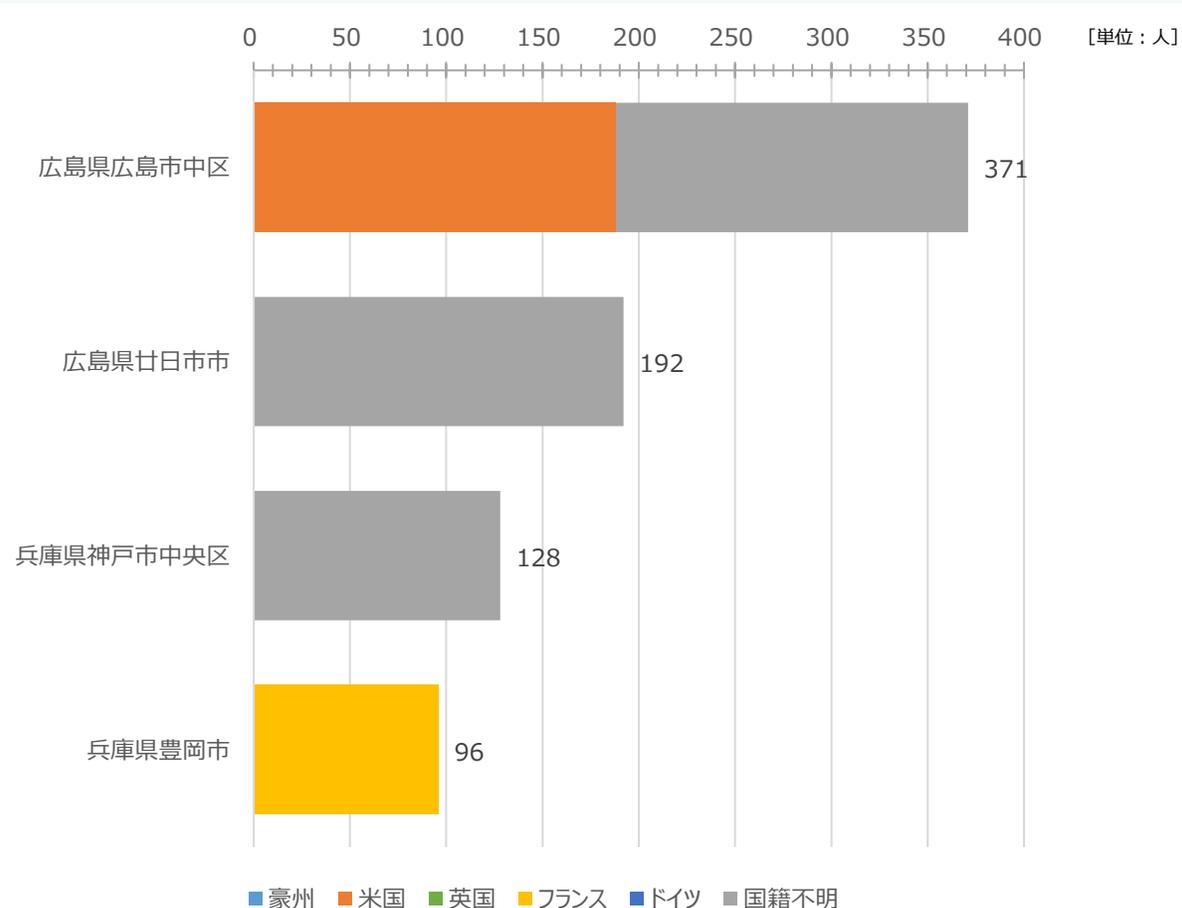
大阪府大阪市淀川区からの前後動態②

» せとうちエリアでは、広島市への周遊が最も多く、神戸市や廿日市市にも一定の宿泊が見られる。その中で、米国からの訪問者が全体をけん引している。

全国_前後に訪れた市区町村（宿泊地のみ）TOP50



せとうち7県_前後に訪れた市区町村（宿泊地のみ）

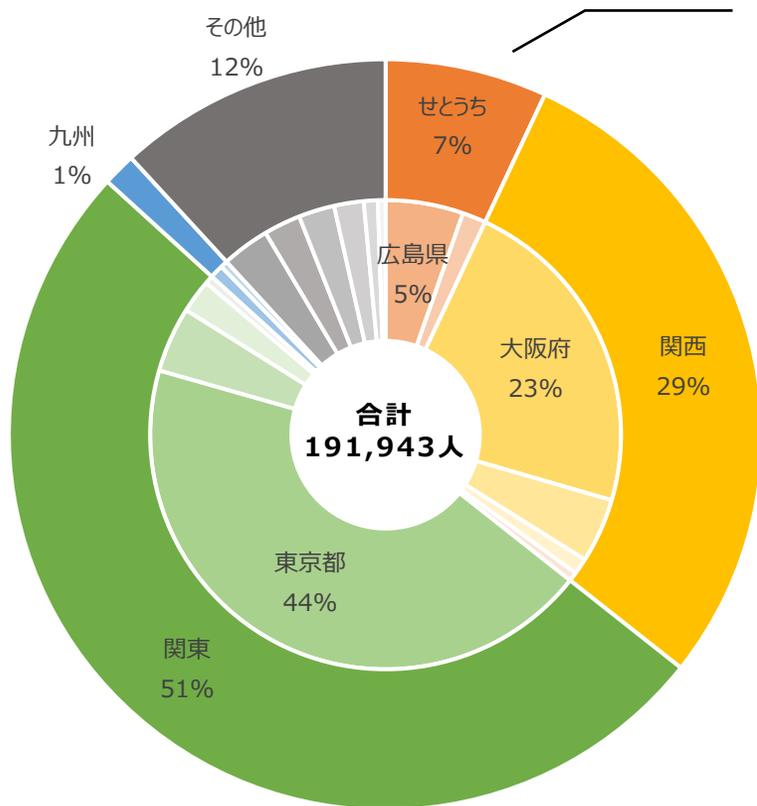


※全体人数としては補足できているものの、国籍ごとの数値が少数で個人の国籍が特定できてしまう場合は、国籍データが取得できない為、国籍不明と表示（実際は欧米豪のいずれか）

京都府京都市東山区からの前後動態①

- » 関西・関東圏への周遊が多い一方で、一定数は宿泊先としてせとうちにも訪れている。（訪問率7%）
- » せとうち7県では広島県への宿泊が最多で、兵庫県と続く。岡山、山口、徳島、香川、愛媛県は母数が少なくデータではインバウンドの訪問は確認はできなかった。

前後に訪れた都道府県（宿泊地のみ）



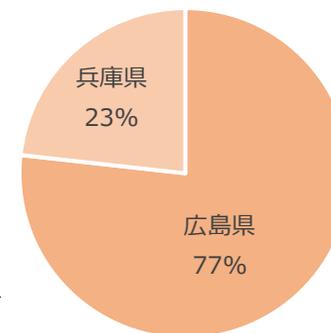
POINT 1

せとうち7県
訪問率 **7%**

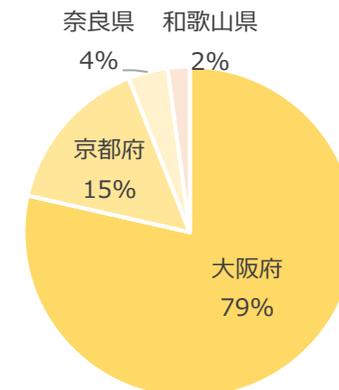
POINT 2

せとうち中では
広島が約8割を占める
次いで、兵庫と続く

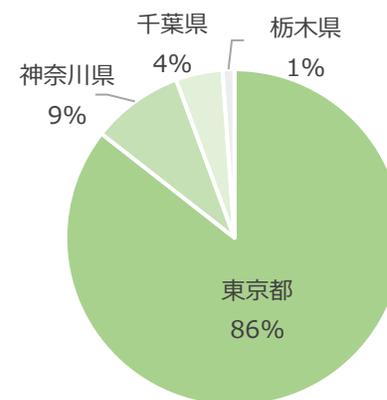
せとうちエリア



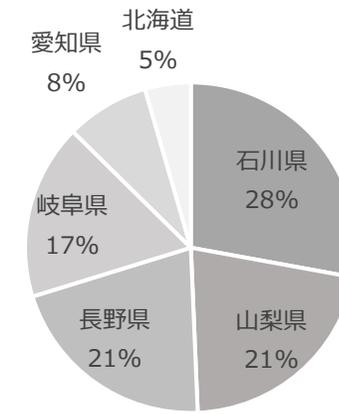
関西エリア



関東エリア



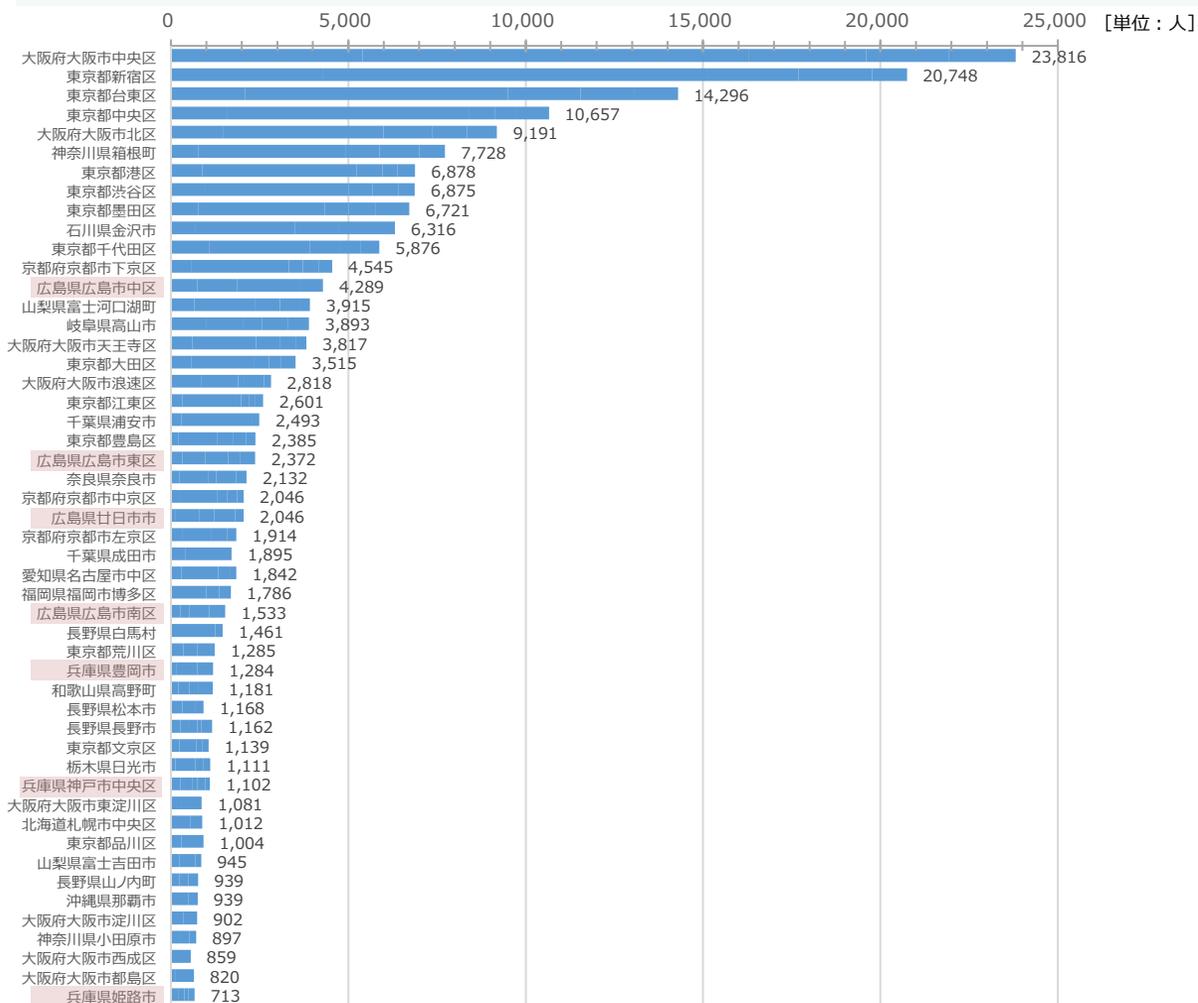
その他



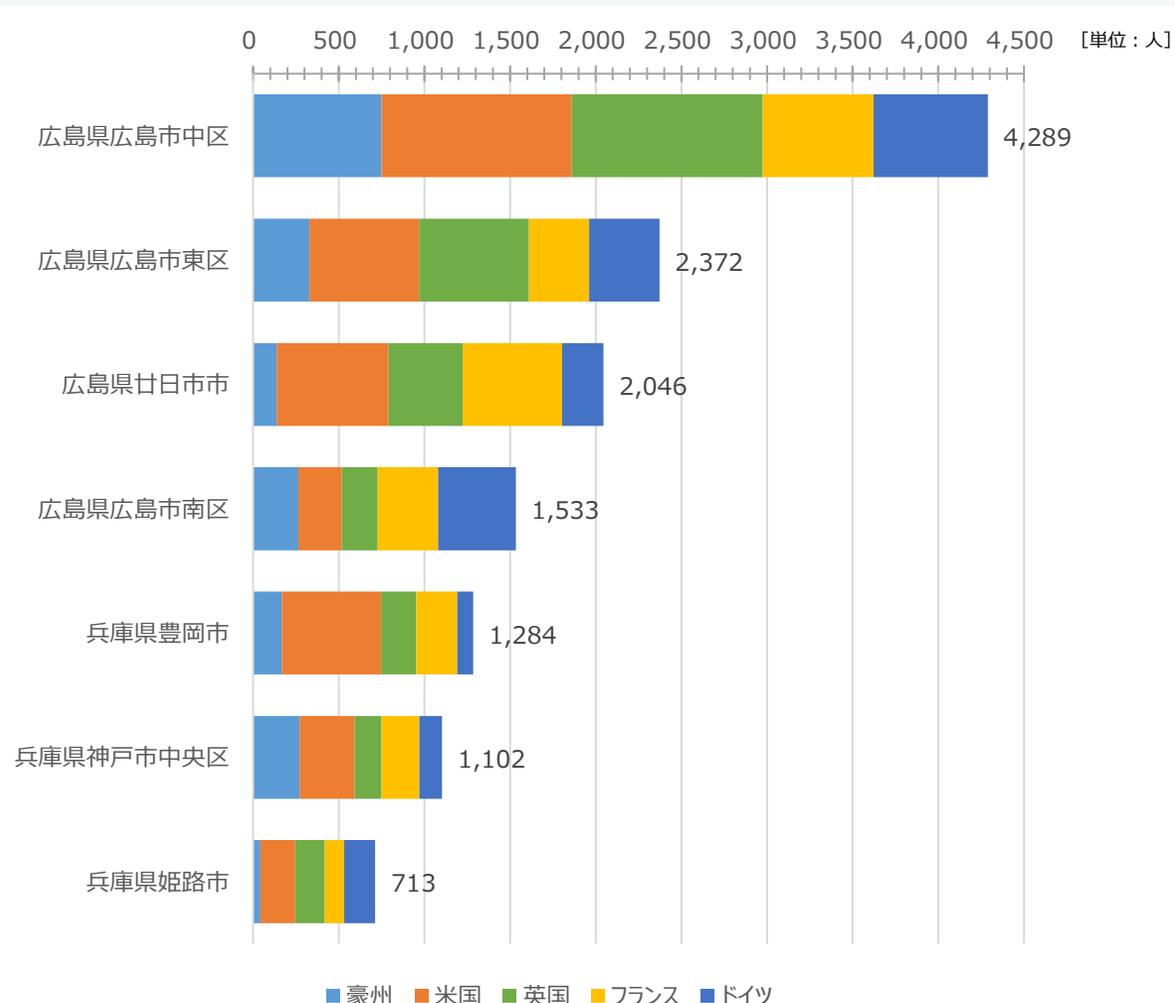
京都府京都市東山区からの前後動態②

» せとうちエリアでは、広島市への周遊が最も多く、豊岡市や廿日市市にも一定の宿泊が見られる。その中で、米国からの訪問者が全体をけん引している。

全国_前後に訪れた市区町村（宿泊地のみ）TOP50



せとうち7県_前後に訪れた市区町村（宿泊地のみ）

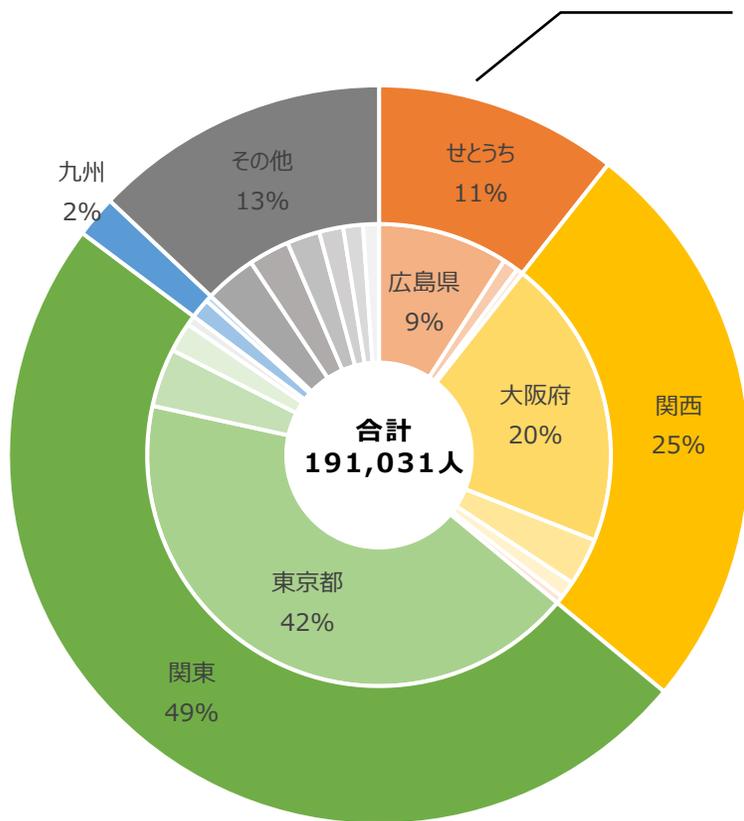


■ 豪州 ■ 米国 ■ 英国 ■ フランス ■ ドイツ

京都府京都市下京区からの前後動態①

- » 関東・関西圏への周遊が大半を占めているが、せとうちへも一定数宿泊先として訪れている。
- » せとうち7県では広島県への宿泊が最多で、兵庫、岡山県と続く。山口、徳島、香川、愛媛県は母数が少なくデータではインバウンドの訪問は確認はできなかった。

前後に訪れた都道府県（宿泊地のみ）



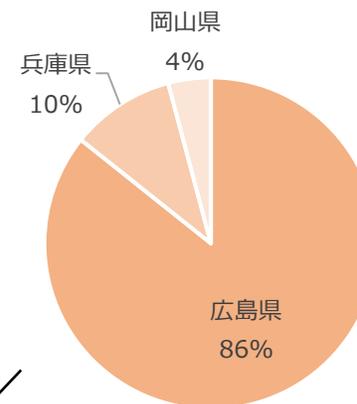
POINT 1

せとうち7県
訪問率 **11%**

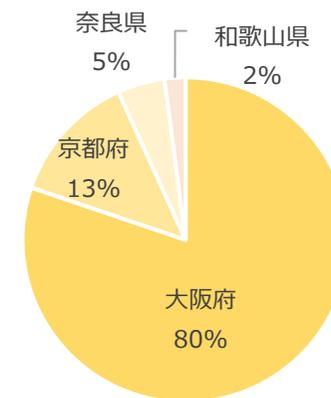
POINT 2

せとうち中では
広島が約8割を占める
次いで兵庫と続く

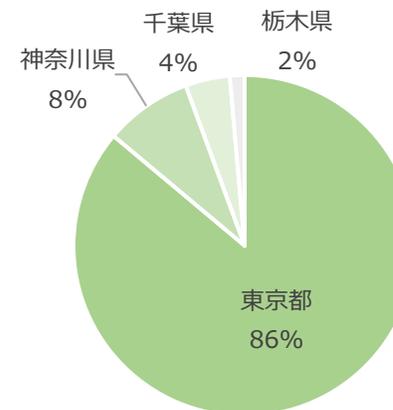
せとうちエリア



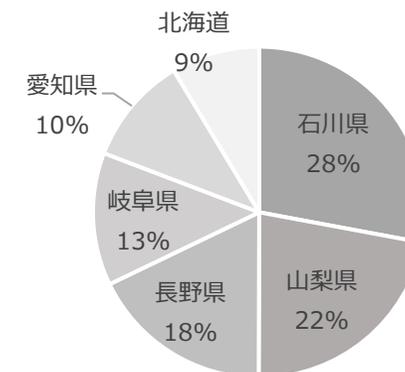
関西エリア



関東エリア



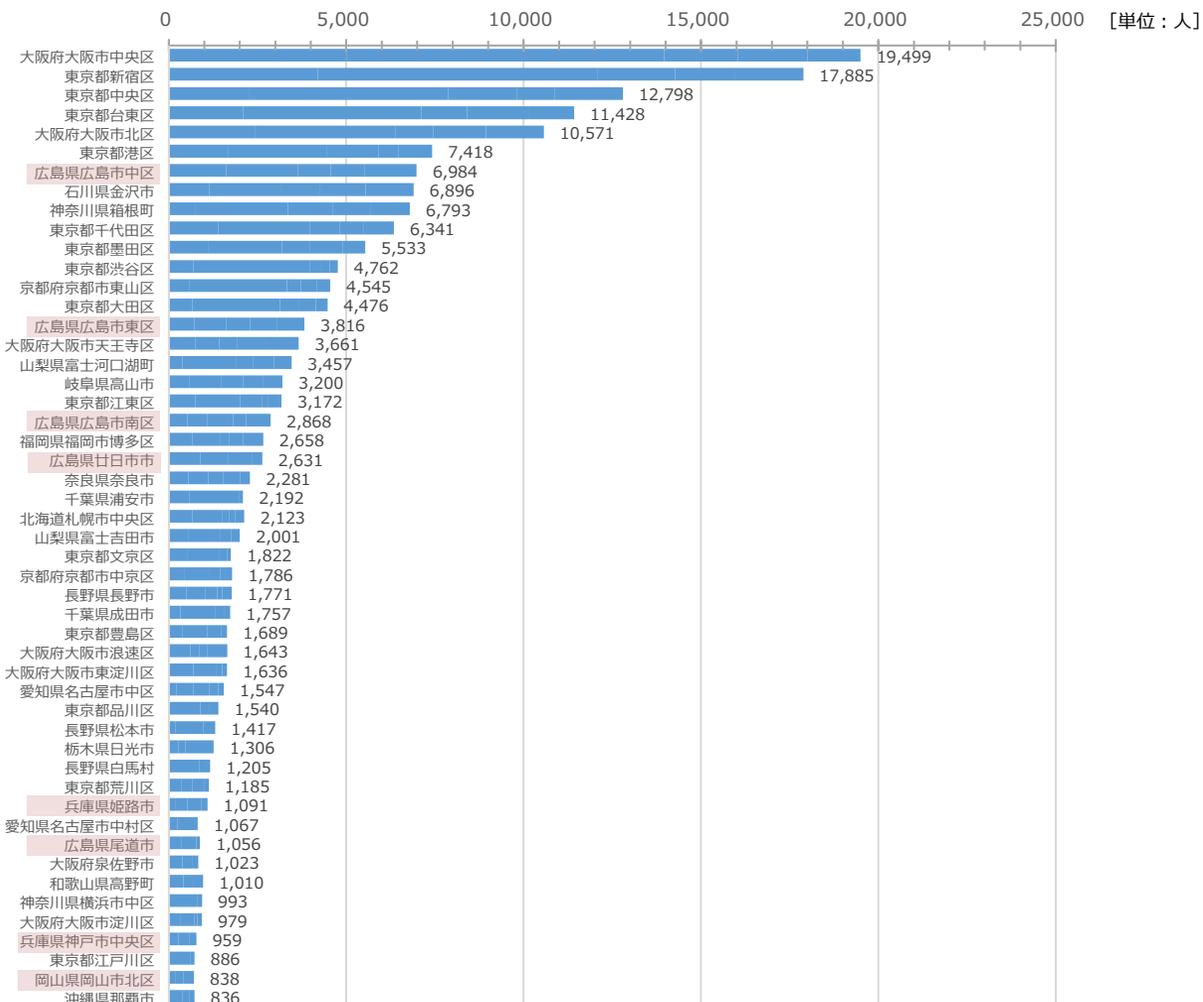
その他



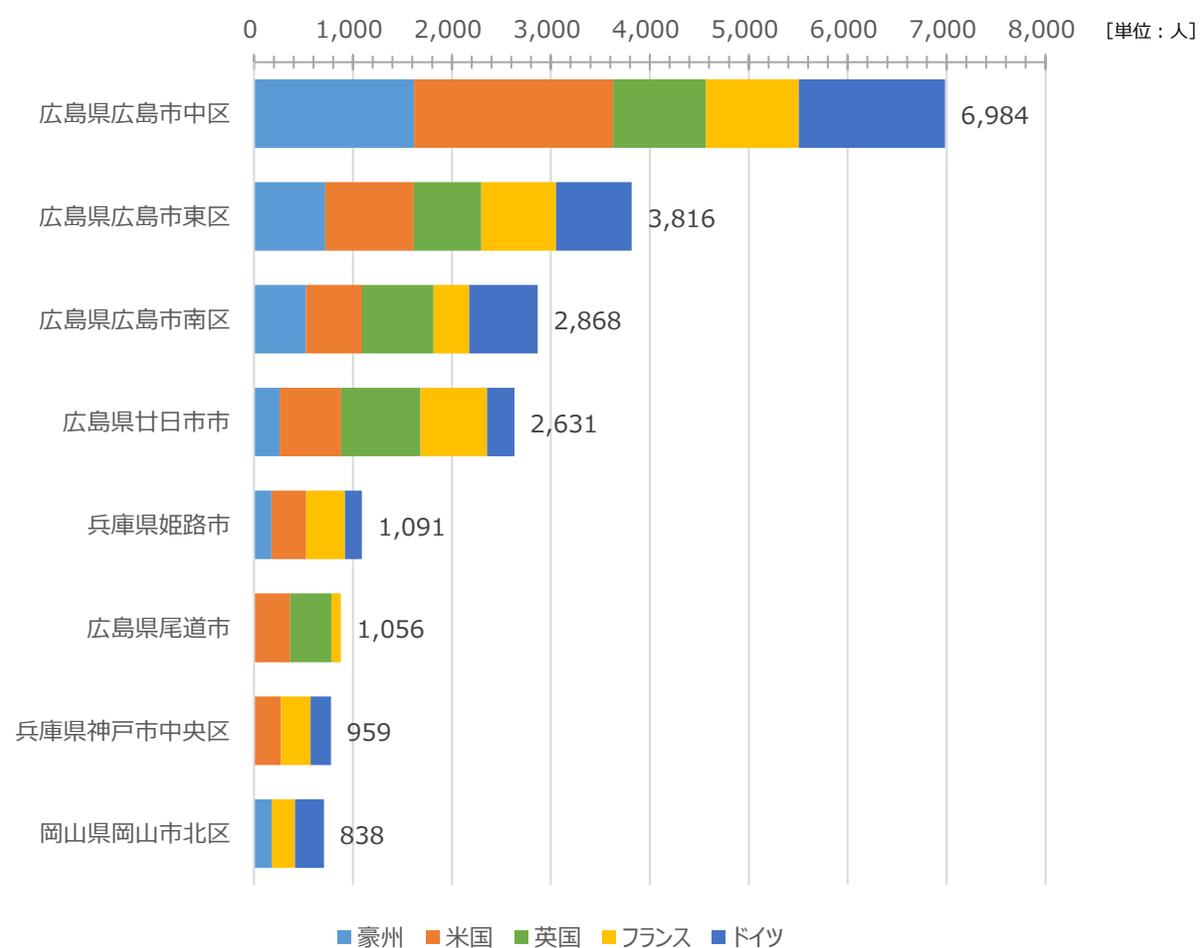
京都府京都市下京区からの前後動態②

» せとうちエリアでは、広島市への周遊が最も多く、姫路市や神戸市にも一定の宿泊が見られる。その中で、米国からの訪問者が全体をけん引している。

全国_前後に訪れた市区町村（宿泊地のみ）TOP50



せとうち7県_前後に訪れた市区町村（宿泊地のみ）

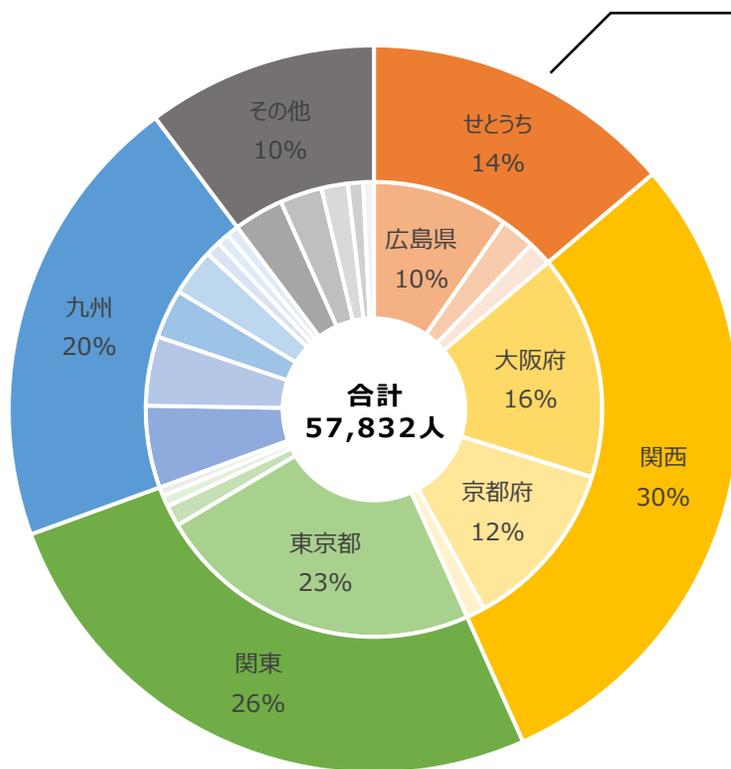


■ 豪州 ■ 米国 ■ 英国 ■ フランス ■ ドイツ

福岡県福岡市博多区からの前後動態①

- » 関西圏への周遊が最も多いが、関東・九州圏も同程度の訪問が見られる。また、宿泊先としてせとうちへのゲートウェイとしても機能している。（訪問率14%）
- » せとうち7県では広島県への宿泊が最多で、兵庫、岡山県と続く。山口、徳島、香川、愛媛県は母数が少なくデータではインバウンドの訪問は確認はできなかった。

前後に訪れた都道府県（宿泊地のみ）



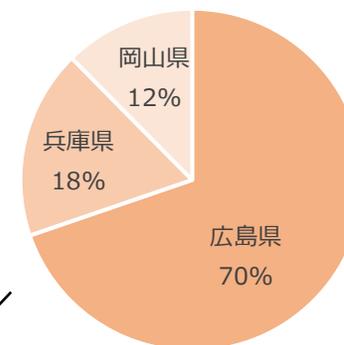
POINT 1

せとうち7県
訪問率 **14%**

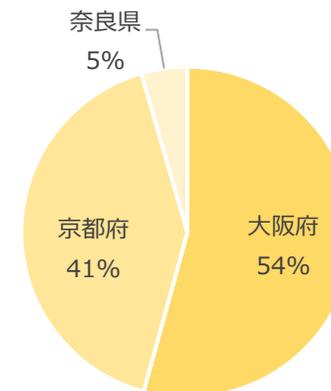
POINT 2

せとうち中では
**広島が約7割を占める
次いで、兵庫、岡山と
続く**

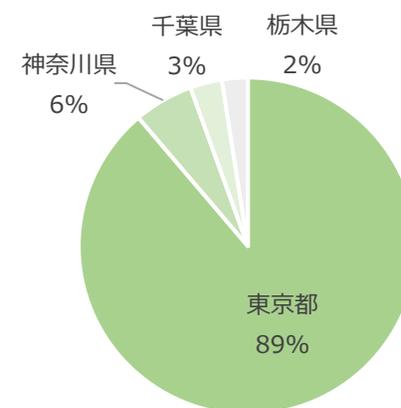
せとうちエリア



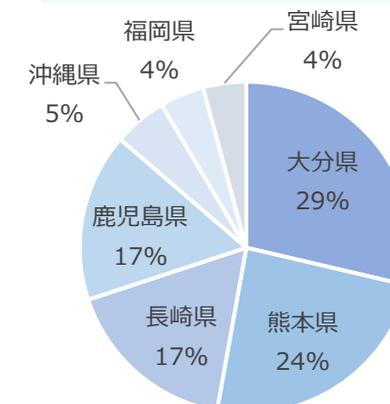
関西エリア



関東エリア



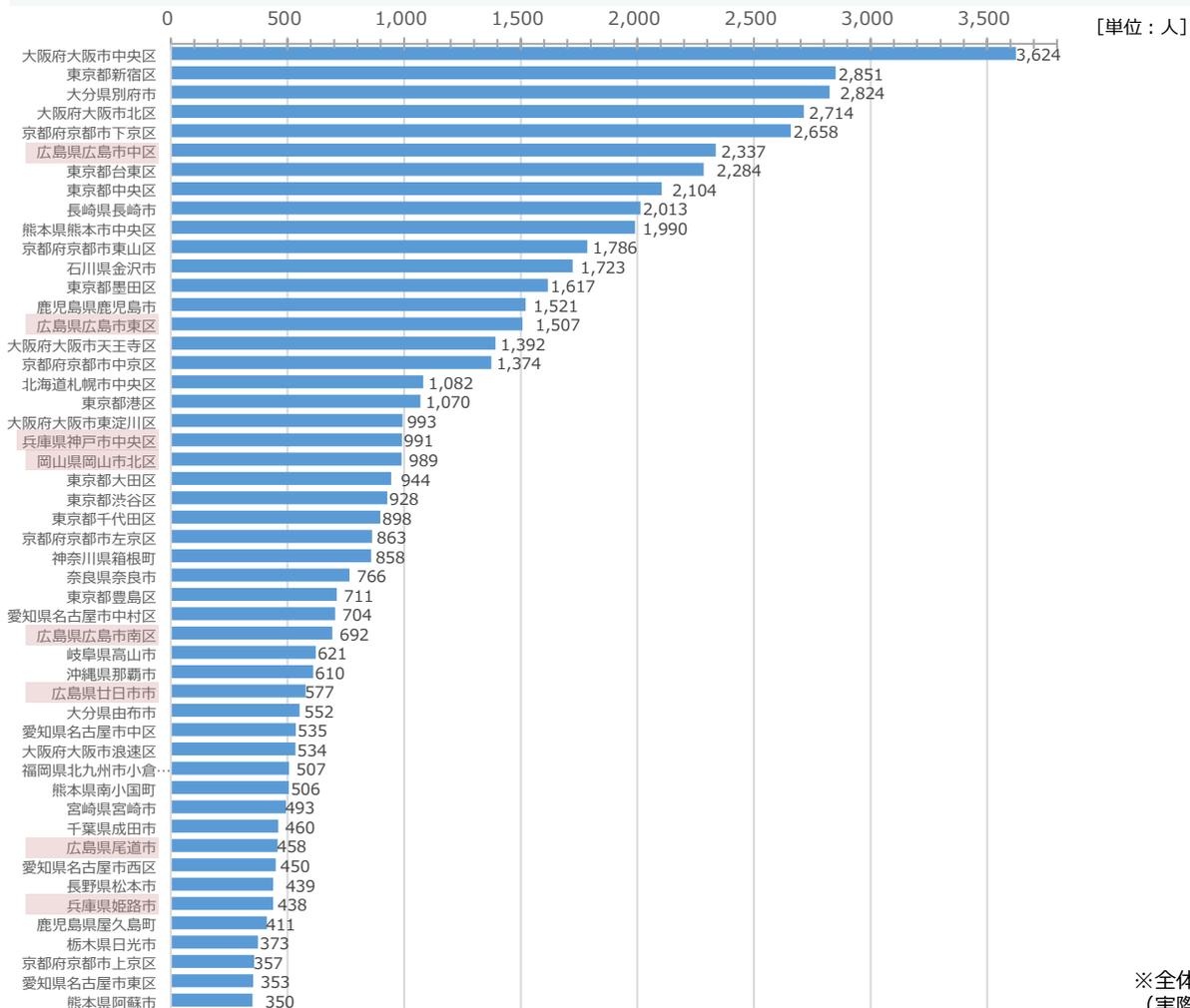
九州エリア



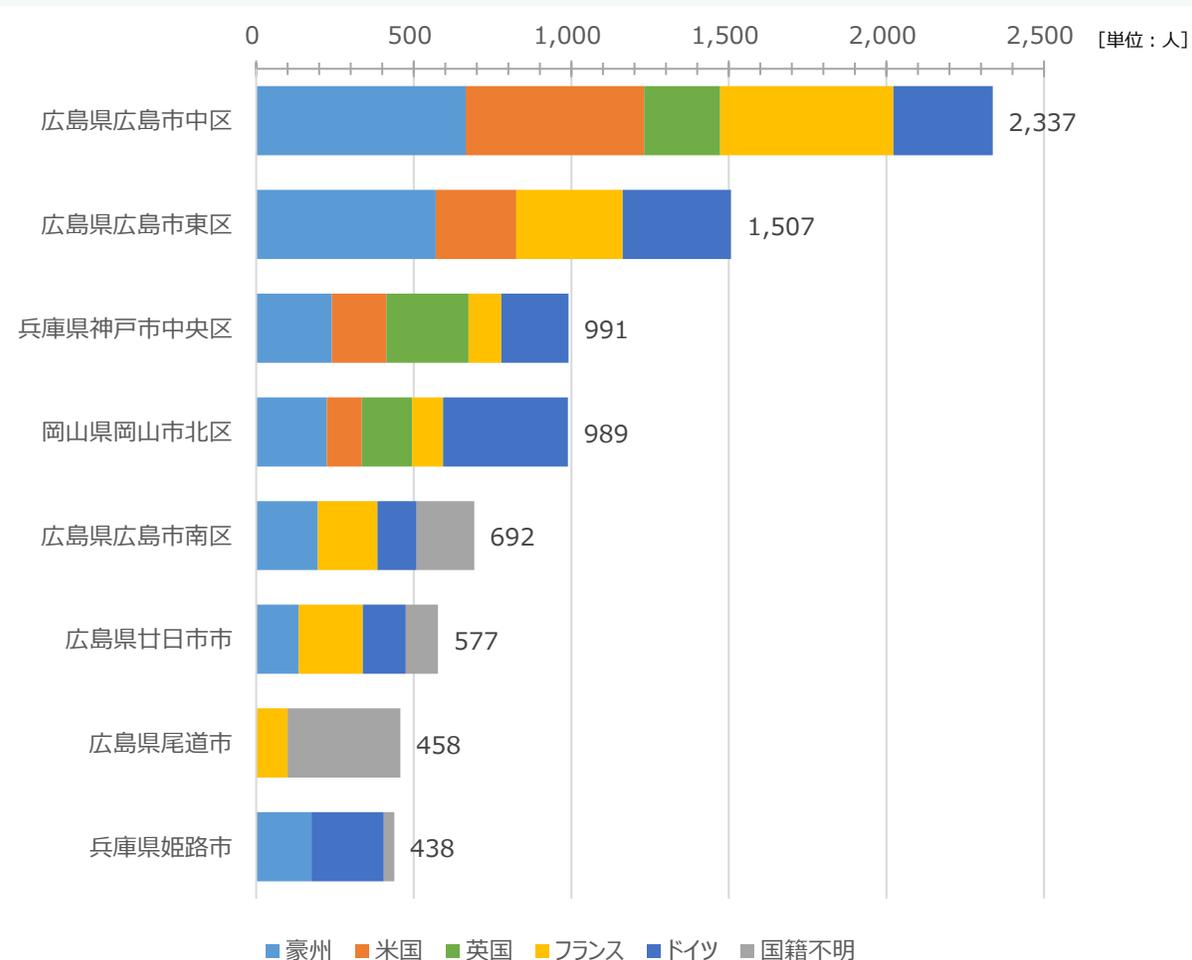
福岡県福岡市博多区からの前後動態②

» せとうちエリアでは、広島市への周遊が最も多く、神戸市や岡山市にも一定の訪問が見られる。その中で、豪州からの訪問者が全体をけん引している。

全国_前後に訪れた市区町村（宿泊地のみ）TOP50



せとうち7県_前後に訪れた市区町村（宿泊地のみ）



※全体人数としては補足できているものの、国籍ごとの数値が少数で個人の国籍が特定できてしまう場合は、国籍データが取得できない為、国籍不明と表示（実際は欧米豪のいずれか）

4. 大規模イベントによる動態変化分析

分析条件

人流分析の調査設計、推計条件は以下の通り。

分析期間	2024年4月1日～2025年10月31日 , 2025年4月1日～2025年10月31日					
分析対象	大阪・関西万博に訪問し、その前後にせとうち7県に訪問したインバウンドを分析し、大規模イベントにおけるせとうちへの周遊効果があったのかを調査する。					
分析条件 および定義	<ul style="list-style-type: none"> • 国籍毎の訪問者数が100名に満たない場合、当該国籍の訪問者数が安定して検出できない傾向にある • 使用しているデータは宿泊データのみ • 指定したエリアに、23:00-翌3:00の時間帯に最後に滞在した地点を「宿泊」と定義 					
データソース	<ul style="list-style-type: none"> • 株式会社データワイズ社が提供するAreaMarketerインバウンド版※データを利用 • ※ナビタイムジャパンが提供するアプリ「Japan Travel byNAVITIME」で取得したインバウンドGPSデータ 					
分析対象	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="621 905 963 968">エリア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="621 975 963 1362"> <small>※データ抽出：2025年12月</small> 大阪府大阪市此花区 </td> </tr> </tbody> </table>	エリア	<small>※データ抽出：2025年12月</small> 大阪府大阪市此花区	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1253 905 1584 968">国籍</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1253 975 1584 1362"> 全国籍 韓国,中国,台湾,香港,タイ,シンガポール,マレーシア,インドネシア,フィリピン,ベトナム,インド 豪州,米国,カナダ,英国,フランス,ドイツ イタリア,スペイン,ロシア,その他 </td> </tr> </tbody> </table>	国籍	全国籍 韓国,中国,台湾,香港,タイ,シンガポール,マレーシア,インドネシア,フィリピン,ベトナム,インド 豪州,米国,カナダ,英国,フランス,ドイツ イタリア,スペイン,ロシア,その他
エリア						
<small>※データ抽出：2025年12月</small> 大阪府大阪市此花区						
国籍						
全国籍 韓国,中国,台湾,香港,タイ,シンガポール,マレーシア,インドネシア,フィリピン,ベトナム,インド 豪州,米国,カナダ,英国,フランス,ドイツ イタリア,スペイン,ロシア,その他						

- 万博来訪者のせとうちエリアへの周遊者数は2024年比で大幅に増加している。一方で47都道府県全体で見た際の誘客比率には大きな変化はなかった。
- 前年比増加率を見ると大阪府・東京都・京都府がTop3を占め、次いで兵庫県と続く。広島県は5位、岡山県も12位と一定数、万博からの周遊が確認された。

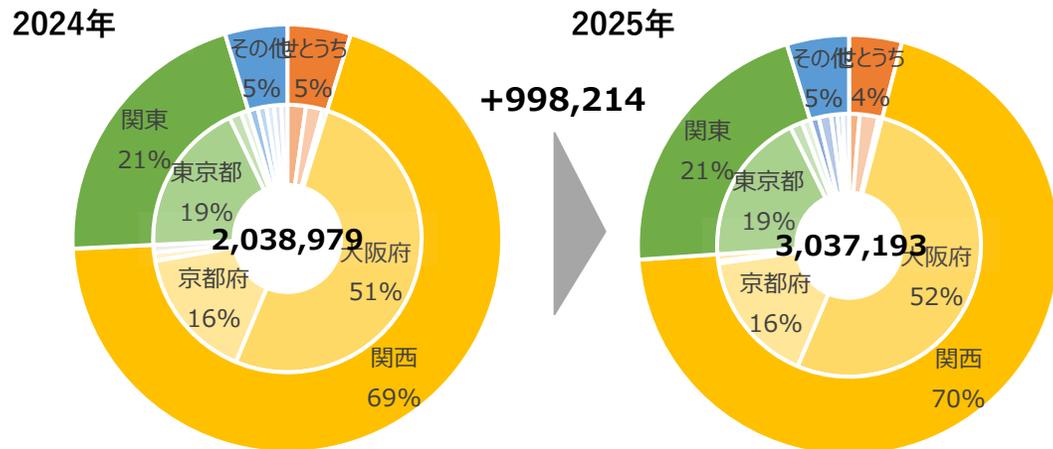
せとうちエリア内訳

エリア	2025年	2024年	前年差	増加率
兵庫県	67,446	26,433	+41,013	155.16%
広島県	61,212	46,789	+14,423	30.83%
岡山県	16,559	9,220	+7,339	79.60%

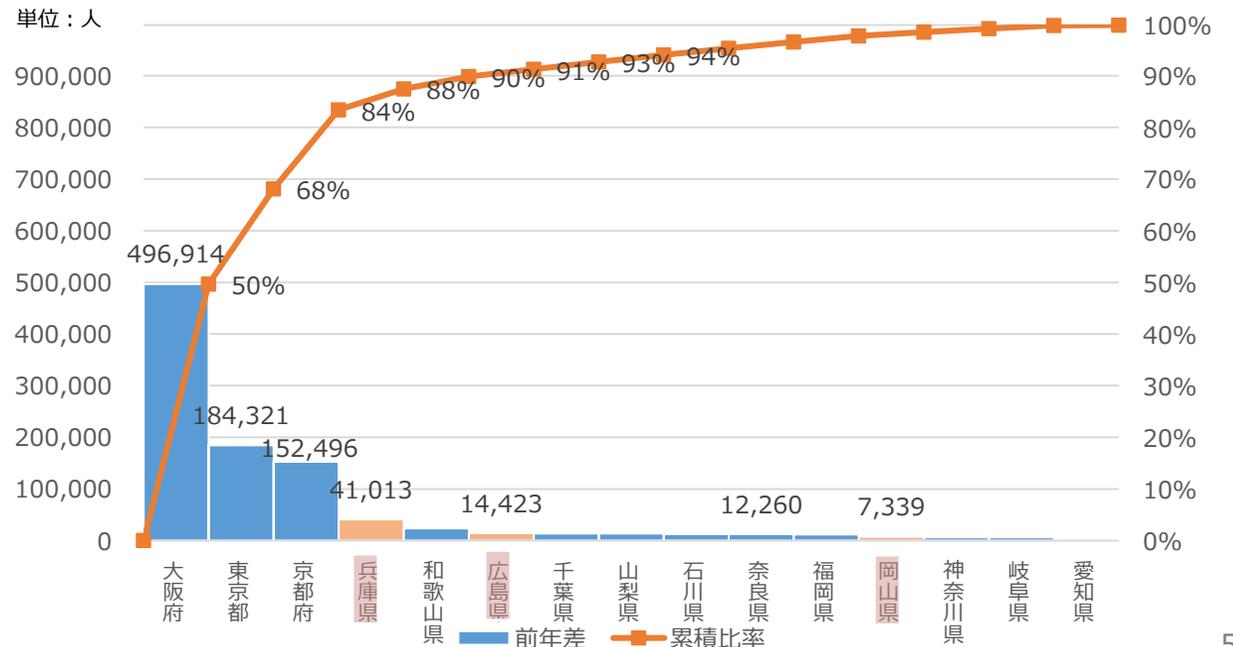
※山口、徳島、香川、愛媛については母数が少なく、データを補足できなかった。

2024年・2025年前後動態内訳

せとうちエリアへの誘客比率は大きな変化なし



前年比の増加率の大きい都道府県



分析条件

人流分析の調査設計、推計条件は以下の通り。

分析期間	2024年4月1日～2024年11月30日 、 2025年4月1日～2025年11月30日					
分析対象	瀬戸内国際芸術祭に訪問し、その前後にせとうち7県に訪問したインバウンドを分析し、大規模イベントにおけるせとうちへの周遊効果があったのかを調査する。					
分析条件 および定義	<ul style="list-style-type: none"> • 国籍毎の訪問者数が100名に満たない場合、当該国籍の訪問者数が安定して検出できない傾向にある • 使用しているデータは宿泊データのみ • 指定したエリアに、23:00-翌3:00の時間帯に最後に滞在した地点を「宿泊」と定義 					
データソース	<ul style="list-style-type: none"> • 株式会社データワイズ社が提供するAreaMarketerインバウンド版※データを利用 ※ナビタイムジャパンが提供するアプリ「Japan Travel byNAVITIME」で取得したインバウンドGPSデータ 					
分析対象	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="621 905 1243 958">エリア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="621 958 1243 1368"> <small>※データ抽出：2025年12月</small> 香川県 直島、土庄町、小豆島町 岡山県 玉野市（宇野港） </td> </tr> </tbody> </table>	エリア	<small>※データ抽出：2025年12月</small> 香川県 直島、土庄町、小豆島町 岡山県 玉野市（宇野港）	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1253 905 2298 958">国籍</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1253 958 2298 1368"> 全国籍 韓国,中国,台湾,香港,タイ,シンガポール,マレーシア,インドネシア,フィリピン,ベトナム,インド 豪州,米国,カナダ,英国,フランス,ドイツ イタリア,スペイン,ロシア,その他 </td> </tr> </tbody> </table>	国籍	全国籍 韓国,中国,台湾,香港,タイ,シンガポール,マレーシア,インドネシア,フィリピン,ベトナム,インド 豪州,米国,カナダ,英国,フランス,ドイツ イタリア,スペイン,ロシア,その他
エリア						
<small>※データ抽出：2025年12月</small> 香川県 直島、土庄町、小豆島町 岡山県 玉野市（宇野港）						
国籍						
全国籍 韓国,中国,台湾,香港,タイ,シンガポール,マレーシア,インドネシア,フィリピン,ベトナム,インド 豪州,米国,カナダ,英国,フランス,ドイツ イタリア,スペイン,ロシア,その他						

瀬戸内国際芸術祭におけるインバウンド動態の変化

- » 瀬戸内国際芸術祭の開催地の来訪者数は前年比で増加しており、特に土庄町・小豆島町・玉野市では前年の2倍以上の伸びを示している。
- » 国籍別にみると、2025年はアジアからの訪問者が大幅に増加している一方、欧米豪からの訪問者は伸びが小さく、直島や香川県全体では昨年より減少している。

瀬戸芸開催地エリアの来訪者数と増加率

	2024年	2025年	24/25増加率
香川県	186,096人	250,300人	34.50%
直島	33,734人	56,898人	68.67%
土庄町（小豆島・豊島）	8,224人	34,987人	325.43%
小豆島町	6,749人	17,808人	163.86%
玉野市（宇野港）	12,302人	30,166人	145.21%

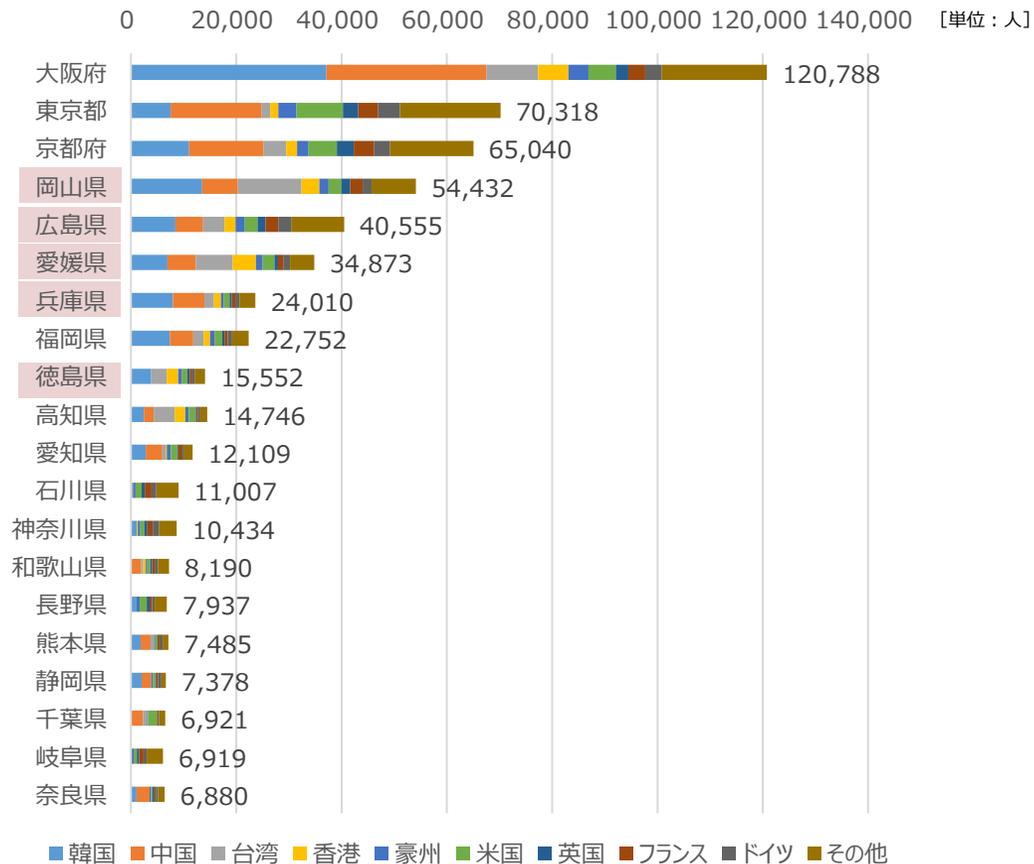
欧米豪・アジアごとの増加人数

	欧米豪 2024年→2025年	アジア 2024年→2025年	合計 2024年→2025年	全体に対する欧米豪構成比
香川県	-1,884人	+57,544人	+64,204人	11.46%
直島	-3,595人	+22,931人	+23,164人	19.07%
土庄町（小豆島・豊島）	+1,090人	+23,734人	+26,763人	6.43%
小豆島町	+562人	+9,719人	+11,059人	3.16%
玉野市（宇野港）	+424人	+14,783人	+17,864人	18.66%

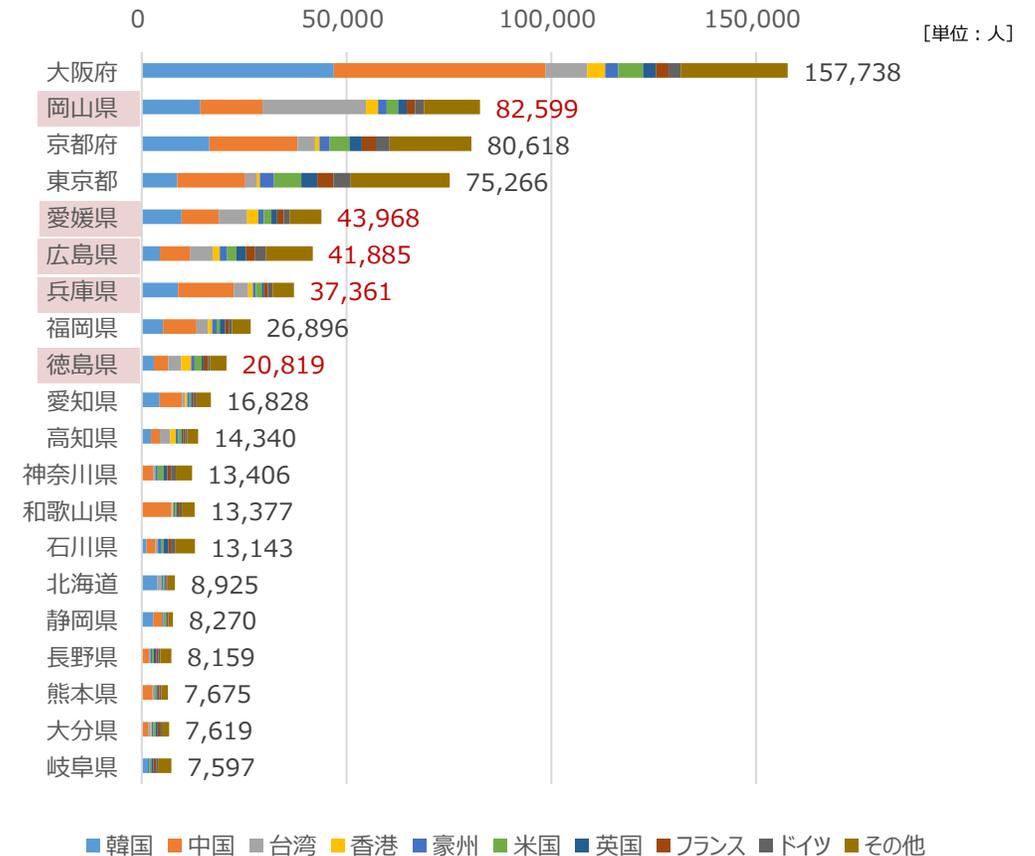
» 香川県に宿泊したインバウンドの内、せとうち各県への周遊が一定数増加しており、その中でも兵庫、岡山、愛媛、徳島など隣接県は前年比で増加している。比較的短期滞在のアジアからのインバウンドが香川県からアクセスのよい隣接県にも周遊していると想定される。

前後動態（宿泊地のみ）TOP20

2024年（通常時）



2025年（瀬戸芸開催時）

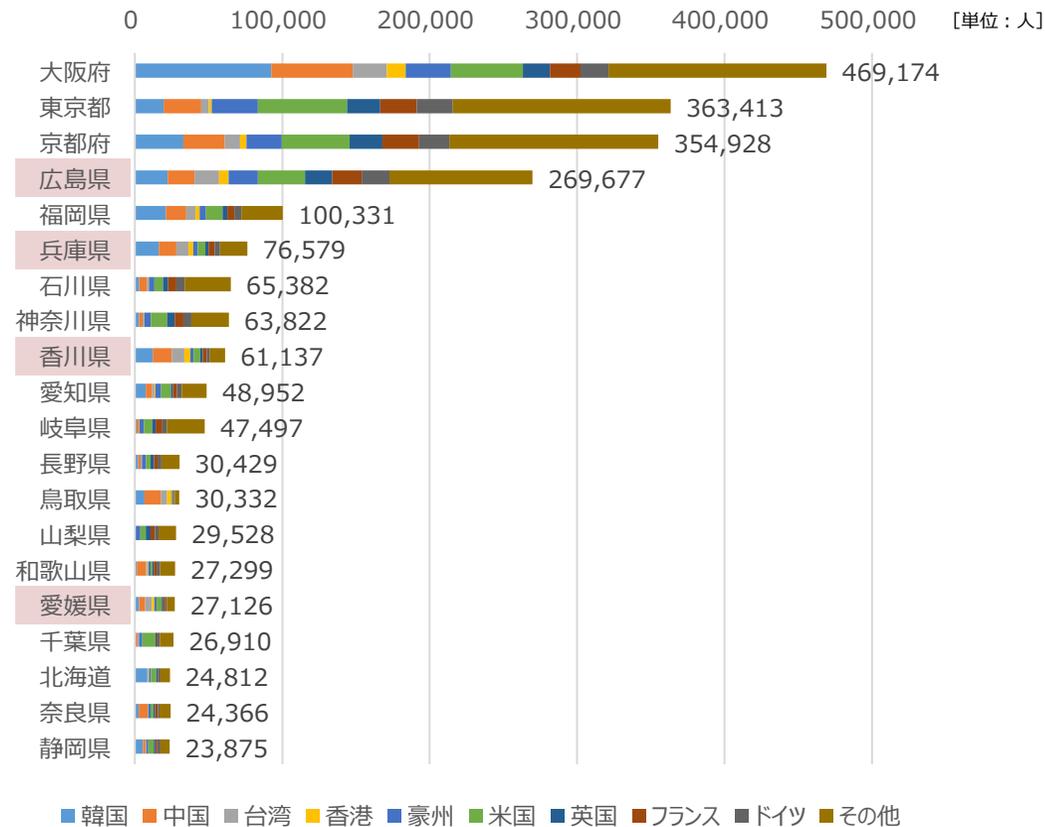




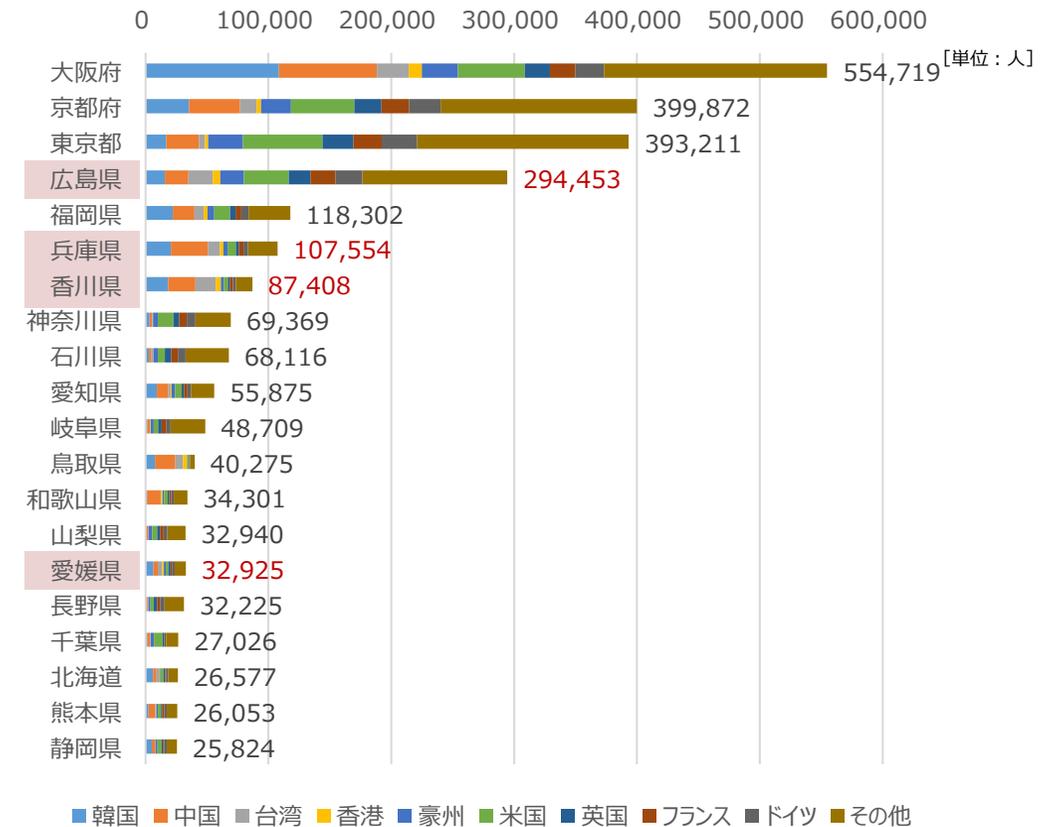
» 岡山県に宿泊したインバウンドのうち、せとうち各県への周遊が一定数増加しており、その中でも香川県が順位を伸ばしていることがわかる。

前後動態（宿泊地のみ）TOP20

2024年（通常時）



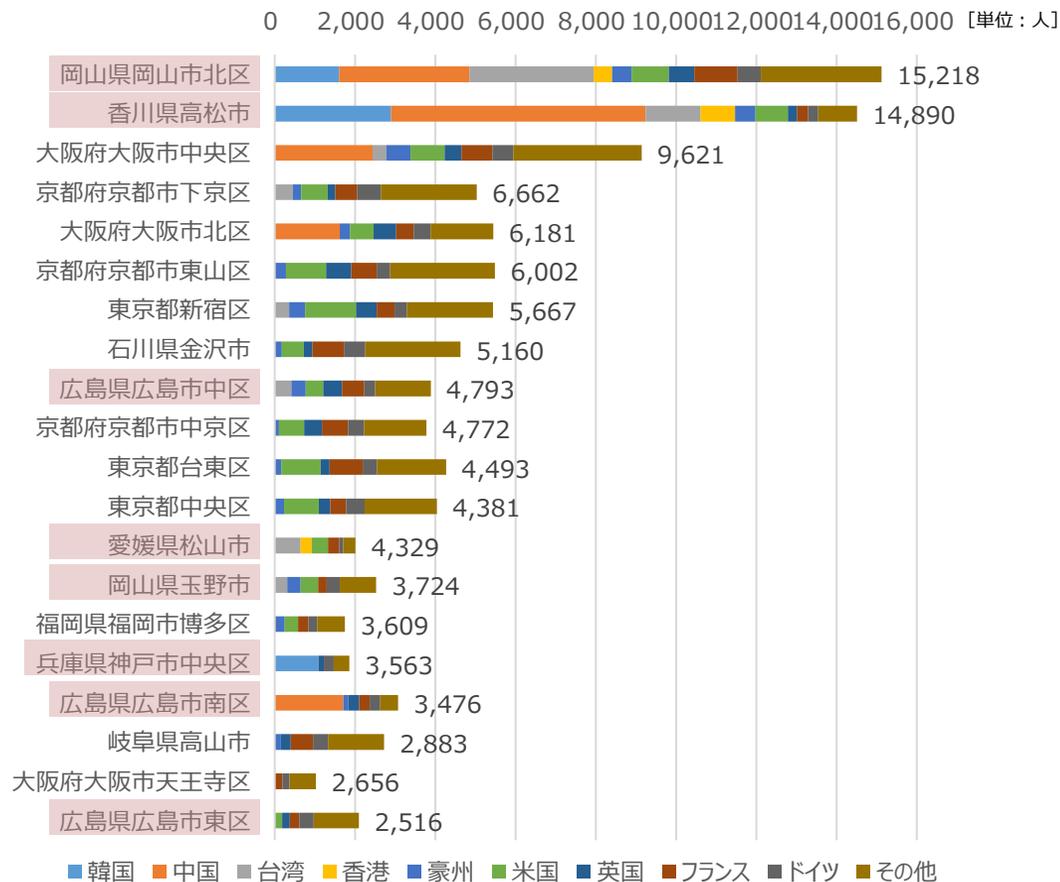
2025年（瀬戸芸開催時）



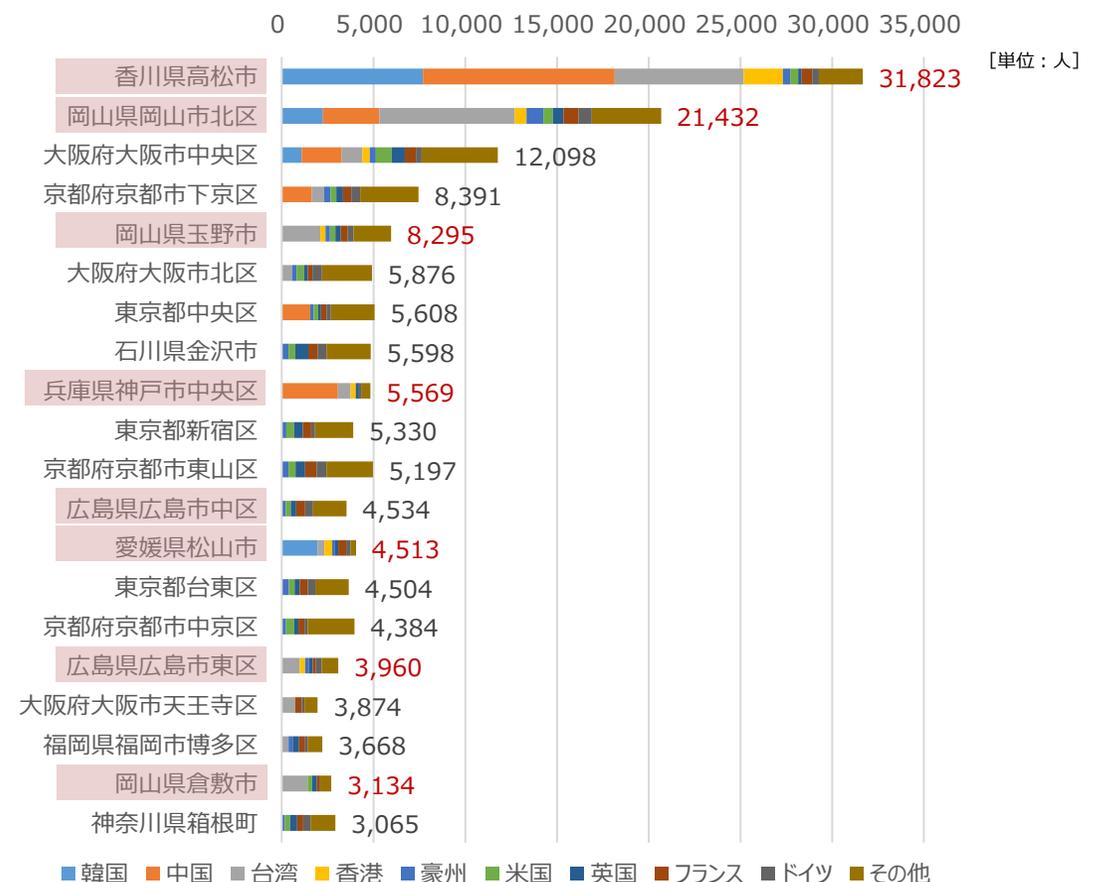
» 瀬戸芸の会場である直島町に宿泊したインバウンドは、岡山県など会場周辺への周遊が増加している。特に高松市や玉野市への周遊が大幅に増加している。

前後動態（宿泊地のみ）TOP20

2024年（通常時）



2025年（瀬戸芸開催時）



5. 外国人動態調査 まとめ

インバウンド前後動態 各県別一覧

- ▶ 兵庫県は、せとうち6県すべてとの関係において前後動態の上位に位置しており、せとうちエリア全体をつなぐ広域周遊の要衝として機能していることが確認できる。また四国3県に着目すると、各県間で相互の前後動態が確認されており、四国来訪時における四国内周遊が一定程度成立していることが確認できる。
- ▶ 山陽新幹線沿い（兵庫・岡山・広島）と徳島を結ぶ「つの字ルート」や、香川と愛媛を結んだ「一の字 ルート」が確認される。また四国から岡山へ抜ける動きが一定程度確認されるが、逆に山陽側から四国への周遊は多くないため、山陽から四国へ向かう新たなルート開拓の余地がある。

順位	関西・中国地方				四国		
	兵庫県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県
1	大阪	大阪	大阪	福岡	大阪	岡山	大阪
2	京都	兵庫	京都	広島	兵庫	大阪	香川
3	東京	京都	兵庫	大阪	京都	兵庫	兵庫
4	岡山	広島	岡山	兵庫	香川	京都	広島
5	奈良	東京	東京	岡山	高知	広島	岡山
6	広島	滋賀	神奈川	京都	東京	愛媛	京都
7	神奈川	神奈川	愛知	東京	愛媛	東京	東京
8	滋賀	愛知	滋賀	佐賀	岡山	愛知	福岡
9	愛知	静岡	静岡	愛知	神奈川	滋賀	徳島
10	静岡	岐阜	岐阜	神奈川	奈良	神奈川	神奈川



インバウンド動態調査まとめ

今回の調査では、地域ごとの周遊の実態や国籍別の動向、イベント時の来訪傾向など、広域連携や今後の周遊促進を検討するうえで参考となるいくつかの示唆が得られた。

Point 01

大阪・関西万博 における動態の変化

- 大阪・関西万博によってせとうちへの訪問者数そのものは増えたが、周遊行動の質（どこを回るか）は大きく変化しなかった。全国的に見ても、せとうちエリアは距離の課題もあり、万博による訪問シェアの伸びは限定的であった。今後、関西・九州など周辺地域の大規模イベントと組み合わせた広域的な周遊施策については、狙いや目的を見極めた上で中長期的な取り組みが必要である。（P51～52）

Point 02

瀬戸内国際芸術祭 における周遊の特徴

- 瀬戸内国際芸術祭の期間中において増加したのは主にアジアからのインバウンドであり、欧米豪はイベントの有無に大きく左右されなかった。アジアは日本での滞在時間が短いため、アクセシビリティの良い隣接県では来訪が増えた一方で、移動時間の長い地域では伸びが限定的であった。今後は国籍ごとの特性に応じ、誘客タイミングや周遊促進策を設計することが重要である。（P53～57）

Point 03

せとうち7県の 周遊ルート

- 岡山・広島・兵庫の山陽沿いと、兵庫から淡路島経由で徳島へ向かうルート、香川と愛媛を一直線で結んだルートが確認された。また四国に訪れた旅行者は山陽側へ抜ける動きが多い一方で、山陽側のみを周遊する層も一定数存在するため、今後は山陽側から四国への新たな周遊パターンが形成される余地がある。（P59）

参考資料

ナビタイム人流データの留意点について①

1. 月間のインバウンド利用者数（最新データ）について

元データとなるナビタイムの最新の月間利用者数はおおよそどの程度の規模でしょうか？
さらに、国内で想定される訪日旅行者全体に対して、どのくらいの割合をカバーできているのか（全体の何%相当）がわかれば共有いただきたいです。

（ナビタイム回答）

- GPSデータ取得が可能な「Japan Travel by NAVITIME」アプリの月間利用者数は約50万MAUです。
このうち、データ分析の対象となるのは、実際に日本でアプリを使われている方で、かつ、データの利用に許諾をいただいている方のデータです。
- これに加え、外国人旅行者であるかの条件でスクリーニングをかけた結果、実際に利用できるサンプル数は月間約3万～4万に相当します。月間の訪日客数が約350万人なので、**訪日旅行者全体に対するデータ取得率は1～2%程度です。**

2. 国籍別利用者数の重みづけについて

中国など特定国の利用が少ない傾向があると以前お伺いしましたが、この点については補正（重みづけ）を行っているのか、あるいは生データに基づく形になっているのかご教示ください。

（ナビタイム回答）

- ご認識のとおり、中国など一部の国・地域は利用が少ない傾向がございますが、この取得の偏りを補正するために拡大推計を行っております。JNTOが発表する月別・国籍別の訪日外客数から、各国の「個人旅行客数」を全数として算出しております。その全数に対し、当社のアプリで取得できているサンプル数を比較し、**拡大係数を計算して適用しています。**
- 拡大係数の詳細ロジックは次ページ

ナビタイム人流データの留意点について②

3. アプリDL目的および利用傾向

ルート案内目的でDLされるケースが中心かと思いますが、ハイヤー利用者やグループ旅行者など、特定の移動手段を利用される方々のご利用実態についても統計があれば教えてください。

（ナビタイム回答）

- 当社のアプリは行く場所や行き方をご自身で検索しながら旅行されるような方をターゲットとしたサービスになるため、**団体旅行客やハイヤー移動される方のご利用は少ないと考えられます。**
- 統計でお示しできるものはないのですが、団体客が多いスポットで、当社のデータでは人数が少なく評価されていたということが過去にございました。

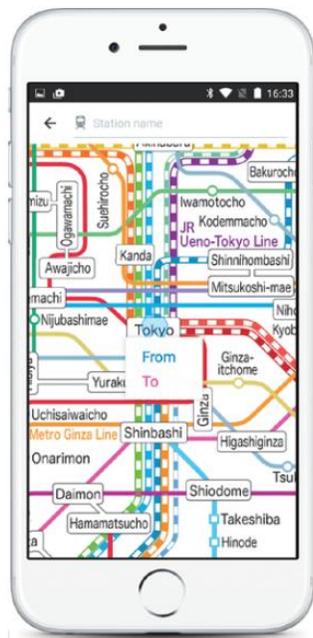
4. 高付加価値層の利用状況

いわゆる高付加価値層の動態を調査したいと考えた際に、そういった方の動態を補足する手段などありますでしょうか？

（ナビタイム回答）

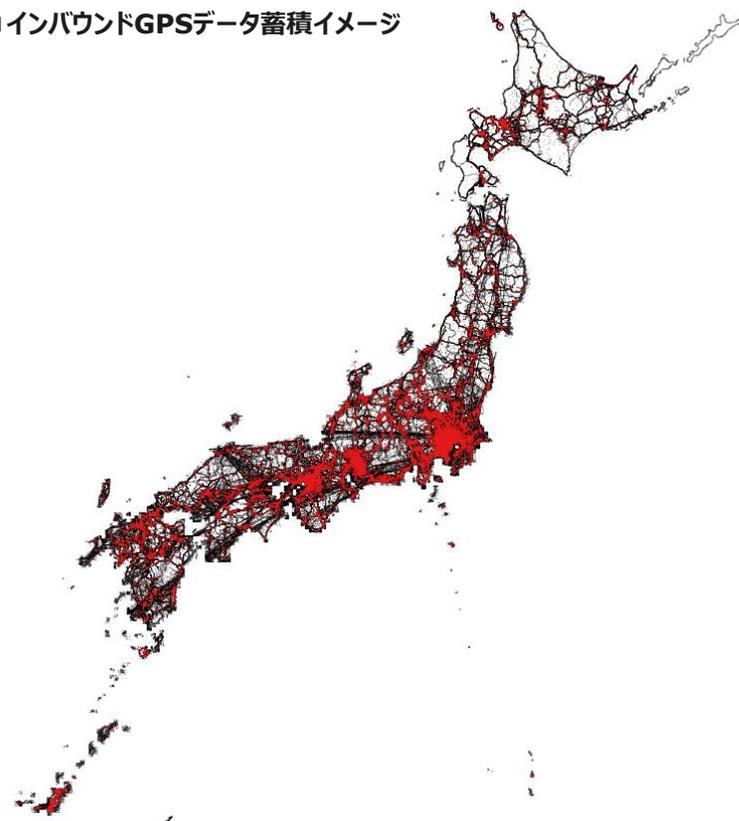
- ハイクラスのホテルに宿泊されている方のデータを抽出する等は、技術的には可能なのですが、**当社のアプリの主な利用方法を考えると、高付加価値層（高所得層）がご自身でアプリを使って情報収集しているとは思えないため、当社のアプリデータとの相性はあまりよくないです。**

ナビタイムジャパンでは、スマートフォン用の訪日外国人向け観光案内アプリを活用し
 利用者の同意のもと取得した日本全国の移動実績について、統計処理を行い分析を実施しています。



- 主な機能**
- ・ ルート案内 (Japan Rail Pass対応)
 - ・ スポット検索
(Free Wi-Fi/ATM/観光スポット/他)
 - ・ 旅行記事の紹介
 - ・ 旅行プランの作成

■ インバウンドGPSデータ蓄積イメージ



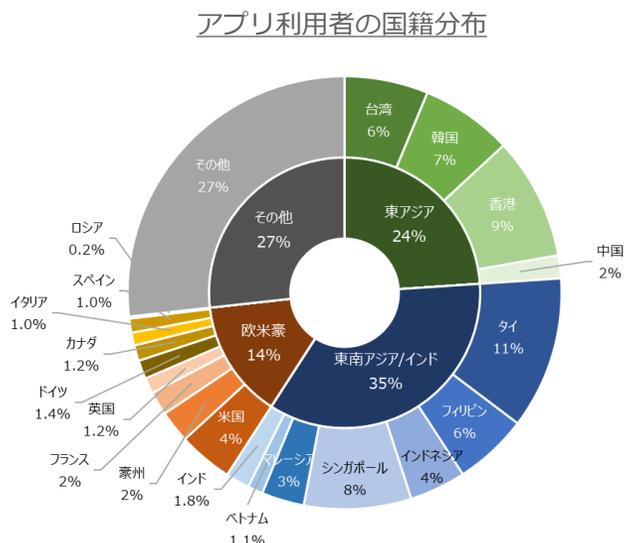
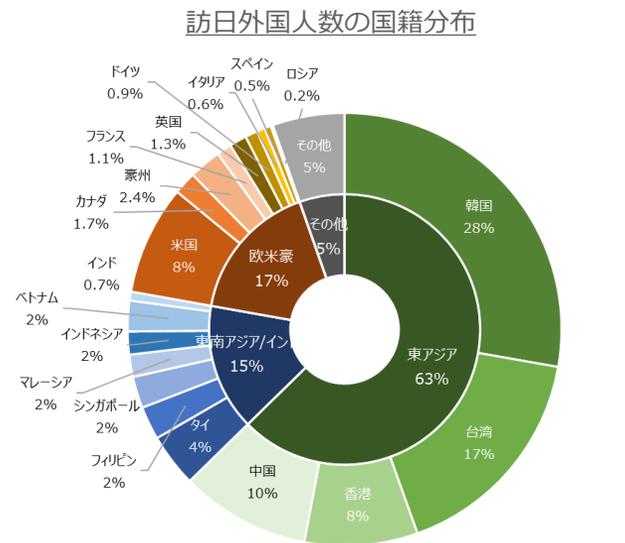
赤：滞在 黒：移動中

※滞在：同一1kmメッシュ内にて30分以上連続してデータを取得

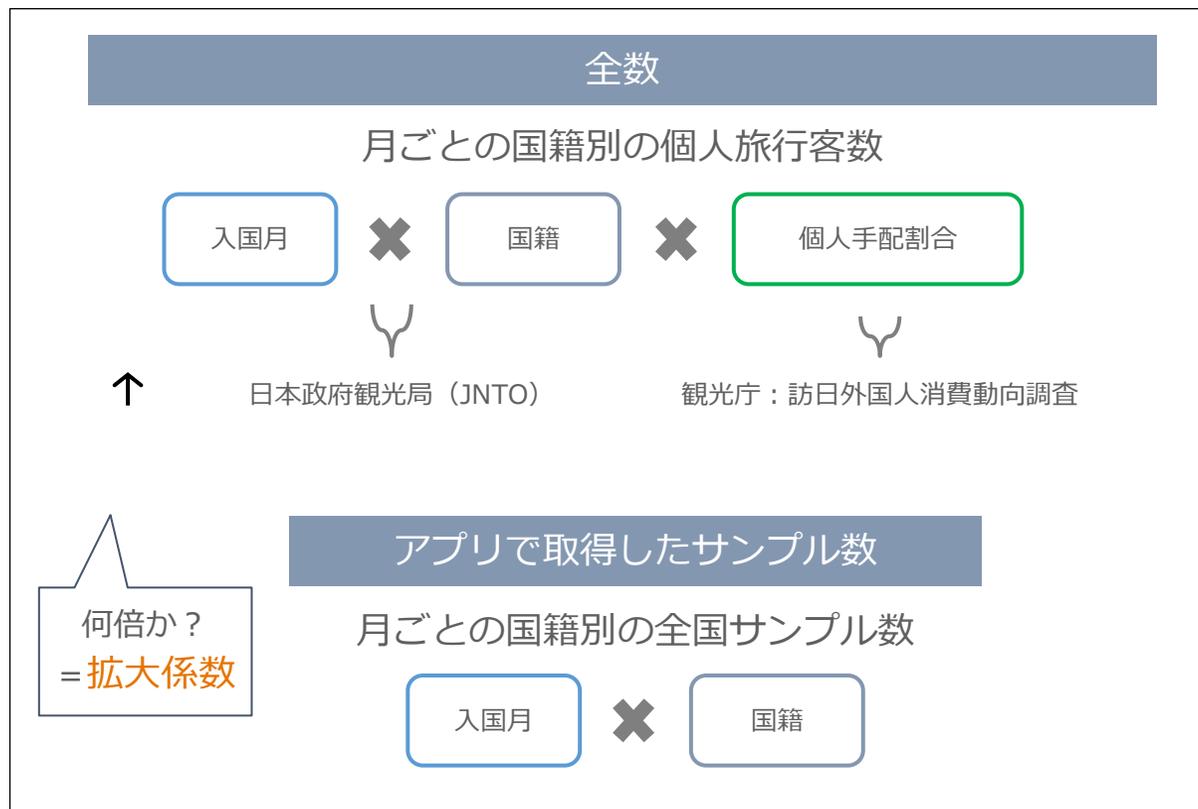
NAVITIMEが提供するJapan Travelではデータ取得の同意を得たアプリ利用者から、GPS測位データを定期的(※)に取得しており、このデータを活用し個人旅行者 (FIT) の行動分析に利用します。
 ※約2分に1回の測位

拡大推計方法

アプリ利用者の国籍分布と実際の訪日外国人数の国籍分布のギャップを埋めるために拡大推計を行います。



POINT 全国の個人旅行客数とアプリのサンプル数から拡大係数を計算



POINT 各集計値に拡大係数を掛け算した結果を拡大推計結果として算出

インバウンドGPSのデータの概要

取得したデータは、現時点で分析可能な訪日外国人のデータにおいて最も粒度の細かいデータです。

粒度の細かなデータを活用することで、動機付けのポイントや
既存データでは把握しきれない、より深い動態の把握を目指します。

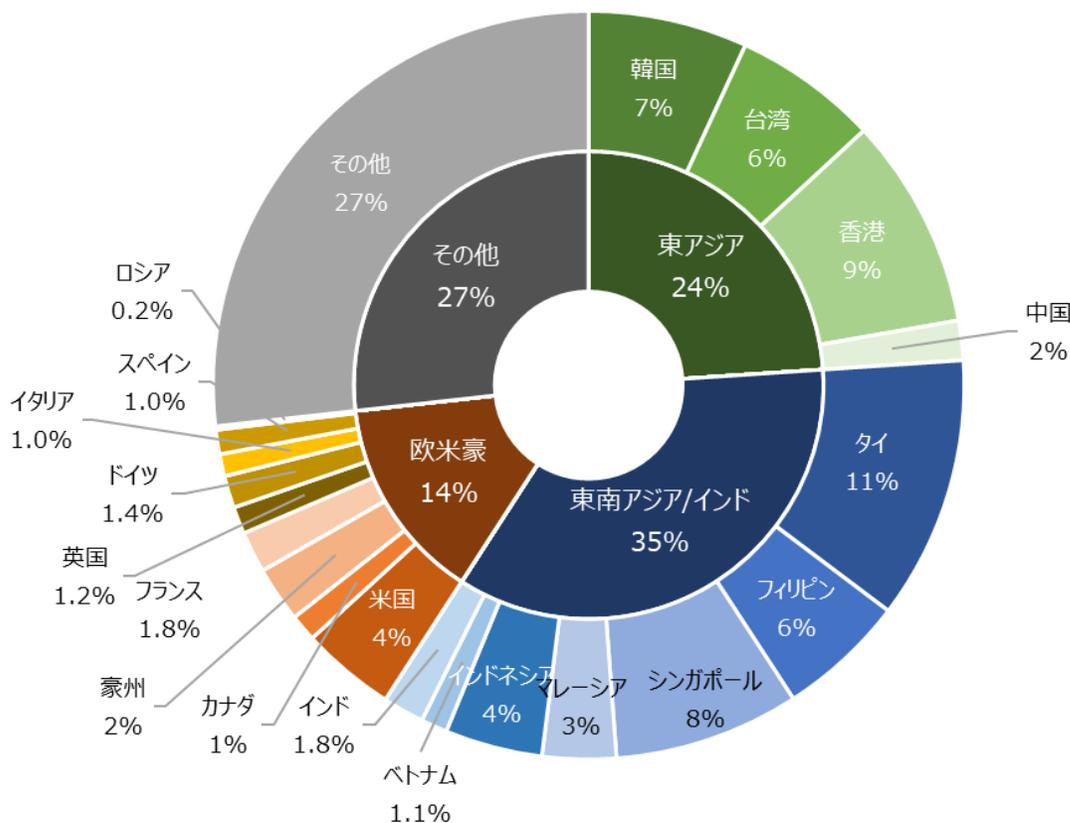
■データ分析に利用するデータ属性

項目	内容	備考
データ種別	GPSデータ	NAVITIME社が提供するJapanTravelアプリより取得したGPSデータを利用
データ取得頻度	2分間毎	オフライン、バックグラウンド（端末スリープ状態）でも測位を継続
データ粒度	緯度経度（誤差数十m程度）	道路・施設・路線単位で把握可能
データ属性	国籍	全国籍のデータを取得 （ただし、国籍判定は訪日外国人観光客上位20カ国のみ）
	訪日回数	未訪問（0回）、リピーター（1～20回以上まで） ※日本在住のデータは分析にはスクリーニングにより除外し利用せず

データのスクリーニングを実施し
FIT旅行者のデータのみを分析します

アプリユーザーのアンケート回答をもとに、国籍・訪日回数別に行動分析を実施します。

アプリユーザーの国籍（国と地域）別内訳



※アンケート調査期間：2023年1月～2023年12月

アプリユーザーの国籍別訪日回数内訳

訪日経験	台湾	シンガポール	米国
初訪日	21.5%	40.1%	62.2%
2回	13.5%	16.2%	10.3%
3回	12.5%	11.8%	5.9%
4回	8.2%	6.9%	3.2%
5回	10.7%	6.7%	3.0%
6～9回	16.6%	9.4%	5.5%
10～19回	9.8%	5.5%	3.2%
20回以上	7.2%	3.3%	6.7%

※アンケート調査期間：2023年1月～2023年12月

● インバウンドGPSデータ分析の利点 ●

- ・ FITで利用されるアプリから取得したデータである
- ・ 利用者の国籍・訪日目的がわかる
- ・ リピーターにユーザーを絞った行動分析ができる